

第七十六回帝國議會 衆議院 木材統制法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
木材統制法案(政府提出)(第八一號)

會議

昭和十六年二月二十一日(金曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 河野 一郎君
理事 淺井 茂猪君 理事 大橋清太郎君
理事 松浦周太郎君 理事 馬岡 次郎君

上田 孝吉君 小野 謙一君
渡邊 泰邦君 工藤十三雄君
杉山元治郎君 手代木隆吉君
中村 梅吉君 長野 長廣君
箸本 太吉君 増永 元也君
松尾 四郎君

二月十九日委員松川昌藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ紅露昭君ヲ議長ニ於テ選定セリ
同月二十一日委員工藤十三雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ井阪豐光君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

企畫院部長 三浦 一雄君
北海道廳長官 戸塚九一郎君
北海道廳部長 鈴木 脩藏君
陸軍主計中將 石川半三郎君
海軍主計中將 武井 大助君
文部省專門學務局長 永井 浩君

農林次官 井野 碩哉君
農林省山林局長 井出 正孝君
貿易局長官 石黒 武重君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
陸軍主計少佐 山田 重成君
農林技師 大西光之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

木材統制法案(政府提出)

○河野委員長 ソレデハ前會ニ引續キ會議ヲ開キマス、午前中ハ關係各省ノソレム御要求ニナツテ居リマスル政府委員ガ御見エニナツテ居リマスカラ、順次之ヲ許スコトニ致シマス、最初ニ商工省關係ノ質問カラ許シマス

○松尾(四)委員 議事進行ニ付テ——資料ニ付テ一點御伺ヒシタイ、日本木材統制株式會社ニ關スル資料ニ於キマシテ同社ノ重役ノ報酬額ガ未定トナツテ居リマス、各人ノ報酬額ハ未定デアリマセウガ、報酬ノ總額ハ決定シテ居リ答ダト思ヒマスカラ、其ノ總額ヲ伺ヒタイ、ソレカラ資本金、配當率、尙ホ此ノ會社ハイツ成立シタカ、是等ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○石黒政府委員 重役ノ全體ノ報酬額ニ付キマシテハ、大體四萬圓以内ニ於テ支出スルト云フコトニ方針ガ決マツテ居リマス、此ノ會社ノ出來マシタノハ昨年ノ十二月二十五日デアリマス、ソレカラ資本金ハ二百五十萬圓、配當ハ勿論マダ決マツテハ居リマセウガ、大體六分程度ノモノヲ豫定シテ居リマス

○河野委員長 杉山サンカラ先ニ御願ヒ致シマス

○杉山委員 昨日懇談會ノ際陸軍ノ建築課長ノ話ヲ伺ツテ居リマス、地方木材株式會社ニ優先的ニ資材ヲ送ル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、併シ一面カラ見マスルト、地方木材株式會社ニ收容出來ナイ、又色々

ノ都合デ收容ヲ喜バナイ者モアツテ、準子會社のノモノモアリ、或ハソレ以外ノ業者モ、特ニ大阪或ハ東京ノヤウナ大都市ニハ殘ル、斯ウ云フ話デアリマスガ、若シ優先的ニ資材配給ヲ地方木材會社ニ致シマシタラバ、殘餘ノ他ノ地方木材會社ニ入り得ナカツタモノニ對スル資材配給ハドウ云フ關係ニナルカ、所謂從來ノ實績關係ニ依ツテ配給ヲナサレルノカ、或ハソレトモ地方木材會社ノ方ヲ優先的ニヤツテ、殘リヲ他ノ殘餘ノモノニ配給スル、斯ウ云フコトニナルゾデアリマスガ、大變此ノ點ハ吸取出來ナイ所ノ木材業者或ハ製材業者ニ非常ナ脅威ヲ與ヘルト思ヒマスノデ、一應明カニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○井出政府委員 只今杉山委員ノ御尋ネノ製材工場等ニ對シマスル生産上ノ製材配給ニ付キマシテハ、地方木材會社ノ經營上ニ要リマスル是等ノ資材ニ付キマシテハ、日本木材會社カラ一手ニ之ヲ配給致シマス、其ノ仕事ノ必要ニ應ジテ出來ルダケ之ヲ確保スルヤウニ努メマス次第デアリマスガ、殘餘ノ製材工場等ニ付キマシテモ、先日來申上ダテ居リマスヤウニ、是等モ亦ソレム一定ノ範圍ニ於キマシテ仕事ヲ十分ニ行ツテ參ルト云フコトニ付キマシテハ、組合組織其ノ他ニ於テ考慮モ致シマス關係上、ソレ等ノ方ニ於キマシテ經營上必要ナ資材ハ、ヤハリ地方木材會社ト別個デアリマスガ、必要ナ部分ハ極力其ノ資材ノ配給ヲ農林省トシマシテハ一括シテ確保シテ參ルコトニ努メテ參ル積リデ居リマス

○杉山委員 今ノ御話デハ大變都合ノ好イヤウデアリマスガ、資材ガ十分ニゴザイマス時ナラバ、サウ云フ御話モ巧ク行クカト思ヒマスガ、今日ノヤウニ資材ガ非常ニ不足シテ居ル、斯ウ云フ場合先程申上ゲマシタヤウニ、地方木材會社ニ優先スル、此ノ問題ガ根本問題ダト思ヒマス、優先サセルノカ、サセナイノカ、此ノ點ヲ先ヅハツキリ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○井出政府委員 優先ノ程度ニモ依リマスルケレドモ、ヤハリ今回ノ此ノ木材統制法案ノ實施ノ狙ヒモ、生産方面ニ於キマシテモ、ドウシテモ重點主義ヲ考ヘテ參リマスル關係上、重點主義ノ見地カラ申シマシテ、不足ノ資材ヲ配給致シマス際ニハ、地方ノ木材會社經營上ノ所要物資ノ方ガ勢ヒ優先セラルベキコトハ是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シ或ル程度ハヤハリソレ以外ノ所謂「アウトサイダー」ニ屬シマスル工場ニ付キマシテモ、出來ルダケ其ノ資材ノ配給ニハ努力スル積リデ居リマス

○河野委員長 杉山君宜シウゴザイマスカ

○杉山委員 宜シウゴザイマス

○河野委員長 ソレデハ馬岡委員

○馬岡委員 商工省ノ方ニ取敢ズ御伺ヒ致シタイ、「パルプ」材ノ計畫生産ト今度ノ會社ハ主ニ伐ル目的ノ會社デアリマス爲ニ、造林ト云フ上カラ考ヘマスルト「パルプ」材ノヤウナ澤山ノ資材ノ要ルモノガドウシデモ山ヲ荒シテ行ク傾向ニナツテ來ル、サウスルト國土保安ノ上カラ考ヘマスル故ニ「パルプ」材ヲ目的トスル一ツノ山ヲ造ルト同

時ニ、之ニハ會社カラ相當ノ助成デモナシシメ、サウシテ常ニ輪伐主義ニ或ル程度ノモノハ「バルブ」材ニスル、又或ル程度ノモノハ之ヲ建築用材ニスル、若シクハ特殊材ニスルト云フヤウナ計畫生産ノ目的ノ下ニ地方「ブロック」ノ植林ト伐採トヲ兼ネテ行クヤウナ、特ニ「バルブ」ヲ基本ニシタ一ツノ會社ヲ御考ヘニナル方ガ國土保安上カラ便利デナカラウカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ何カ御考ヘニナツテ居リマスガ、御伺ヒ致シマス

○石黒政府委員 御尤モナ御尋ネデゴザイマスガ、商工省ト致シマシテハ今ノ「バルブ」材ノ供給ヲ「バルブ」業者ニ森林方面カラ致スト云フ點ニ付キマシテ、特ニ會社ヲ組織スル必要ガアルト云フコトニハ今ノ所考ヘテ居リマセヌ、御承知ノ通り最近ニ於キマシテハ「バルブ」會社ニ對スル木材ノ供給ハ、商工省、農林省間ニ十分ナル連絡ヲ取リマシテ、農林省方面ニ於テ「バルブ」會社ニ對シテ地域のナ供給區域ノ割當ヲシテ戴キマシテ、左様ニ致シマシテ年々需要「バルブ」ニ應ジタヤウナ供給ヲシテ行クコトニナツテ居ル譯デアリマス、ソレニ付キマシテ現在供給スル方面カラ今御話ノヤウナ必要ガゴザイマスデスカドウデスカ分リマセヌガ、商工省方面ト致シマシテハ、別段是ガ爲ニ會社ヲ組織スルト云フコトノ必要ハ今ノ所感ジテ居リマセヌ

○馬岡委員 能ク商工省ノ意見ハ分リマシタ、然ラバ農林省ニ御伺ヒシタイ、此ノ「バルブ」資材ハ益、輸入ガ困難ニナツテ來ル、用途ガ殖エテ來ル、殊ニ纖維不足ノ折カラ諸方面ニ「バルブ」材ガ需要サレル、斯ウ云フ考ヘカラ一定計畫生産ノ上カラ考ヘテモ、

相當年々植伐シテ行カナケレバナラス、現在ノ森林資源蓄積ノ上カラ考ヘマスレバ、或ル一定期間ハ保持出來マセウ、併シドウモ伐ル方ノ會社ガ先ニ出來デシマツテ、殖エル方ノ會社ガ出來ナイトスレバ、茲ニ國土保安ノ上カラ非常ニ考ヘナケレバナラス、サウスルナラバ之ヲ地方的ニ、今地方の會社ヲ御作リニナル此ノ計畫ニ沿ウテ、地方的ニ生産ト伐採ト、サウシテ日本ノ必要樹種ニ應ジテ必要ナモノダケヲ計畫生産ヲスルト云フ意味カラ、輪伐的ノ計畫ヲ御立デニナツテ行カレルコトハ、將來ノ國土保安、治山治水ノ方面カラ考ヘテモ必要デアル、此ノ點ニ付テハ何カ農林省デ御考ヘニナツテ居ラレルカ、御尋ネ致シマス

○井出政府委員 「バルブ」資材ノ供給供給ヲ確保スル見地カラ、之ニ獨特ナ施設等ヲ執リマシテ、輪伐植栽ヲシテ行クコト云フヤウナ方面ニ付キマシテハ、是等ノ需要ガ今後恒久的ナモノデアリ、相當増加スル趨勢ニアリマスル今日ニ於キマシテハ、施業案其ノ他ノ變更ニ當リマシテモ、「バルブ」用材ノ供給ニ適スル施業ヲ執ラセルト云フコトニ付テハ、十分ソレノ地方適地ニ付テ考慮致シテ参リタイノデアリマス、唯此ノ供給ヲ直接消費者デアリマス所ノ「バルブ」會社ガ自己或ハ協同シテ經營セシムルコトガ宜シイカ否カト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ今後研究ヲシテ参ラナケレバナラナイ問題デハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、又此ノ地方木材會社ガ相當「バルブ」材ヲ、今後山ヲ買付ケ、或ハ原本ヲ買付ケテ、生産配給ヲ致シマス、其ノ跡地ノ造林ニ付キマシテハ、極力此ノ地方木材會社ガ自ラ造林ヲスルシナイハ別問題ト致シ

マシテ、其ノ地域ノ森林所有者、或ハ森林所有者ノ集マリヲ森林組合等ニ依ツテ結成セシメ、造林ニハ十分遺憾ノナイヤウニ、此ノ木材會社ヲシテ協力セシメテ行クコトニ努力スル必要ガアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 能ク諒承致シマシタ、何レ此ノ問題ハ機會ヲ改メテ特ニ此ノ問題ノミ御尋ネ致シタイト思ヒマス、是デ打切りマス

次ニ雁皮、三極、所謂製紙原料ノ統制ノ問題デ一點御尋ネ致シタイ、最近輸入綿ノ制限ノ結果、醫療綿、衛生綿、所謂脫脂綿方面トシテ使用サレル原料ニ對シテハ非常ニ困ツテ居リマス、此ノ際三極、雁皮ノ一部、若シクハ「バルブ」材ヲ使用シテ、代用綿ニ使用スルコトガ、醫療綿、衛生綿ノ方デ吸收力ガ強クテ良イト云フコトガ社會ノ問題ニナツテ居ル、之ヲ研究シタイト思ツテモ、此ノ雁皮、三極ガ「バルブ」ノ製紙原料トシテ統制デ制限サレテ困ツテ居ルヤウナ實情デアリマス、是等ノ特殊ノモノニ對シマシテハ、相當ノ手續ヲ履メバ、特ニ一部分ヲ所謂研究用トシテ認可サレルモノデアリマスガ、御尋ネ致シマス

○石黒政府委員 脫脂綿其ノ他ノ衛生綿ノ供給量ノコトニ付キマシテハ御話ノ御尤モデゴザイマシテ、商工省ト致シマシテモ、現在ノ供給量ヲ以テ十分ナリトハ考ヘテハ居リマセヌ、但シ此ノ方面ニ付キマシテハ、色々ト工夫ヲ致シマシテ段々ト増加致シテ居リマス、日獨伊三國同盟ノ締結前後ニ於キマシテ、相當將來資材ノ關係等ヲ考慮シテ多少手控ヘタヤウナコトガ、可ナリ實際ニ影響ヲ及ボシテ居ル點モアルノデアリマスガ、其ノ後段々ト供給量ヲ増加致シテ

居リマスノデ、數字ハ此處ニ申上ガ兼ネマスケレドモ、可ナリ専門家等ニ聽キマシテモ、配給ヲ適當ニヤレバ其ノ位ノ數量ナラバ、先ヅノ凌ゲルノデハナイカト云フコトヲ言ハレル程度ノモノヲ、今日供給シテ居ルト私ハ承知致シテ居リマス、併シ尙ホ之ニ代用綿ヲ附ケ加ヘテ供給スルト云フコトハ、勿論結構ナコトデアリマスガ、今御話ノアリマシタ中ノ三極ヲ、斯様ナ代用方面ニ利用スルト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ御趣旨ノアル所ヲ能ク研究致スコトニ致シマスケレドモ、今差當リ私ノ氣付キマス點ハ、御承知ノ通り是ハ特殊ノ和紙ノ用途トシマシテ、三極ハ非常ニ貴重ナモノデアリマス、現在其ノ材料トシテノ供給量ガ、寧ロ不足勝デアルヤウナ狀況デアリマスノデ、之ヲ今ノ綿ノ代用方面ニ利用スルト云フコトハ、極ク部分的ナ、或ハ特殊ナ屑ノヤウナモノデ利用出來ルモノガアルナラバ、或ハ宜シイカモ知レマセヌガ、一般的ニ申シマシテ如何カト存ズルノデアリマス、併シ前ニモ申シマシタヤウニ御趣旨全體ノ存スル所ハ御尤モデアリマシテ、斯様な色々ナ材料ヲ代用ニ用ヒルコトニ付テノ研究等ニ付テハ、勿論商工省トシマシテ、十分ソレニ付テハ御相談ニ應ジ得ルコトト私ハ存ジマス

○河野委員長 松尾君

○松尾(四)委員 私ハ商工省ノ御出席ヲ願ツテ居リマスノデ、價格ノ形成ノ方針ニ付テ御伺ヒ致シタイ、難カシク言ヘバ物價政策ト云フ問題デスガ、我が國ノ物價ハ一昨年九月十八日ノ所謂九・一八ヲ基準トシテ物價ヲ大體抑ヘテ、ソレカラ後ノ變更ハ勝手ニ許サナイト云フノデ、今日ニナツテ居ル

ノデス、所ガ最近議會ノ問題ニナリマシタ、石炭ノ増産等ノ上カラ、相當ノ助成金ヲ出シテ増産ヲシテ居ラレト云フコトノ報告モ聞イタノデアリマス、ソコデ私ハ今簡單ニ御伺ヒ致シタイノデスガ、木材ニ於キマシテモ、他ノ物價トヤハリ一律ノ下ニ其ノ價格ヲ形成致シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ物價ハ將來ニ於テモ動カサナイ、モウ是ハ釘付ケデヤツテ行クト云フ方針デ是カラ臨ム考デアラレマスカ、勿論低物價政策ト云フモノハ、何處マデモ堅持シナケレバナラスノデアリマスカラ、物價ヲ上ゲルト云フコトハ、國策上是ハ憂慮スベキ事柄ガ起ルノデハナイカト思ヒマスカラ、必ズシモ贊成スル譯デアリマセヌガ、最近ノ如キハ木材需要ガ頗ル増加シテ居リマス、斯ウ云フ情勢デアリマシタラバ、相當ニ其ノ木材價格ト云フモノニモ考慮ヲ拂ハナケレバ、現在ノヤウナ狀態デハ木材ノ生産ハ増加セナイ狀態デアルノニ、其ノ上ニ軍ノ御註文ガ澤山出ルノデス、是ハ後デ陸海軍兩當局ニモ御尋ネ致シタイト思ツテ居ルノデスガ、昨日ノ懇談會ノ節ニ承リマスルト、本年ハ昨年ト同様ノ需要ガアルモノト、大體見透シ付ケテ居ルト云フ、是ハ陸軍ノ方ノ御話デアリマシタ、吾々ニ與ヘラレタル資料カラ考ヘテ見マシテモ、昭和五年ハ六千万石、然ルニ本年ハ一億一千八百餘万石、斯様ナ數字ニナツテ居ル、ソレガ爲ニ此ノ數字ヲマダ押シテ行クト云フコトデアレバ、茲ニ非常ニ生産ヲ増加シナケレバイケナイ、然ルニ現在ノ儘デハ山林家ハ伐出サナイ、ソコニ無理ガアル、其ノ無理ガ非常ニ社會ニ大キナ害毒ヲ流シテ居ル、甚ダシキハ茲ニ閣取引モ已ムヲ得

ズ行ハレルト云フヤウナコトデ、澤山ナ犯罪人ヲ出シテ氣ノ毒ナ人が出來タト云フ狀態デアルノデスガ、斯ウ云フ價格ト云フモノハ、ヤハリ價格形成ニ對スル委員會ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フ價格ハ動カサナイ、一定不動ノモノデ、將來釘付ケニナサル積リデスカ、多少他ノ物價ト同様ニ或ル程度事實ニ即シテ物價ノ價格ヲ形成ナサル御考ヘデアリマスカ、大體ニ於テ物價形成上ニ於ケル所謂物價政策ノ立場カラ伺ツテ置キタイ

○河野委員長 一寸申上ゲマスガ、木材ノ價格ノ決定ハ農林省ノ所管デ農林省デヤツテ居ルヤウデスガ……

○松尾(四)委員 私人今唯木材ヲ例ニ舉ゲタニ過ギナイノデ、他ノ物價ハドウ云フ御取扱ニナツテ居ルカ聽イテ居ル譯デス

○石黒政府委員 只今此處ニ出席シテ居ル商工省ノ政府委員トシテ御答ヘ致シマスガ、若シ私ノ御答ヘデ十分デゴザイセヌケレバ適當ナル機會ニ其ノ部局擔當ノ政府委員カラ御答ヘヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

今日ノ物價ハ申スマデモナク、極ク一口ニ申セバ、所謂低物價政策ノ遂行ヲ必要トシマスコトハ、是ハ我が國ノ現下ノ情勢上已ムヲ得ナイ所デアリマス、全般的ニ低物價政策ヲ遂行スルトハ申シナガラ、個々ノ物價ニ付キマシテハ是ハ色々ノ事情ガゴザイマシテ、例ヘバ相互ノ間ノ平衡ヲ圖ルト云フコトトカ、或ハ又物價ニ付キマシテハ生産費ト云フモノガ勿論重要ナル一ツノ要素トシテ考ヘラレル點デアリマスカラ、ソコデソレ等ノ點ニ付キマシテモ必要ナル或ル程度ノ考慮モ拂ハナケレバナラナイコト存ジマス、唯今木材生産上ノ價格ノコ

トニ付テノ御話デゴザイマシタガ、要スルニ生産費ト價格トノ關係デアラウト存ジマス、生産費ニ對シテ十分ナル補ヒヲ付ケテ、サウシテ生産ノ増進ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、價格其ノモノモ勿論大イナル要素デアリマスルト同時ニ、其ノ外ノ色々ナ手段ガアラウト存ジマス、是ハ一概ニ價格ヲ以テ生産費問題ヲ解決スルト云フコトガ適當カドウカト云フコトハ問題デアリマシテ、政府ノ助成其ノ他ノ色々ナ施設ガ結局ニ於キマシテ生産費ヲ低減スルト云フコトモ多々アルト思ヒマス、是ガ最モ直接ニ生産費ニ響ク方法トシマシテハ、或ル物資ノ單位當リノ生産助成金或ハ補助金ト云フヤウナモノヲ政府其ノ他カラ支出スルト云フ方法デアリマスガ、尙ホ其ノ外ニ間接ニ色色生産費低減ニ資スル途ハ多イヤウニ思ヒマス、私共ガ地方ニ居リマシタ經驗カラ申シマス、殊ニ此ノ森林關係ニ於キマシテハ交通ノ利便ガ圖ラレルトカ其ノ他色々ナ方法ニ依リマシテ著シキ生産費ノ低減、其ノ他ノ方法ガ講ゼラレルノデアリマス、又一口ニ木材ノ生産費ト申シマシテモ、ソレハ土地ニ依リマシテ非常ナル差違ガアリマスノデ、其ノ差違ヲ平衡ニスルヤウナ色々ノ手段ト云フモノモ、是亦ヤハリ比較的生産費ノ高イ方面ニ對スル救済ノ方法デアラウカト思ヒマス、要シマスルニ左様ナ譯デアリマシテ、私共ノ考ト致シマシテハ、全般的ニハ低物價政策ヲ堅持シナケレバナラヌ、同時ニ生産ノ増進ト云フコトニ付キマシテハ色々ノ方法手段ガアリマスノデ、ソレゾレノ物資ノ事情、其ノ他十分考慮シマシテ、此ノ際全般的ニ見テ最モ適當デア

ルト云フ方法ヲ選ブノガ賢明デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 少シ私ノ尋ネ方ガ要點ヲ外レテ居ツタノカモ知レマセヌガ、今ノ點ハ私ハ斯ウ云フ風ニ御尋ネシタノデス、此ノ現在ノ物價ト云フモノハモウ動カサナイノカ、或ハ適正物價ト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、或ル程度マデハ動カシテ、他ノ物價ト平衡ヲ保ツト云フ上カラ見マシテモ、動カス場合モアルト云フコトデアルカ、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイノデス

○石黒政府委員 御答ヘ致シマス、ソレハ勿論現在ノ物價ヲ其ノ儘釘付ケニシナケレバナラスト云フモノデハナイト思ヒマス、誤リノアル點ニ付テハ適當ニ修正シテ行カナケレバナラスト存ジテ居リマス

○河野委員長 長野委員

○長野(長)委員 商工省關係ノ木材需給ニ關スル會社ニ東亞木材貿易株式會社ナルモノガアルノデアリマス、之ニ付テハ先般モ木炭ノ委員會デ御説明ヲ願ツタノデアリマスガ、尙ホ私ハ了解シ兼ねテ居リマスノデ重ネテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス商工省ハ此ノ東亞木材貿易會社ノ輸入致シマスル木材ノ販賣トカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依ル處理方等ニ付テ時ニ何等カノ指定ヲスルトカ、或ハ之ニ命ジテ一定ノ處置ヲサセルトカ云フヤウナコトガアルデセウカ

○石黒政府委員 大體ニ於キマシテ今ノ東亞木材貿易會社ノ輸入材ニ付キマシテノ輸入後ノ措置ニ付キマシテハ、農林商工兩當局ノ間ニ於キマシテ色々打合せヲ致シマシテ、軍需並ニ官需ノモノニ付テハドウスルトカ、或ハ其ノ他樹ノ種類其ノ他ニ依リマシテ成ベク適正ナル配給ノ出來マスル

ヤウ大體ノ方針ハ決メテ居ルヤウナ次第アリマス

○長野(長)委員 ソレデハ農林省トノ關係ニ於キマシテハ、農林省ノ意思ヲ尊重スルト云フ譯デゴザイマスカ、又商工省トシテノ獨自ノ方法デ處理サセタイ場合ガ出來ハセヌカト思フ、其ノ場合ニ農林省ト商工省トノ考ノ齟齬衝突スル場合ガナイトハ限ラヌノデアリマス、之ニ對シテハドウ云フ御用意ガアルデセウカ

○石黒政府委員 申スマデモナク此ノ産業關係ニ付キマシテハ、ドウ致シマシテモ色ナ點ニ付テ或ル程度行政官廳ニ以上ノモノガ關係スル場合ガ多イノデアリマスガ、要シマスルニ今日ノ國家ノ事情、經濟關係其ノ他ノコトモ考慮致シマシテ、如何ナル方法ガ最善デアルカト云フコトヲ考ヘテソレニ依ツテ決メル譯デアリマス、人ガ違ヘバ同ジ趣旨ノコトデモ意見ノ違フ場合モアラウト思ヒマスガ、左様ナ場合ニ付キマシテハ十分ニ協議致シマシテ、結局ニ於テ最善ノ點ニ落着スルヤウニ決定スル積リデアリマス

○長野(長)委員 既ニ御認メニナツテ居ルヤウニ、人ガ違ヘバ意見ガ違フ、設立シタ當時ノ兩當局ハ能ク意思ガ疎通シテ居リマシテモ、其ノ人ハ直チニ送ルノデアリマス、ソコデ急ヲ要スル場合ハ勿論ノコト、然ラザル平時所要ノ場合ニ於キマシテモ、同ジ仕事ヲ兩省ガ關聯ヲシテ一々之ヲ協議シテ解決ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトハ、木材統制ヲスルコトガ現下ノ高度國防國家ノ建設上必要ナル觀點ニ於キマシテ、是ハ甚ダ不適當ナコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、全ク感情トカ或ハ細張りリト

カ云フコトヲ離レテ——勿論局長ハ色々ノ立場上御答ヘセラレルノニモ御苦心ノアルコトハ私十分想像シマスケレドモ、茲ニハツキリ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 私ノ御答ヘノ仕方モ惡カツタカト存ジマスガ、大體ニ於テ左様ナ具體的ナ配給ノ方法ニ付キマシテ、其ノ時々ノ協議ヲ必要トシナイヤウニ、例ヘバ曩ニ申シマシタ軍需或ハ官需ニ付テハドウ云フ配給ヲヤルカ、是ハ詰リ軍需並ニ官需方面ニ直接配給ヲスル、ソレカラ例ヘバ「マッチ」ノ軸木ノ原料ニ供スルヤウナ材ニ付テハ、是ハ日本燐寸軸木工業組合聯合會ニ配給スル、或ハ白松ニ付キマシテハ日本輸出木箱統制株式會社ニ配給スルト云フヤウニ、具體的ニ其ノ場合々々ニ付テハ既ニ農林省ト商工省間デ打合ハセヲ致シテ居リマス、左様ナ次第デアリマシテ、既ニ具體的ナヤリ方ヲ決メテ居リマスノデ、今御話ノヤウナ兩省ノ間ノ意見ノ間隔ト云フコトニ付テハ心配ハ萬々ナイト存ジマスガ、併シ物事ハ豫メ總テノコトヲ豫想スルコトハ出來マセヌメデ、今大體考ヘテ此ノ位ノコトヲ想定シテ置ケバ宜シイと思ツテ居タコトガ、尙ホ不十分デアル場合ガナイトハ申シ兼ねマスガ、左様ナ場合ニ付キマシテモ、人ガ送リマシテモ十分能ク連絡協調シテ、最善ノ途ニ解決ガ出來ルト信ジテ居リマス

○長野(長)委員 兩省ノ調和、協調ト云フコトハ御話ノ通り、此處デ能ク遂ゲ得ラレルト云フコトヲ御斷言ガ出來ナイ、ソコデ是ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトハ常識デアリ、現實ノ問題デアルノデアリマス、ヤハリ商工、農林トナリマス、或ル分野ノ境界ニ付キマシテハ相當ニ相剋摩擦ヲシ

テ居ルコトハ事實デアル、此ノ事實ハ將來ニ於テ左様ナコトガナイト云フコトヲ否定シ得ザル理由ノ重大ナルモノデアルノデアリマス、此ノ意味ニ於テ此ノ點ハ十分御考慮ニナツテ置カレル必要ガアリハセヌカ、是ガ第一デアリマス

モウ一ツ御尋ネシタイノハ、東亞木材株式會社ガ木材ヲ輸入スル或ハ輸出スルト云フ場合ニ、其ノ手ニ入レタ木材ニ付テ製材ヲスルトカ或ハ或ル種ノ加工ヲスルトカ云フコトハアルデゴザイマセウカ

○石黒政府委員 御答ヘ致シマス、左様ナコトハ致シマセヌ

○長野(長)委員 ソレデハ此ノ第四條、第五條、ソレカラ第六條ト云フモノニハ、全然商工省ト事務的交渉ヲ要スル事柄ハ發生シナイモノデゴザイマセウカ、是ハ農林省ノ側カラ一ツ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○井出政府委員 只今ノ御尋ネノ木材統制法案第四條、第五條、第六條ノ運用ニ付キマシテハ、原則トシテ輸入關係ニ於キマシテ商工省ト農林省ノ間ニ於テ打合セヲ致スベキ事柄ハ此ノ中ニ入ツテ居リマセヌ、但シ是ハ御尋ネト別ノコトニナリマスガ、第六條ノ許可制度ノ中ノ「木材ヲ原料若ハ材料トシテ使用スル業務」ト云フ中ニハ將來或ハ商工省所管ノ工業ガアル場合ガアルカモ知レマセヌ、其ノ部分ハ當然商工省ノ方ノ所管トシテ農林省ト協議ヲ致スベキモノデアリマス、御尋ネノ貿易關係ニ付キマシテハゴザイマセヌ

○長野(長)委員 先日本炭委員會デ此ノコトニ付テ御尋ネノ際ニ、山林局長カラ、何レ此ノ木材統制法ガ實施サレルコトニナルデアラウガ、東亞木材貿易會社ノ輸入ヲス

ルコトニ付テハ農林省ノ方デ之ヲ認メルト云フ手續ヲ經ルヤウナ風ニ承ツタト思ヒマスガ、左様ニ考ヘテ宜シウゴザイマセウカ

○井出政府委員 東亞木材株式會社ノ輸入取扱ニ係ル木材ハ本法案ガ實施セラルル場合ニ於キマシテハ、日本木材株式會社ニ於テ一手買入レヲ行ヒマシテ、是ガ配給ヲ致スト云フコトヲ建前トシテ運用致シタイ積リデ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 サウシマス東亞木材貿易會社ノ方ハドウ云フ立場ニナリマセウカ

○井出政府委員 東亞木材株式會社ノ方ハ圓域方面カラノ木材ノ輸入業務ヲ致ス必要ガアル、斯様ニ考ヘマス、輸入シテ來マシモノヲ内地ニ於テ一手デ日本木材株式會社ガ買入レルト云フコトヲ原則トシテ參リタイノデアリマス

○長野(長)委員 サウシマス先日ノ御話デハ如何ニモ日本木材株式會社ガ出來タ曉ニ於テハ、農林省ノ方デ東亞木材貿易會社ノ方ノ輸入ト云フモノヲ認メル豫定デアル、多分サウ云フコトニナルデアラウト思フト云フ風ニ御答ヘニナツタト思ヒマスガ、是ハ私ノ聽達ヒデアリマセウカ

○井出政府委員 只今ノ點ハ東亞木材株式會社ハ輸入マデハ致シテ宜シイ、斯ウ云フ意味ヲ申上ゲタ積リデアリマス、輸入セラレタモノヲ内地ニ於テ統制的ニ配給致シマスル關係上、日本木材會社ガ一手ニ買入レル譯デアリマス、サウシテソレヲソレノ需要部面ニ配給シテ參ル、斯ウ云フ風ニ業務ノ聯關ヲ取ツテ參ルト云フ意味ナノデアリマス

○長野(長)委員 ソコデ此ノ問題ガ非常ニ難シクナツテ居ルト思ヒマスルガ、サウ

シマスト東亞木材日本木材トノ間ニハ、行政的ニ見マストツカリ區劃ガ出來テ居ル譯デアリマス、サウシテ之ニ橋ガ架カツテ居ル、サウシテ兩者カラヤル、監督其他行政事務ハ一方ハ商工省ガ持つテ居ル、他ノ一方ハ農林省ガ持つテ居ル一ツノモノヲ二省デ指導シ監督スルコトニナル、茲ニ更ニ一ツノ私ガ心配スルハ斯ウ云フコトナノデアリマス、七、八百万石ノ木材ガ輸出サレテ居ル、所ガ此ノ木材ノ生産ト云フコトハ農林省側ノ會社デヤル、所ガソレカラ先ノ輸出ノ方ニナルト、是ハ商工省側ガヤル、ト斯ウナツテ居ル、ソコデ農林省側ハ、昨日モ豫算總會デ農林大臣ハ、手數料ノ如キモノハ出來ルダケ之ヲ低減スルコトニ努メルト云フコトヲ明言セラレタ、所ガ商工省側ハ、商工大

臣ガドウ云フ御意圖ヲ持つテ居ルカ分ラナイ、又現在ハ兎モ角、明日ノ問題ニナリマスルト、商工省ハ商工省獨自ノ考ヘデ手數料ヲ引上ゲルコトガアルカモ知レナイ、サウナリマスルト、先般モ申上ゲマシタヤウニ商工農林關係ノ兩機關ヲ通ル爲ニ、手數料ハ留保金モ合セマシテ約三割四分五厘ト云フモノガ要ルノデス、若シ商工省ガ更ニソレヨリモ引上ゲルト云フヤウナ場合ガ出來タ時ニ、農林省是ハヨリ以上ノ重壓ガ生産者ニ直グニ掛ルニ拘ラズ、商工大臣ト折衝セナケレバナラスト云フコトノ手間モ取レルシ、又ソレガ出來ルカ否カモ問題デアル、斯ウナリマスルト、是ハ農林側ニ於テモ非常ニ困リハセヌカ、勢ヒ摩擦ヲ生ズル、是ハ實際問題デゴザイマスガ、非常ニ御困リニナルコトガ出來ハセヌカト思フノデゴザイマス、困ラナイト云フコトハ此處ダケデハ言ハレマスアレドモ、ソレデハ安心出來

マセヌ、併シソレダケノ重壓ガ生産者ニ掛ツテ來ルト云フコトニナルト、公用木材ナドハ恐ラク私ハ出ナイト思フ、是ハ現今輸出木材中ニハ軍用材ガ多イノデ、國防國家ノ爲ニ此ノ時局下ニ於テ憂慮ニ堪エヌコトナリト私ハ思フノデアル、是ニ於テ農林當局ガ、東亞木材ノ方ガドンナニ手數料ヲ引上ゲヨウト、又引下ゲルコトニ反對ヲシヨウトモ、ソレデモイヤソレハ圓滿ニヤル途ガアルト云フナラバ、ソレヲ一ツ今明カニシテ置カナケレバナラス譯デアリマス、如何デセウ

○石黒國務大臣 長野サンノ色々ノ御心配ノ御氣持ハ能ク分リマスガ、今ノ貿易局ノ仕事ニ付テノ御心配デアルト思ヒマス、貿易局ハ商工大臣ノ監督ニハ屬シテ居リマスケレドモ、商工業ノミノ貿易局デハ勿論アリマセヌノデ、苟クモ日本ニ於テ生産サレル農林關係、水産其ノ他工礦業各方面ノ生産品ニ付テノ貿易局ヲ以テ任ジテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ農林關係ノ生産物ニ付テ特別ニ何かソレガ爲ニ生産ガ阻マレ、延イテハ又貿易ノ上ニモ支障ヲ來サヤウナ處置ヲ執ルヤウナコトハ絕對ニ今後ト雖モナイト存ジマス、是ハ大體ニ於キマシテ、貿易全體ノコトハ直接ニハ貿易ニ從事スル人ノ仕事デハアリマスアレドモ、其ノ源ハ、結局ニ於キマシテ生産ガアリ、ソレヲ取扱ツテノ貿易デモアルノデゴザイマシテ、生産、ソレカラ直接ノ貿易、兩方面ヲ十分ニ睨ミ合セテ、貿易局トシテハ總テノ仕事ヲヤツテ行キタイト思ヒマス

○長野(長)委員 餘リ押問答シテモ果シハナイヤウニ思ヒマスアレドモ、只今ノ御答ヘデハ私ハドウシテモ常識ガ許サヌト思ヒマス、ソレハナゼカト云フト、官吏ハ皆立派ナ人バカリデアリマスカラ、國家ノ大局ニ目ヲ着ケテ居ラレルノデアリマセウ、ソレナラバ國家ノ大局ニ目ヲ着ケテ小異ヲ捨テテ大同ニ就クカト云フト、就カナイ、現ニ官廳ト官廳トノ間ニ關連シタコトデ勢力範圍ノ取捌キニハ多クノ場合繩張り爭ヒヲ起スコトニナツテ居ル、現ニ此ノ會社ガ生レタコトニ於テモ、農林省トノ間ニ十分ナル協調ガ出來テ居ラス、何シロ木材ハ農林省ノ管轄ニ屬スル生産品デアルカラ、之ニ向ツテ十分ナル諒解ヲ得テ出來タモノカト云フト、ドウモサウデナイラシイ、又今回此ノ木材統制法ヲ作ルト云フ問題ニ付テモ、商工省ト隔意ナキ交渉ヲ遂ゲテヤツタモノカト云フト、ドウモサウトモ思ヘナイ、ノミナラズ今日官界デ最モ吾々ノ心配ヲシテ居ルコトハ、官廳ト官廳、兩官廳ニ跨ガツテ居ル事柄ハ中々繩張り爭ヒト云フカ、感情ト云フカ、雙方信念ノ對立トナリマシテ、何レモ國家ノ爲メ、國家ノ爲メト考ヘルガ爲ニ、自己ノ說ヲ曲ゲルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトデ爭ツテ居ル、私ハ是ハドウシテモ大局カラ一元的ニ見テ解決シナケレバイカヌト思フ、統制ト云フモノハ一元化スル、此ノ大局カラ行カナケレバナラス、ソレデ商工、農林兩省ニ跨ガル點ニ於テ、既ニ只今ノヤウナ御心配ヲ表明セラレテ居リマスガ、斯様ナコトニナルカラ、是ハドウシテモ思ヒ切ツテ一本ニナルヤウニセラレル必要ガアル、一本ニナルニハドウシテラ宜イカト申シマス、貿易ノ方ニ於キマシテハ、調ベテ見ルト東亞輸出組合聯合會ト云フモノガアルヤウデアル、此ノ中ニハ木材部ト云フモノガアリマスカラ、之ニ仕

事ヲサセルヤウニシテ、幸ヒニマダ東亞木材ハ活動シテ居ナイト思フカラ、是ハ農林省ト協調サレテアツサリ止メテ、サウシテ只今申サレタ程度ノ橋渡シデゴザイマスレバ、今マデヤツテ居ル通りニオヤリニナルコトガ適當デアル、斯様ニ私ハ考ヘマス、之ニ付テハ如何デアリマスカ

○石黒政府委員 只今ノ御意見デゴザイマスガ、昨日豫算總會ニ於キマシテモ、現在ノ輸出ノ手數料ト申シマスモノガ三割何分ニモナツテ居ルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、此ノ東亞木材貿易株式會社ガ出來マスル以前ニ於キマスル、此ノ東亞圓「ブロック」方面ニ對スル木材ノ輸出ニ付テハ、輸出業者ガ一般材ニ付テハ大體一割五分程度ノ手數料ヲ取ツテ居ツタノデアリマス、今回東亞木材貿易株式會社ガ出來マシテ、是ガ遙カニ減リマシテ、先般他ノ委員會ニ於テモ申上ゲマシタ通り、總テ括メテ手數料トシマシテ五分五厘ニナツテ居ルノデアリマス、要シマスルニ此ノ會社ノ出來ル前ニハ、御話ノ通り東亞必需品輸出組合聯合會ノ木材部ニ於テ、此ノ木材輸出ノ統制ヲ圖ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ統制ノ程度デハ十分デハナイ、會社ニ一元化スルコトニ依ツテ今申シマシタヤウニ、手數料ノ低減ヲ圖リ、其ノ他萬般ノ統制上便益ガアルト云フコトデ東亞木材貿易株式會社ガ出來マシタノデアリマス、隨ヒマシテマダ創立初メデゴザイマシテ、十分ナ仕事モ致シテハ居リマセヌアレドモ、或ル程度仕事ニモ着手シテ居リマス、私共ト致シマシテハ、折角ノ御話デハゴザイマスアレドモ、此ノ東亞木材貿易株式會社ノ今申アリマスルアレドモ、既ニ發足致シテ居リ

マス仕事ノヤリ方等ニ鑑ミマシテモ、是非トモ此ノ會社ニ依ツテ從來ノ取引ノ實情ヲ一層改善致シタイト云フ風ニ熱望致シテ居リマスノデ、無論此ノ會社ニ依ツテ仕事ヲ進メテ参リタイト思ヒマス

○長野(長)委員 手數料ノコトニ付キマシテハ、却テ低クナツタト云フコトデゴザイマスガ、私ノ調べタ所デハ安クナツテ居ルトハ思ヘス、殖エテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、是ハ一ツ御調査願ツテ置キマス、ドウモ私ハ左様ニ思ヘナイノデアリマス、サウシテ改メテ分ルヤウニ一ツ御聴キシタイト思ヒマス、兎ニ角此ノ木材統制ト云フコトハ、成ベク簡單ニ一元的ニ行クト云フノガ本來ノ原則デアリマスカラ、其ノ意味カラ考ヘテモ、重要ナ七、八百万石ト云フノハ何時モ橋渡シデ、農林商工ノ間デ一々事務ノ打合せヲシナケレバ出來ナイト云フヤウナ御話ノ意味ニ於テスルコトハ、是ハ何ト云ツテモ敏速ニ事ヲシナケレバナラス、殊ニ公用木材、軍用木材ガ多イノデアリマスカラ、是ハ一ツ極ク冷靜ニ幹部ノ間ニ一ツ御話合ヒニナツテ、改メテ御決意ヲ承リタイト思ヒマス

ソレカラ此ノ東亞木材株式會社ノ代行者デアリマスガ、是ハ見テミマス、三十八人ト云フ規定ニナツテ居ツテ、サウシテソレガ輸出實績者ノミデアル、所ガ輸入實績者ト云フモノニ付テハ一向考慮ヲ拂ハレテ居ナイ、是ハ中ニハ農林省關係ノ輸入業者ト云フモノガ相當アリハシナイカト思フ、又外地ニ於テモ日本ヘ木材ヲ送り込ンデ來ル實績者ト云フモノモアルニ違ヒナイ、國家ノ大局カラ見テ是等ヲ無視シタト云フコトハ不都合デアルノミナラズ、實際上軍ノ

用命ヲ受ケテ、或ハ國內ニ木材ヲ輸入シ、或ハ外地ニ於テ滿支等ノ木材ヲ日本ヘ輸出シテ居ル實績者ト云フモノヲ認メナイ爲ニ起ツテ來ル不圓滑ト云フコト、是モ無視スルコトガ出來スト思フノデアリマス、之ニ付テハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○石黒政府委員 先程手數料ニ付テ尙ホ能ク調べテ貰ヒタイト云フ御話デゴザイマシタガ、大體長野サンノ非常ニ高イト御思ヒニナル事情ハ私共ニモ分ルノデゴザイマス、詰リ昨日豫算總會ニ於テモ御觸レニナリマシタ點デアリマスガ、要スルニ圓「プロック」貿易調整ノ爲ニスル例ノ留保金關係ヲ込メテノ御話デアラウト思ヒマスガ、此ノ留保金關係ト云フモノハ、是ハ能ク御承知ノコトト思ヒマスケレドヒ、木材デアルトカ、何トカト云フコトニ依ツテ取扱ヒガ二・三ニナツテ居ルノデハアリマセスノデアリマシテ、御承知ノ通りニ今日ノ場合此ノ東亞共榮團ニ於ケル物資、交流ヲ圓滑ニ致シ、併セテ現地ニ於ケル通貨政策ノ圓滑ナル遂行ヲ期スルト云フ、謂ハバ事變遂行ノ爲ノ此ノ東亞共榮團ノ我ガ經營ノ上カラ言ヒマシテ一ツノ具體的ナ方策デアリマシテ、是ハ軍官民一致致シマシテ、此ノ困難ナル事變遂行ヲヤツテ參ル一ツノ經濟方面ニ於ケル措置デアリマス、是ハ或ル物資ニ付テ特ニドウデアルトカ、斯ウトカト云フコトデナク、廣ク考ヘナケレバナリマセスノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ留保金制度ガ出來マシテ趣旨ヲ能ク御承知戴キマシテ、是ハ何等輸出ノ爲ノ手數料トカ何トカト云フコトニ御考ヘヲ願ハズ、別途ニ一ツ御考ヘヲ願ヒタイト存ジマス、サウ致シマス、手數料ノ點ハ多少御話ト違ヒマス

ルケレドモ、大體御話ノ點トハ餘リ違ヒハナイコトニナルノデアリマス

ソレカラ貿易關係ニ付テ、何ト申シマスカ農林省デ一手ニ貿易ヲヤツタラドウカト云フ御話、或ハ違フカモ知レマセマスガ、木材ノ統制ニ關聯シテ、木材ノ貿易統制モ農林省デヤツタラドウカト云フ御話ト存ジマスガ、是ハ御承知ノヤウニ最近農林商工ノ事務調整ガ行ハレマシテ、各種ノ食糧品ノ配給關係、其ノ他色々ナ事務ヲ商工省カラ農林省ニ移スト同時ニ、貿易關係ダケハ、先程申シマシタ工業生産品デアルト、農林水産生産品デアルトヲ問ハズ、總テ一括シテ統一アル政策ノ下ニ之ヲ實行シヨウト云フコトデ、アノ事務調整ガ出來タノデゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマシテ、貿易關係ハ此ノ木材ガ一面ニ於テ内地ニ於ケル統制上農林省ニ屬シテ居リマシテモ、民間機構ガ如何様ニナルニ致シマシテモ、貿易關係ノ統制ハ此ノ際政府ト致シマシテハ貿易局ヲ統制シテヤツテ行クト云フコトニナルコトニ付テハ動シ難イト存ジマス、唯實際上左様ニ致シマシテ、生産方面ト貿易關係トノ間ニ十分ナル連絡ガ缺ケルトカ、其ノ他不都合ガ起リマスルコトハ、是ハ勿論避ケナケレバナリマセスノデ、吾々ト致シマシテハ最善ノ連絡ヲ一ツ取ツテ參リタイト思ヒマスカラ、ドウカ今後ノ實績ニ徴シテ又御意見ヲ御述ベ戴キタイト存ジマス

ソレカラ最後ニ輸入ノ實績ノアルモノニ木材ノ輸出ノコトモ扱ハセタラドウカト云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ此ノ東亞木材貿易會社ノ仕事ノ代行ハ從來ノ輸出ノ實績者ニ扱ハセルコトニナツテ居リマスノデ、此ノ輸入ノ實績者ニマデナニスルト云フコ

トハ、此ノ會社設立ノ趣旨カラ申シマシテモ、ドウモ一寸ムジカシクハナイカト存ジマス、ソレハ色々ノ商品ニ付キマシテ、今全般的ニ此ノ輸出貿易ノ、所謂實績主義ト云フコトニ付テ色々ノ御意見ガゴザイマス、之ニ付キマシテハ私共モ御尤モニ感ズルノデ、今後モ色々研究ヲ致シタイト思ツテ居リマスガ、唯此ノ輸入ノ實績ガアルカラ、此ノ同一商品ニ付テ輸出ノ方モ扱ハセタラドウカト云フコトニ付キマシテハ、初メテ伺フ御意見デゴザイマシテ、是ハドウ云フ風ニ考ヘルベキモノカ、私モ一寸今見當ガ付キマセスノデ、尙ホ能ク研究ヲ致シテ見タイト存ジマス

○長野(長)委員 貿易局長ハ輸出バカリデ輸入ハセスト云フモノ、東亞木材貿易株式會社ハ今度新タニ輸入モヤル筈デゴザイマスカ其ノ點ハ如何デゴザイマス

○石黒政府委員 ソレハ滿洲方面ヨリノ輸入ノコトヲ致スコトニナツテ居リマス

○長野(長)委員 デアルカラ私ハ滿洲方面ノ輸入實績者ヲ無視スルコトハ宜クナイト云フテ居ルノデアリマス、又内地ニモ輸入實績者ガアルノダカラ是ハ入レナケレバナラス、只今ノ御話デハ輸入ハシナイ、輸出バカリヤルノデアル、輸入ノ實績者ハ入レテ居ラスト反駁サレタケレドモ、現ニ滿洲國ト云フ外國カラ輸入シテ居ルト云フコトヲ御認メニナツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ輸入實績者ヲ無視スルト云フコトハ、アナタノ今マデノ御立論カラ云ツテモ、全然私ノ論ニ賛成シナケレバナラスコトナルト思ヒマス、之ニ付テサウデナイカサウデアルトカ簡單ニ御答ヘ願ヒタイ

○石黒政府委員 私ノ申シマシタノハ、輸

入實績者ニ輸出ノ方ノ仕事ヲサセルト云フ
御意見カト思ヒマシテ申シマシタ

○長野(長)委員 ソレナラ宜シウゴザイマ
ス

○石黒政府委員 其ノ輸入ノ關係ニ付キマ
シテハ、滿洲國トノ輸入上ドウ云フ手續ニ
ナリマスカ、尙ホ能ク調ベマシテカラ申上
ゲタイト存ジマス

○長野(長)委員 ソレデハ只今ノ滿洲國カ
ラ輸入シテ居ルコトニ付テ、輸入ノ實績者
ヲ——詰リ東亞木材貿易株式會社ノ一ツノ
仕事ナノデアリ、仕事ノ重大ナ大半ナノデ
アリマス、ダカラ此ノ事實上ノ大半ヲ占メ
テ居ル輸入實績者ヲ加ヘルト云フコトハ、
アナタノ御答ヘニナラマシタ其ノ御言葉
ノ意味カラシテ、當然是ハ肯定セラレタ御
意見デアツタノデゴザイマス、此ノ意味ヲ
ドウゾ御認メテ願ツテ置キマス

○石黒政府委員 只今ノ點デアリマスガ、
私ハ極ク常識的ニ先程御答ヘシタノデアリ
マシテ、輸出關係ニ於ケル此ノ會社ノ仕事
ノ代行者ハ、此ノ會社ノ株主ノ中カラ選ブ
コトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ株主
ハドウ云フ人カラ出來テ居ルカト云フト、
日本東亞必需品輸出組合員デアル木材ノ輸
出實績者ヲ以テ出來テ居ルノデアリマス、
ソコデ詰リ株主ノ代行者ニスルト云フコト
ニ此ノ會社トシテハヤリ方ガ決ツテ居ルノ
デアリマスガ、一飛ビ飛ンデ輸出ノ實績者
ガヤルノダト云フコトヲ私ガ申シタ次第デ
アリマス、要スルニ此ノ會社ノ仕事トシマ
シテハ、株主ノ中カラ代行者ヲ選ンデ仕事
ヲヤラセルト云フコトニナツテ居ル、ソレ
デアリマスカラ此ノ代行者ガ株主以外カラ
選バレルト云フコトニ付キマシテハ、此ノ

會社トシテハ現在ノ規定ノ上カラ左様ナコ
トハ出來ナイコトニナツテ居リマス、其ノ
點ヲ御諒承願ヒマス

○長野(長)委員 ソレデハ其ノ株主ノ中ニ
ハ輸入實績者ハ一人モ居ナイノデアリマス
カ

○石黒政府委員 特別ノ計ラヒニ依リマシ
テ、木材ノ輸入組合員ハ株主ニスルコトガ
出來ルコトニナツテ居ルサウデアリマス

○長野(長)委員 只今私ノ御尋ネシタノハ、
木材以外ニ滿洲カラノ輸入實績者ニシテ株
主ガアリハシナイカ、株主ノ中ニ現ニ輸入
ニ從事シテ居ル者ガ居リハシナイカ、斯ウ
云フ御尋ネデアリマス

○石黒政府委員 例ヘバ「マツチ」ノ軸木ノ
工業組合聯合會、斯様ナモノハヤリ株主
ニナルト云フコトニナツテ居ルサウデアリ
マス、併シ將來ノコトハ又能ク其ノ實際ノ
色々ノ事情ヲ調ベテヤルコトニシタラドウ
カ、今ノ所ハ左様ナコトニナツテ居リマス

○長野(長)委員 「マツチ」原料材デアラウ
ガ何デアラウガ、現ニ株主ガアルナラバ、
其ノ株主ヲ無視スルト云フコトハ出來ナイ
譯デス、ソレカラ今マデハ輸出バカリヲヤ
ツテ居ツタ、併シ是カラハ一ツ輸入モヤラ
シタイト云フノデ、サウ云フ仕事ヲ加ヘタ
以上ハ、其ノ輸入當事者ヲ加ヘルヤウナ適
法ヲ執ラセレバ宜イ、ソレガ即チ國家ノ適
正ナル行政デス、其ノ意味ニ於テ是レ以上
色々ト言ハレテモ、ソレハ一ツノ逃ゲ口上
ミタイニナツテシマヒマスシ、皆サンノ公
正ナル常識カラ見テ、甚ダ事方面白クナイ
ト思ヒマス、又コンナ分リ切ツタ事デ餘リ
時間ヲ費シタクナイノデアリマス、ドウゾ
此ノ問題ニ付テ十分御考慮ヲ願ツテ、サウ

シテ之ヲ解散スルナリ、マダ活動ニハ掛ツ
テ居ナイ筈デスカラ、取止メニスルコトガ
是ナリトスレバ取止メニスル、此ノ點ニ付
テドウシテモ之ヲヤラナケレバナラヌト御
決意ニナリ、又特別ノ關係アル軍ニ於テモ
之ヲ認メルト云フコトニナルナラバ、手數
料ヲ初メ内容ニ付テモウ少シ御研究ヲ戴イ
テ、又事務上ニ於テモ農林省トノ間ニ摩擦
ヲ起シ、或ハ殊更ニ一々御話ノヤウナ會議
ヲ開カナケレバ兩者ノ連絡ガ付カナイヤウ
ナコトノナイヤウニ、殊ニ大切ナ外地ノ、而
モ此ノ戰爭地域ビ又生命線タル滿洲國トノ
間ノ關係ナノデアリマス、是ハ一々會議ヲ
開クナドト云フコトハイケナイ、ソコデ局
長トシテハ中々御主張シニクイ色々ナ事情
モアルトスレバ、私ガ肯カナイ、長野ガ肯カ
スノダト云フコトヲ小島次官ニ御話ニナツ
テヤレバ、小島サンハ笑ツテ解決ノ出來ル
人デス、重大ナ問題ガ澤山アリマスノデ、
此ノ問題ハ取敢ズ此ノ程度ニシテ、サウシ
テ解決ノ仕方ニ依ツテハ尙ホ一ツ御尋ネヲ
シタイト云フコトヲ留保シテ、次ノ質問ニ
移リタイト思ヒマス

先程松尾委員カラ木材ノ價格ノコトニ付
テ御質問ガアリマシタ、私ハ違ツタ方面カ
ラ御尋ネヲシタイト思ヒマスガ、現在ノ木
材ノ公定價ハ東京トカ、名古屋トカ、大阪
ト云ツタ主要ナル主産地ノ市場ニ於テノ事
情ヲ基調トシテ御作りニナツタモノト解釋
シテ宜シウゴザイマセウカ

○井出政府委員 昨年末ニ定メマシタ木材
ノ公定價格ノ基準ハ、御話ノヤウニ大體基
準ヲ採リマシタノハ東京、大阪、名古屋此
ノ三都ノ市場ニ於キマシテハ、着驛ノ「レ
ル」一渡シ價格ヲ同一ナルモノト致シマ

シテ、ソレヲ出發點ニ致シマシテ、各生産
地ヘ運賃其ノ他ノ諸係リ等ヲ還元シテ參ル
ト云フ風ナ方式ノ下ニ價格ヲ決メテヤツタ
ノガ建前ノ一ツニナツテ居リマス

○河野委員 一寸長野サンニ申上ゲマス
ガ、商工省ノ方ハモウ宜シイノデスカ

○長野(長)委員 宜シウゴザイマス

○河野委員 一寸其ノ質問ハ一寸待
ツテ下サイ、長野サンノアト、質問ハ別、機
會ニ御許シマス——大橋君

○大橋(清)委員 私ハ簡單ニ一點伺ツテ置
キタイノデスガ、此ノ頃政府ノ方デハ、統
制經濟ヲ企畫スル上ニ於キマシテ、色々ト
商工業組合ト云ツタヤウナ從來ノ形式ヲ利
用スルコトガアリマシタリ、又或ハ木材統
制會社ノヤウナ形式ヲ御採リニナリ、或ハ
又公ノ營團ノヤウナ形式ヲ御採リニナリマ
ス、各省ニ於キマシテソレノ任意ニ御採
用ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ三ツ
ノ現在ノ形式ハソレノ其ノ性格ヲ異ニシ
テ居ルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリ
マス、大體ドウ云フヤウナ目安デ、ドウ云
フヤウナ標準デ、ドウ云フヤウナ基礎ノ上
ニ於キマシテ、政府ハ經濟企畫ノ上ニ是等
ノ色々ナ方法ヲ御採用ニナルノデアリマス
カ、民間ハ實ハ此ノ經濟企畫ノ上ニ於キマ
シテ色々ト其ノ岐路ニ迷フ、サウ云フモノ
ガ出來上リマスル上ニ於キマシテ、一體ド
ウナルコトデアアルカト云フヤウナ風ニ非常
ニ迷ツテ居リマス

○河野委員 一寸大橋サンニ申上ゲマス、
今商工省ノ政府委員ガ貿易局長官デスカ
ラ、御質問ハ後刻商工次官ノ出席ヲ求メル
コトニナツテ居リマスカラ、其ノ時ニ一ツ
御延バシヲ願ヒマス

○大橋(清)委員 ソレデハサウ致シマス

○河野委員長 貿易局長官ニ對スル御尋ネ
ハモウナイト思ヒマスカラ、次ハ海軍ノ政
府委員ガ御見エニナツテ居リマス、海軍關
係ノ質問ヲ許シマス

○松浦(周)委員 陸、海軍兩省ニ御尋ネシ
タイノデスガ、時局以來段々木材ノ澤山要
ルノデアリマスガ、木材ノ用途ニ付キマシ
テ御研究ガアリマシタナラバ此ノ際御發表
ガ願ヒタイト思ヒマス、私ノ聞カントスル
所ハ、國內ノ蓄積ノ内容ヲ見マスルト、大
體ニ於テ瀾葉樹ト針葉樹ト半分位ヅツアル、
瀾葉樹ノ利用率ハ割合少クテ、急ニ御入用
ニナルモノデシタラ主トシテ針葉樹ヲ御使
品ヲ使ハナケレバナラヌト云フ時デアリマ
スカラ用途研究、技術方面ノコトガ十分ニ
出來ナイト、資源ニハ限度ガアリマシテ、
餘裕ノアル方面ニ食ヒ込シテ行カナケレバ
ナラコトハ理ノ當然デアリマス、之ニ付キ
マシテ一番多ク御使ヒニナリマスル陸、海軍
兩省ニ於テキマシテ、代用品、所謂主トシテ
瀾葉樹ヲ針葉樹ノ代リニ使フ、又瀾葉樹ノ
中ニ於テキマシテ今日「タモ」ナドガ非常ニ高
イ、ソレデ其ノ高イ「タモ」モ資源地ニ行ツテ
見レバ段々枯渴シテ來テ居リマス、主ト
シテ生産サレル北海道ニ於テキマシテモ非常
ニ、原木、原料ガ不足ニナツテ居ル、所ガ
其ノ半面ニ同ジク瀾葉樹デモ北海道ノ檜ナ
ドハ歐洲戰爭以來、輸出ガ杜絶シマシテ用
途ガ少イ、デアリマスルカラ斯ウ云フモノ
ハ「タモ」ノ使用方面デアツタモノヲ檜ニ變ヘ
テ行ク、此ノ強度ノ上ニ於テキマシテモ——又
檜ハ「タモ」ヨリモ長イモノハ取レマセヌ
ケレドモ、尤モ取り方ニ依ツテハ色々研究

サレル方法モアラウト思ヒマス、艦船用材、
或ハ車輛、或ハ通信器ノ方面ニ於テキマシテ、
兎ニ角主トシテ代用品ヲ以テ變ヘテ行クト
云フ研究ヲシテ戴カナケレバナリマセヌ
シ、今ソレガ出來テ居リマスルナラバ、從
來ノヤウニ此ノ木デナケレバイカスト云フ
風ニ限定セラレナイデ、此ノ資源ノ内容ト
睨ミ合セラレマシテヤツテ戴キタイコトガ
私ノ希望デゴザイマスガ、ソレニ對スル兩
省ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○武井政府委員 只今ノ御考ヘハ御尤モト
考ヘテ居リマスルガ、御承知ノヤウニ海軍
デ使ヒマスルモノハ艦船材、兵器ノ部分品
等デアリマシテ、規格ガ非常ニ高イノデゴ
ザイマシテ、今日ノ事情カラ見マスレバ代
用品デ進ミタイ、又進ムコトニ致シテ居リ
マスルガ、中々思フヤウニ行カナイノガ實情
デゴザイマス、併シ最近ニナリマシテ海軍
ノ需要ガ激増致シマシテ、ドウシテモ今マ
デノ考ヘ方デハイカスト云フコトニナリマ
シタノデ、農林省及ビ專門ノ技術者ヲ海軍
ノ囑託ニ御願ヒ致シマシテ、吾々ノ考ヘノ
足りナイ所ヲ補ツテ戴ク、其ノ方面ニ今仰
シヤルヤウニ是カラ段々進メテ行キタイ、
一部分既ニ實施シタモノモアリマス、唯御
希望マデニ進ンデ居ルカト申シマスレバ遺
憾ナガラソコマデハ行ツテ居リマセヌ、是
カラハヤル積リデ居リマス、左様御諒承ヲ
願ヒマス

○山田説明員 政府委員ガ居リマセヌカラ
私カラ御説明申上ゲマス、只今海軍ノ方カ
ラ話ガアリマシタヤウニ、陸軍ニ於テキマシ
テモ同様デゴザイマスガ、主トシテ瀾葉樹
ノ大部分ハ兵器ノ用材トシテ相當重要ナモ
ノデゴザイマス、又是等ノ需給關係等ヲ見

マシテ段々重要ナ、貴重ナモノガ逐次代用
品ニ移ツテ居リマス、隨ツテ一般用材ノ方
カラ見マスレバ成ベク悪い、安イ物、或ハ
量ノ多イ物デヤルヤウニ今マデヤツテ來タ
ノデゴザイマス、併シ兩者ノ間ニ於テノ需
給關係ニ於テ多少色々狀況ガ違ツテ來マシ
タノデ、瀾葉樹ノ利用ニ付キマシテハ、私
ノ方ニ於テキマシテモ、極力考ヘテ居ルノデ
ゴザイマスルガ、今ノ所デハマダ具體的ナ
所マデハ進ンデ居リマセヌ、床トカ、壁ト
カ云フ方面ニ少シヅツサウ云フヤウナ物ヲ
使フト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○河野委員長 ソレデハ企畫院關係ノ方ガ
御見エニナツテ居リマスカラ其ノ方ノ御質
問ヲ願ヒマス

○杉浦(周)委員 實ハ本會ノ質問ノ時ニモ
大體聽キマシタコトデゴザイマスガ、木材
ノ統制ヲ致シマシテモ、其ノ資源デアル森
林統制ガ出來テ居ラナケレバ完全ナ統制ハ
行ハレナイ、又政府ハ民有林——民業ニ對
スル統制ヲ盛ン致シマスケレドモ、其ノ基
礎デアル所ノ官業統制ヲ全然シナイ、是ハ
洵ニ今ノ統制經濟ニ合ハヌト思フ、獨リ經
濟統制ノミナラズ總テノ官僚ノ繩張り爭ヒ
ト申シマスガ、サウ云フ御互ヒニ壁ヲ造ツ
タンデハ此ノ時局ハ片付カスト云フコトヲ
私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、特ニ甚ダ
シイノハ森林行政ノ統一ガ出來テ居ラスコ
トデゴザイマス、之ニ付キマシテ各省ノ意
見ガ色々ゴザイマスカラ、ソレヲ急ニ其ノ
所有マデ移管シテ統制スルコトガ困難ナ狀
態ニ置カレテ居ルコトハ、本議會ノ各委員
會ニ於テ各大臣ガ述ベテ居ル、ソレナラバ
ドウシテモ森林ヲ統一スルコトガ出來ナケ
レバ、少クとも森林行政ノ統一ハ必要ナン

デス、デアリマスカラ私ハ總理大臣ヲ會長
トシ各省次官ヲ委員ニスル此ノ森林行政統
一ニ關スル所謂森林ノ參謀本部ヲ作ツテ、
サウシテ其ノ統制下ニ於テ、總テノ各省ノ
所有山林、所有林政ヲ統一的行フト云フ
コトガ最モ必要ナコトデス、實ハ是ハ總理
大臣ニ答辯シテ貰ハナケレバナラヌト思ツ
テ居リマスガ、サウ云フ機會ガゴザイマセ
ヌ、ソレデ企畫院總裁ニ答辯シテ貰ハウト
思ヒマスガ御出席ガナイカラ、責任ノアル
森林行政ノ統一ヲスルト云フコトニ付テノ
御意見ヲ伺ツタ上デ、更ニ企畫院ノ方ニ伺
ツテ見タイト思ヒマス

○三浦政府委員 企畫院總裁、次長トモ差
支ヘガアリマシテ出席致シテ居リマセヌノ
デ私カラ御答辯申上ゲマス、只今松浦委員
ヨリ林政機能ノ統制ニ付テノ考ヘハドウカ
ト云フ御質問デアリマスガ、實ハ率直ニ申
上ゲマス此ノ時局ニ對處致シマシテ各種
ノ經濟方策ヲ徹底的ニ效果アラシムル爲
ニ——是ハ私ノ考ヘデゴザイマスルガ、行政
機構ノ刷新統一ト云フコトガ非常ニ大切ナ
コトト痛感シテ居リマス、唯事ガ非常ニ重
大ナ問題デアリマスルシ、内閣官制ノ改正
ニマデ及バナケレバ實際問題トシテ片付カ
ヌト思ヒマスノデ、中々吾々ノ希望シテ居
ルヤウニハ參ツテ居ラスノデアリマス、林
政ニ關シマシテモ其ノ點ハ言ハレテ居リマ
ス、隨ヒマシテ、私達ハ現段階ニ於テキマシ
テハ林政ノ所謂機能ノ綜合的調整、之ヲ中
心ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、實ヲ申シマ
スト從來ノ木材需給調整ノ計畫ハ特定ノ品
目ニ限ラレテ實行シテ居リマス、ソレカラ
又特定ノ事項ヲ豫想致シマシテ實施計畫致
シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ全面的ナ

計畫マデハ只今ノ所致シテ居リマセヌガ、來年度カラハ相當廣汎ニ計畫シ實施ニ移シタイト云フ考ヘデアリマス、サウ云フ立場カラ申上ゲマス、今回提案サレマシタ木材統制法ノ制定ハ是非トモ希望シテ已マナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、惜テ木材需給調整ノコトニ付キマシテ只今マデノ扱ヒ方ヲ申上ゲタノデアリマスガ、然ラバ全然此ノ問題ニ付テ各省間ノ調整連絡ヲ執ツテ居ラナカツタカドウカト云フコトデアリマスガ、決シテサウデハアリマセヌノデ、實ハ各省ニ協力ヲ願ヒ同時ニ此ノ林政ノ劃期的ナ進捗ヲ期待スル爲ニ、從前トモ各種ノ施策ガ講ゼラレテ居ツタノデアリマス、企畫院ガ重要物資ノ調整ト云フ見地カラ致シマシテモ一昨年来既ニ木材需給調整ニ關スル協議會ヲ設置致シマシテ、事ノ輕重ニ依リマシテ關係官ノ範圍ヲ或ハ限定シ或ハ擴大シ、其ノ重要問題ニ付テノ處理ヲ致シテ來タノデアリマス、隨ヒマシテ今後如何様ナル機構組織ノ下ニ之ヲ圓滑ニ進メテ行カト云フコトデアリマスルガ、松浦委員ハ内閣ニ少クトモ各省ノ事務ヲ調整スル爲ニ次官級ノ委員會デモ作ツテ、ソレニ依ツテ重要事項ヲ決定シタラ如何カト云フヤウナ有力ナル御意見モアツタノデアリマスガ、只今ノ所謂物資需給調整ノ見地カラ先程申上ゲマシタヤウナ木材需給協議會ト云フノ開イテ居ルノデアリマスガ、今度ハ之ヲ改メマシテ成ベク物資動員計畫ニ副ヒタイ考ヘデアリマス、サスレバ事ノ輕イモノハ關係官ニ於テ之ヲ協議シ、重イモノハ各省次官ニ依ツテ組織サレマス參與會議等ニ付議致シマシテ、逐次重要事項ニ付キマシテハ閣議決定ト云フ風ニ進ンデ參リタイと思ヒマス、サウ云フ

ヤウナコトニ依リマシテ此ノ點ヲ整理改善致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ程度デハ恐ラク御満足ニナラヌカト思ヒマスレドモ、只今ノ所一番實行のデアリ效果ヲ擧ゲ得ル施策デハナイカト考ヘマシテ此ノ點私トシテ御答辯申上ゲマス

○松浦(周)委員 私ノ聽カントスル問題ニ對シテ責任ノアル答辯ヲセヨト迫リマシテモ御協議ナサラナケレバ、又内閣ノ方針ガ決ラナケレバ出來ヌコトデアリマスカラ、希望シテ前段ノ意見ヲ申上ゲテ置キマス其ノ次ハ是ハ御答ヘ願ヘル問題デアリマスガ、全體ニ於ケル木材ノ需給調整ノ問題デアリマス、主トシテ生産ニ對スル問題デアリマス、此ノ間樺太開發會社ノ場合ニモ此ノ意見ヲ申述べタノデアリマスガ、ヤハリ各省ガ繩張りノニ自分ノ山林ヲ守ルト云フ見地カラ、國ノ平均負擔ヲ逃レヨウトシテ居ル、昨日カラモ此ノ委員會ノ懇談會ニ於テ重心ニナリマシタモノハ、私有林保護ノ問題デアリマス、私有林ガ受ケテ居ル負擔率ハ實ニ高イ、現在ノ統計ニ依リマス、六倍以上ノ負擔ヲ受ケテ居ル、更ニ其ノ私有林ニ伐採命令ヲ出スト云フガ如キハ全ク全體ヲ眺メナイ行キ方デアリ、自分ノ繩張りヲ守ルト云フ行キ方デアリ、私有林ガ荒廢シタラ日本ノ産業、日本ノ食糧政策ガ完璧ヲ期スルコトガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ見地カラ少クトモ現在持ツテ居ル各種國有林ガ日本デ必要ナル資材ハ其ノ蓄積ノ負擔率ヲ平均ニシナケレバナラヌコト云フコトハ當然ダと思フ、然ルニ何ゾヤ、國有林ノ五割五分ニ對シテ一%ノシカ伐ツテ居ラス、民有林ハ七%ノシカ伐ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ物動計畫上カラドウ考ヘラレルカ、今ノヤ

ウナ御答辯ノ程度ノ連絡機關ヲ以テソレヲ調整スルノ確信アリヤ否ヤ、而シテ各種國有林ガ民有林ノ負フテ居ル大キナ負擔ヲ分擔シ得ルヤ否ヤ、之ヲ物動計畫上カラ見ラレル企畫院ノ御考ヘハドウデアリマスカ

○三浦政府委員 物資需給調整ノ見地カラ見マス百ノモノニ對シテ百、謂ハバ需給ノ「バランス」ガ取レバ宜イト云フ簡單ナル結論ニナリマスケレドモ、併シ百ノ需要ニ對シテ百ノ供給ガアル場合ニ、其ノ百ノ供給ノ由テ來ル事象ガ國家ノ産業ノ「バランス」ヲ破ツタリ、若シクハ資源ヲ涸渇サセルト云フコトニナツテハイカスノデゴザイマスカラ、隨ヒマシテサウ云フ意味ヲ以テ木材ノ需給調整ノ場合ニ供給サレマス所ノ林木ノ伐採ガ公有林、私有林、國有林ヲ通ジマシテ、所謂公正ナル森林經營ヲ執ツテ行クト云フコトヲ絕對的ニ希望致シマスコトハ、企畫院ト致シマシテモハ申スマデモナイコトデゴザイマシテ、唯其ノ際ニ現下ノ林政上國有林ノ「バランス」ガ失シテ居ルトカ、或ハ民有林ガ過伐セラレルト云フコトニ付キマシテハ色々御非難ガアラウト思ヒマスガ、私達ハ林政ノ最モ合理的ナ經營ヲシテ戴クト云フコトヲ絕對的ニ期待致シテ居ルノデゴザイマスカラ左様御諒承願ヒマス

○松浦(周)委員 大體要約スルト需要スル方ダケ企畫院ノ方ハ求メレバ宜イト云フ風ニ聞エル、今ノハ附ケ言ノヤウニ思ハレル、結論ハサウナル

○三浦政府委員 デスカラ後段ニ於キマシテ公正ナル森林經營ヲ實行シテ戴キテ、決シテ林政ガ素レナイヤウニシテ戴キタイト云フコトハ絕對的ニ吾々ハ希望シテ居ル、

斯ウ申上ゲタ所以デアリマシテ、森林ガ荒廢シ國土ノ保安ガ害サレルト云フヤウナコトハ勿論希望致シテ居リマセヌ、ドウゾ其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○松浦(周)委員 其ノ公正ナル森林經營ヲナス上ニ於テハ森林行政ガ統一シテ居ラナケレバナラヌ、サウキ御話ノヤウナ程度ノモノデソレガ出來マセウカ

○三浦政府委員 ソコデ問題ハ内外地ニ互ル林政ヲ如何ニシテ此ノ要求ニ即應セシムルカ、隨テ其ノ際ニ林政ノ統一ガ絕對的ニ必要ダラウト云フ御議論ト思ヒマスガ、先程申上ゲマシタ通り希望シテハ其ノ通りデアラウト思ヒマス、但シ現在ノ段階トシマシテハソコマデハ直グニ行カヌカラ、現在焦眉ノ急ニ應ズル爲ニ先程申上ゲタヤウナ方法ヲ執ツテ最善ノ方途ヲ講ジテ行キタイト云フ考ヘデアリマス、但シ此ノ際一言申上ゲテ置キマス、同ジ目ヲ以テ觀察シ同ジ人ヲ以テ判斷シ、其ノ判斷ニ基イテ行政ヲシマスルコトガ一番大事ナコトデアリマスカラ、サウ云フ意味カラ申上ゲマス、内地ハ内地、外地ハ外地ト云フ異ナツタル目ヲ以テ見、異ナツタル人ノ判斷ニ依ツテヤル場合デスカラ、時ニハ所謂伐採量ノ測定デアルトカ、材質ノ鑑定ト云フコトニ付キマシテハ色々意見モアラウト思ヒマスガ、ソコハ現在ノ機構ニ於キマシテモ已ムヲ得ナイ點デハアルト思ヒマス、其ノ間ノ事情ヲ具サニ之ヲ精査シテ、段々ノ工作ヲ講ズルコトニ依ツテ、所定ノ效果ヲ擧ゲ得ルト考ヘテ居ル譯デアリマス

○河野委員長 松浦委員ノ只今ノ御質問ハ重要ナ點デアリマシテ、是ハ大臣ヨリ御答辯ヲ願フコトガ適當ト考ヘマス、隨テ午後

適當ノ時間ニ農林大臣其ノ他適當ノ大臣ニ御出席ヲ願フテ、御答辯ヲ願フコトニ致シマス、午前ハ是ニテ休憩致シマス、午後ハ一時ヨリ會議ヲ開キマス

午後零時一分休憩

午後一時三十八分開議

○河野委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——松尾君

○松尾(四)委員 我ハ陸海軍ノ當局ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、今回此ノ木材統制法案ヲ提案シナケレバナラスヤウニナツタノハ、生産ノ需要トガ不均衡デ、需要ガ激増致シテ居ルノニ對シテ、生産ガソレニ伴ハナイ結果デアルト思フノデアリマス、而シテ是ハ特ニ軍部方面ノ需要ガ増加シテ結果デアリマス、其ノ中大陸方面ニ出ルモノガ相當アルヤウニ承ツテ居リマスガ、大陸ノ需要ハ、大陸ノ現地ニ於テ之ヲ求メラレテ、現在ニ於テ之ヲ供給スルヤウナ方法ハナイノデアリマスガ、私ハ相當ニアルモノト思フノデアリマス、殊ニ滿洲材ノ如キハ、我ガ國內ノ森林トハ違ツテ、伐採スレバスル程、其ノ地方ハ農業地トシテ開拓ニ適スルノデアリマスガ、ワザノ内地カラ澤山ノ開拓民ヲ出シテ何ヲシテ居ルカト言ヘバ、滿洲山林ノ伐採ヲシテ居ル、デスカラ是デ調節ヲシテ、内地ノ森林ヲ成タケ保テ有シテ行カナケレバナラスト思フノデスガ、此ノ點ニ付テ現地ニ於ケル需要ヲ以テ解決ノ付クヤウナ方法ハ付カヌノデゴザイマス、之ヲ伺ツテ置キマス

○石川(半)政府委員 陸軍ノ方ノ實情ヲ申上ゲマス、滿洲ノ方面ノ建築ニ伴ヒマシテ陸軍トシテノ需要量ハ相當多量ニアルノデ

アリマス、此ノ方ノ木材ハ主トシテ滿洲ニ於ケル所ノ樹ヲ伐出シテ、ソレヲ優先的ニ配當ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、是モ段段伐リニクイ所ニ進ンデ參リマシタ、奥地カラ出シテ來テ貰フノデアリマスガ、殆ド吾々ノ方ノ需要ヲ満足サセテ貰フノニカツカツデアリマシテ、一昨年ノ如キハ朝鮮ノ鴨綠江附近ノモノヲ朝鮮總督府ニ御願ヒ致シマシテ、其ノ方カラ應援ヲシテ貰ツタヤウナ狀況デアリマシテ、滿洲ノ方ハ手一パイデゴザイマス、ソレカラ支那ニ於キマシテハ、コチラノ占據致シマシタ勢力範圍ニ於キマスル所ノ樹ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマス、隨ヒマシテ成ベク支那ニ於ケル建築ハ木材ヲ使ハナイヤウニト云フコトヲ「モット」トシテヤツテ居リマス、煉瓦造デアリマスコトガ却テ宜シイノデアリマシテ、立派ナ煉瓦デアリマセヌケレドモ、土デ以テ建築致ス土地ノ風習ニ從ツテヤツテ行クト云フコトニ致シテ居リマスガ、野戰建築ト云フコトニナリマス、ドウシテモ迅速ニ建テナケレバナラス、又在來ノ家屋ハ十分利用スルダケ利用致シテ居リマスガ、併シソレニ附屬致シマス厠トカ炊事場トカ倉庫トカ云フモノハドウモ支那ノモノ其ノ儘デハ工合ガ惡イノデアリマシテ、サウ云フ補備ノ事項ノ建築或ハ在來ノ建物ヲ利用致シマス補備事項、サウ云フノハドウシテモ木材ヲ使ハナケレバナリマセヌ、之ニ對シマシテ建築木材ガ足りマセヌモノデアリマスカラ、ソレニ對シマシテ内地カラ送ツテ居ルノデアリマス、ソレハ最小限ニ止メルト云フ趣旨デ以テヤツテ居リマス、大體實情ハサウ云フコトデアリマス

○松尾(四)委員 現地デハ能フ限り現地ノ物ヲ使ツテ已ムヲ得ヌモノダケヲ内地カラ輸出シテヤツテ居ラレト云フコトデアリマスガ、此ノ點ハ吾々ハ現地ノコトハ分ラヌデスカラ、只今ノ御話ヲ信ズルヨリ致シ方アリマセヌ、ソコデ生産擴充ノ方面ニ於ケル問題デスガ、生産擴充ハ色々ナ物資、設備ガ出來テ初メテ出來ルノデアリマシテ、木材バカリ出テモ「セメント」ヲ要シ、鐵材モ要スル、殊ニ鐵材ノ如キハ本年ハ特ニ供給ガ不足シテ來ルト云フ狀態デアリマスカラ、木材ダケガ相當量出テモ外ノ物資ガ揃ハナケレバ完備シナイノデアリマスカラ、少シ需要方面ヲ差控ヘテ繰延ベテ貰フト、餘程木材市場ガ緩ンデ來マシテ、色々ナ木材業者間ニ於ケル、又ソレト山林業者ノ間ニ於ケル調節ガ圓滑ニ行クノデアリマス、昨年ノ需要ハ一億一千餘万石デアリマスガ、是ガ最近三年程續イテ居ルノデス、是ガ一割ニ割位緩ンデ來ルト云フト、餘程全般的ニ樂ニナルノデス、一パイノ所デアレバマダ宜イノデスガ、一パイヨリモ少シ餘計出テ居ルト云フ其ノ少シノ分ガ相當市場ノ缺乏ヲ來シテクルト云フ狀態デアツテ、地方ノ供給量カラ申シマス、例ヘバ金額ニ付テ申シマシテモ十萬圓ノ分ノ注文ガ吞込ンデ行ケル市場ニ十二萬圓ノ注文ガ入ルト、此ノ二萬圓ガ價格ノ量ヲ非常ニ昇騰セシメ、又買集メルコトモ困難デアリマス、ソコデ色々ナ「トラブル」ガ起ツテ、私共ノ地方デハ甚ダシキニ至ツテハ、運送上ノ困難カラ「トラック」業者ノ取合ヒヲヤラナケレバナラス、甚ダシキハ鐵道省ノ役人ニ貨車ヲ早く廻シテ貰フ爲ニ贈賄ヲシタト云フノデ、相當ナ連中ガ引張込マレテ調ベラレテ居ルト云フヤウナコトモアル、ソ

レハ私等ガ見テ居ルト僅カノコトデス、ソレデスカラ成ベク繰延ベラシテ貰ヘレバ相當此ノ點ガ緩和サレルト思フ、軍ハ計畫ヲ樹テタ以上ドウシテモソレヲヤラナケレバナラスト云フコトデアレバ、餘程木材市場ト睨ミ合セテ注文ヲ發スルヤウニシテ戴キタイト思フノデスガ、此ノ機會ニ軍ノ御意向ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○石川(半)政府委員 木材其ノ他ノ建築材料ハ大體物動ニ決ツテ居リマシテ、陸軍ノ庶幾スルモノハソレニ依ツテ確保シテ貰フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、只今仰セニナリマシタヤウニ、木材ガ不足デアツテモ、一旦取ルト云フコトヲ計畫シタ以上ハ、必ズドウアツテモ取ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、現ニ豫算ヲ御覽ニナリマシテモ分リマスヤウニ、十四年度デモ、十五年度デモ實行豫算ヲ編成致シマシテ、何ガシカ之ヲ節約致シテ、繰延ベルト云フ時ニハ、主ニ建築ノ方ガ繰延ベラレテ居ルノガ多イノデゴザイマス、ソレデ計畫ガ出來タ、其處ニ人間ヲ收容シナケレバナラスト云フ場合ニハ、是ハ延バス譯ニハ行キセヌカラ、絕對ニヤラナケレバナリマセヌガ、物ヲ確保スルト云フ方面ノ設備ニ於キマシテハ、或ル種ノモノハ天幕デ蔽フトカ、或ハモツト簡單ナモノヲ造ツテ間ニ合ハセテ置クト云フヤウニシテ、成ベク後ニ繰延ベルヤウニ是マデモ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ御趣旨ノ點ハ能ク考慮致シマシテ、サウ云フコトヲ心掛ケツツ努力致シテ行キタイト思ヒマス

○小野(議)委員 關聯シテ——上海其ノ他支那ノ内地方面ニ木材ガナイコトハ分ツテ居リマスガ、最近木材ハ上海方面ニ入ツテ來

アラザル本法ノヤウナモノヲ御出シニナツタ、而モ其ノ狙ヒ所ガ事變ニ關聯スル軍需ノ激増ト云フ所ニアルノダト云フコトニナルト、ソコニビツタリ行カヌ所ガアル、所謂便乘主義ノ所ガアルデヤナイカ、便乘主義デアアルコトハ吾々ノ斷ジテ執ラヌ所デア、斯ウ云フ法律ガ根本的ニドウシテモ必要ダト云フコトデナクテハナラヌノデアリマス、ソコデ本法ハ軍需ト云フコトガ最も必要デア、軍需ト云フコトハ事變ニ關聯スル、軍需ガ必要ダト云フコトデア、ルナラバ、國家總動員法ト本法トノ關係ハドウナルノカ、是等ノ諸點ニ付テ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○井出政府委員　只今ノ木材統制法案全體ノ狙ヒ所、趣旨ニ付テノ御尋デアリマスガ、之ニ付キマシテハ提案ノ理由ニモ申上ゲマシタ通りデアリマスガ、更ニ之ヲ申上ゲマスナラバ、一面ニ於テ木材ハ今次事變ヲ契機ト致シマシテ、軍需方面ニ於テ非常ナ需要ノ増大ヲ見テ居リマスル外ニ、此ノ事變ヲ契機ト致シマシテ我が國ノ相當長期ニ亘ル建設ノ經濟體制ニ對應致シマシテ、國內ニ於テ木材或ハ纖維ノ資源ヲ極力充足シテ參ルト云フ態勢ヲ執ル上ニ於テ、ソレカラ又他ノ重要ナル鑛產資源等ニ付キマシテモ、東亞ノ經濟圈內ニ於キマシテ是等ノ資源ヲ開發シ自給自足ヲスルト云フ、所謂生産力擴充計畫ヲ長期ニ亘ツテ遂行シテ行ク場合ニ於キマシテノ是ハ非常ニ重要ナ建設資材トナツテ居ルノデアリマス、左様ナ方面ニ木材ノ需要ガ從來見ザル大キナ部分ノ喚起ヲ見テ、又之ヲ第一ニ充足シテ參ルト云フコトガ今後ニ於ケル大キナ木材ノ需要供給ノ政策ノ中心ヲ成スモノデアリマス、是ハ

見ヤウニ依リマシテ今次ノ事變ダケノモノ
デアルト云フ見方モ或ハ出來ルカモ知レマ
セヌガ、只今申シマシタ此ノ經濟體制ハ今
後更ニ相當長期ニ互ル事柄デアツテ、ソレ
等ノ需給關係ニ對シマシテ重點主義デ木材
ヲ配給シ、供給ヲ確保シテ參ルト云フコト
ノ爲ニ此ノ制度ガ要ルノデアリマス、又生
産方面ヲ申シマスナラバ、是等ノ需要ニ
對應シテドシ、生産ヲ擧ゲルコトガ許サ
レル資源等ノ關係デアリマスナラバ又別ナ
ノデアリマスガ、是亦御承知ノヤウニ廣イ
意味ノ日本ノ領土内、或ハ之ニ類似スル大
陸方面ノ森林資源ノ利用開發事情カラ申シ
マスレバ、是等ノ需要ニ全部對應シ、又從
來ノ用途モ満足セシムルト云フヤウナ生産
供給ハ進モ行ヘナイ譯デアリマス、ソコデ
ドウ致シマシテモ森林ノ伐採、ソレカラ木材
ヲ生産シテ參ル仕事、ソレヲ更ニソレム
只今申シタヤウナ一定ノ計畫上下ウシテ
モ供給ヲ確保セネバナナイ用途ヘ供給ヲ
確保シテ參ル、其ノ實行ヲ致シマス爲ニハ、
斯様ナ制度ニ依リマシテ全體ノ生産ヨリ配
給ニ至ル一貫シタ統制ヲナシ得ル機構ヲ確
立スルコトガ何ヨリ大切デアル、斯様ナ見
地カラ此ノ制度ヲ打建テル必要ガアルト考
ヘテ居ル譯デアリマス、固ヨリ木材ノ需給
關係ガ計畫のニナリマシテモ、或ル部分ハ
一般ノ民需用トシテ殘サレテアリマス、是
等ノ部分ニ付テハ今回ノ統制法ニ於キマシ
テハ、或ル程度此ノ統制機構ニ依ル中央、
地方ノ木材會社ノ取扱以外ニ置キマスガ、
是亦本法ノ第六條其ノ他ノ規定ノ運用ニ依
リマシテハ、ヤハリ相並ンデ全體のニハ生
産、配給ノ統制ヲヤツテ參ル必要ガアル、
斯様ニ考ヘテ居ルノガ本法ノ主要ナ狙ヒ所

ナノデアリマス、又ソレヲ致シマセヌデハ
ドウ致シマシテモ木材ガ國家ノ計畫經濟上
要リマス部面ヘ要ル分量ガ適時ニ供給サレ
ルト云フコトガ續キマセヌシ、更ニ將來ノ
森林ノ資源ヲ培養シツツ是ノ供給ヲ確保シ
テ參ルト云フ點ニ於キマシテモ遺憾ノ點ガ
アル譯デアリマス、斯様ナ制度ガ必要
デアリマス、ソレカラ同時ニ是ガ價格ノ統
制ヲ圖ル上ニ於テ洵ニ必要デアルト云フ點
ハ、御承知ノヤウニ、現在ノ經濟體制上ニ
於キマシテハ、物價ヲ極力「バランス」ガ取
タ下ニ置イテ、低物價ニ之ヲ止メ置クコト
ガ何ヨリモ大切デアリマス、木材ノ如キハ
特ニ其ノ必要ノアル重要物資ト考ヘルノデ
アリマス、ソレデ木材ニ付キマシテモソレ
ゾレ公定價格制度等ヲ採用致スコトニ相成
リマスガ、公定價格ヲ制定致シマシタダケ
デ、生産、配給ノ道筋ヲ從來ノヤウニ放任
致シテ置キマシタノデハ結局混亂ヲ來シマ
シテ、價格ノ公正ナル維持ガ出來ナイコト
ニナルノデアリマス、是等ノコトヲ實施致
下ニ於テ、而モ必要ナル生産ヲ擧ゲ其
ノ供給ヲ確保スルコト云フコトノ爲ニハ、
斯様ナ制度ニ依リマシテ、地方ニ於テ非常
ニ分散シ又錯綜シテ居リマスル木材ノ生産
業態、配給業態ヲ極力整理統合致シマシテ、
地方木材會社ニ於テ強力ニ其ノ重要部分ノ
生産配給ヲ調節致シマス、其ノ他ノ殘サレ
タ部分ニ付キマシテモ、之ニ準ジテヤハリ
統制秩序ヲ出來ルダケ立テテ、生産配給分
野ノ筋道ヲ立テテ行クト云フコトニ依ツテ
初メテ公定價格ノ如キモ公正ニ是ガ實施セ
ラレルコトニナル、左様ナ意味ニ於テ此ノ
制度ガ必要デアル、斯ウ云フコトニ依ツテ

關係業者モ安定シテ一定ノ價格ノ下ニソレ
ゾレノ分野ニ於ケル生産配給業務ニ從事ス
ルコトガ出來ルト云フコトガ狙ヒ所デアリ
マス、左様ナ點ガ本法ノ主要ナ狙ヒ所デア
リマス、又是ガドウシテモ斯様ナ制度ニ依
リマシテ、又必要ナル要點ト考ヘマス
ツテヤツテ參ル必要ナル要點ト考ヘマス
○上田委員 餘リ追及スル方針デアリマ
セヌケレドモ、ドウモ私ノ御聽キシタコト
ニ具體的ニビツタリシタ御答辯ニナツテ居
ラスノデアリマス、總動員法ト本法トノ關
係ノコトハ色々見方ニモ依リマセウシ、理
論ニモ趨リマスカラ、其ノ點ハソレダケニ
シテ置キマス、生産配給部門ノコトデアリ
マスガ、只今ノ御答辯ニ依ルト、生産配給
ト云フモノヲ一ツニシテ置ケバ木材ノ圓滿
ナル供給ガ出來ルカラ一ツニスルノダト云
フヤウナ意味ニ聽クノデアリマスケレドモ、
ソレハ從來モ——斯ウ云フ時間ノ餘リナイ
委員會デ申スマデモナイコトデスガ、幼稚
ナル經濟論カラ言ヘバ生産ヨリ消費ヘト云
フコトハ是ハモウ言ヒ古サレタ言葉デア
ル、コンナ幼稚ナ言ヒ古サレタコトヲ私ハ
御聽キシテ居ルノデハナイ、ソレハ幼稚ナ
經濟理論デアル、中間搾取ガドウダトカ、
サウ云フヤウナ馬鹿ゲタ幼稚ナコトヲ御聽
キシテ居ルノデハナイ、實際ノ生産、配給
消費ノ有機的ナル繋ガリカラ見テ、ドウシ
テモ統制ト云フモノハ生産部門ハ生産部門、
配給部門ハ配給部門ト云フ風ニ其ノ分野ヲ
分ツテ、サウシテ各ノ統制ヲヤツテ、其
ノ間ノ繋ガリヲ良好シテ行クトガ根本デ
ヤナイカ、現ニ又政府モサウ云フ方針デ統
制ヲオヤリニナツテ居ルデハナイカ、然ル
ニ本法ニ限ツテ——外ニモ多少類似ノモノ
ガアルカモ知レマセヌガ、大體本法ニ限ツ
テ其ノ方針ノ埒外ニアツテ、今御答辯ノヤ

ウニ生産モ配給モ一手デヤルト云フコトニ
付テハ、具體的ナ特異ナル事情ガナクテハ
ナラス、其ノ具體的ナ特異ナル事情ハ何處ニ
アルカト云フコトヲ御聽キシテ居ルノデア
ルガ、其ノ御答辯ガナイノデアリマス、ソ
レヲ御示シ願ヒタイト云フコトデアリマス、
ソレカラ次ニ今一ツハ、價格ノ公正ト云フ
コトモドウモ御答辯デハ分ラナイ、私ノ御
聽キシテ居ルノハ、價格ノ公正ハ一體何ヲ
御指シニナツテ居ルカト云フコトデス、所
謂生産費ニドレダケノ利潤ヲ掛ケテ、ドレ
ダケノ運賃諸掛リヲ掛ケテ、サウシテ之ヲ
適當ナル所謂價格ノ公正ト言ハレルカ、
價格ノ公正ト云フコトノ組織スル内容ハド
ウ云フコトヲ含ンデ居ルノカ、生産費ノ關
係、利潤ノ關係、或ハ手数料ノ關係、運賃諸
掛ノ關係、サウ云フヤウナ關係ガ價格ノ公
正ト云フモノノ中ニドウ云フ割合、ドウ云
フ比率ニ於テ考ヘラレテ居ルノカ、ソレガ
現在ノ公定價格トノ關係ハドウナルノカ、
斯ウ云フコトヲ具體的ニ御聽キシテ居ル譯
デアリマス
○井出政府委員 御尋ネノ第一ノ點デアリ
マスガ、本法ハ成程生産ヨリ配給ニ至ル點
ヲ或ル程度極力一貫作業デヤルヤウニ致シ
テ居リマスガ、ソレハ、主トシテ集荷方面
ニ付キマシテハ、現在ノ木材ノ地方ニ於ケ
ル生産、配給ノ事情ヲ見マシテモ、生産者
トシテ木材ヲ直接ニ伐採シ、ソレヲ或ル程
度ノ市場ナリ需要者マデ集荷シテ來ルト云
フ此ノ點ハ、モウ少シ此ノ機會ニ於テ整理
統合致シマセヌト、只今申シマシタヤウナ
重點主義デ木材ヲ生産シ、配給ノ部面カラ
消費部面ヘ持ツテ參ルコトガ中々困難ニナ
ツテ來ル、ソレハ一ツハ公定價格等ノ關係
ニ於キマシテ、相當中間ノ利潤ヲ切詰メテ
參ツテ居リマス關係上、幾ツカノ機關ヲ通

ルト云フコトハ其ノ公定價格内ニ於キマシ
テ一定ノ生産ヲ上ゲテ參ルト云フコトニ相
當困難ヲ感ズルト云フコト、ソレカラ山ニ
於キマシテハ、非常ニ採算ノ取レル山ト取
レナイ山ガゴザイマスガ、ソレ等ノ山ヲヤ
ハリ一括シテ企業經營ト致シマシテ損益ヲ
取ツテ參ルト云フヤウナコトヲ致シマス爲
ニモ、相當大規模ニ廣ク生産ヲ致シ、ソレ
ヲ又或ル程度配給部面マデ繼メテ持ツ
テ參ル必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ此ノ制度ニ於キマシテモ、
軍需デアリマス、生産力擴充ト云フヤ
ウナソレノ特殊ノ用途ニ對シマシテハ、
此ノ地方木材會社ガ生産シ集材シテ來タモ
ノヲ、ソレノ部門ニ對シテ又配給機關
ヲ作りマシテ、其ノ配給機關ニ是ハ渡ス
コトニナリマスシ、ソレカラ一般ノ民需材、
市販ニ屬スルヤウナ材ニ付キマシテハ、ヤ
ハリ是亦ソレノ大消費市場ニ於キマシ
テノ取扱業者ニ配給スルノデアリマス、サ
ウシテソレ等ノ方面ニ於キマシテハ之ヲ一
括シテ其ノ荷受ヲ十分ニヤツテ參ルヤウナ
組織ヲ作ツテ、ソレハ渡シテ參ルト云フ風
ナコトニ統制シテ參ルノデアリマシテ、ヤ
ハリ或ル意味ニ於キマシテハ、生産ノ方ハ
生産デ繼メ、左様ナ意味ニ於ケル配給業者
ノ部分ハ配給業者トシテ統制シテ、其ノ間
ノ繋リヲ執ツテ參ルト云フ一般ノ産業ノ統
制方式ニハ則ツテ居ル譯デアリマス、唯産
地ニ於キマシテノ内部ニ於ケル配給部門ト
生産部門ハ、是ハ寧ろ生産部門トシテ出來
ルダケ統制シテ行カナイト、生産上ノ原價等
ガ公定價格ノ關係デ、極メテ少イモノデア
リマスカラ、其ノ範圍ニ於テ生産ヲ上ゲテ
行ク爲ニハ斯ウ云フ風ニ自然ニ合理化サレ

ザルヲ得ナイ、是ガ又產地ニ於ケル生産、
配給業者ノ立ツテ行ク一ツノ方法デアアル、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレヲ分
散スル過程ニ於ケル配給業者ニ付キマシテ
ハ、全ク御話ノヤウニ、更ニ生産機關トク
ツ付ケテ別ニ配給ノ統制ヲ考ヘテ參リタイ
スウ云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマス
ソレカラ價格ノ公正ノ問題デスガ、實質
的ニ如何ナル價格ガ公正デアルカト云フコ
トハ、ソレノ木材ニ付キマシテノ公定
價格等ヲ定メマス際ニ於テ十分ニ生産費其
ノ他ヲ考慮シ、又木材デゴザイマスレバ、
更ニ是等ノモノガ森林ニ於キマシテ將來ノ
森林ノ再生生産ヲモ相當保護シ得ル程度ノ價
格ニナルヤウニ木材ノ價格ハ決メテ參ラナ
ケレバナラナイシ、ソレガ公正ナルモノト
シテ決マツテ參ルノデアリマス、其ノ決マ
ツタ價格ヲ更ニ維持スルコト云フコトモ又茲
ニ價格ノ公正ヲ圖ルト云フ目的ノ範圍ニナ
ツテ居ル譯デアリマス、寧ろ茲ニ所謂價格
ノ公正トハ、決メラレタル一定ノ價格ヲ出
來ルダケ守ツテ生産ヲ上ゲテ參ルト云フコ
トヲ狙ツテ居ルモノト、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

ヲ申上ゲテモイケマセヌカラ、特ニ御注意
申上ゲテ置キマス、サウ云フコトノナイヤ
ウニナサラスト、斯ウ云フ會社ガ出來ル爲
ニ、サウシテ今マデノ統制ノヤリ方ト違ツ
タスウ云フ統制ノヤリ方ヲオヤリニナル爲
ニ、却テ紛淆ヲ來ス虞ガ出テ來ルノデヤナ
イカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キタイ
ト思フノデアリマス、ソレカラ價格ノ公正
ノ問題モ一寸マダハツキリ具體的ノ御答辯
ガ出テ居リマセヌガ、御聽キスルト、ヤハ
リ現在ノ低物價政策ヲ維持シテ公定價格ト
云フモノヲ相當長イ間ニ互ツテ維持シ得ラ
レル爲ニヤルノガ所謂價格ノ公正ヲ圖ルト
云フ意味デアルカノ如クニ私聞エタノデア
リマスガ、是ハサウ云フ風ナ簡單ナヤリ方デ
行ケルノカドウカ、所謂價格ノ公正ト云フコト
ノ決メ方ニ依ツテ、ソコデ木材ガ生産サレ
ルカサレヌカ、圓滑ナル配給ガ出來ルカ出
來ヌカト云フコトガヤハリ出テ來ルノデア
リマス、結局此ノ價格ノ問題ト配給ノ問題
ト云フモノハ實ニ大事ナ問題デ、ヤハリ配
給ノ問題ヲ根本ニ決メテ行クトソコデ價格
ト云フモノガ本當ニ生レテ來ルノダラウト
思ヒマス、デアリマスカラ、配給ノ問題ヲ
根本ニ決メタル價格ノ公正ト云フコトデナ
ケレバナラヌノデハナイイカト私ハ思フノデ
アリマスガ、ソレヲ先刻カラ聽イテ居ル、
一體何處ヲ狙ヒ所ニシテ價格ノ公正ト云フ
コトヲ仰シヤツテ居ルカト云フコトヲ聽イ
テ居ルノデアリマスガ、ドウモ其ノ點ガ明
確ニ出テ居リマセヌケレドモ、私ハサウ思
ツテ居リマスカラ、ソレダケ御注意申上ゲ
テ置キタイト思ヒマス

カモ知レマセヌガ、私ハ、總テ物ノ價ヲ決
メマスニハ、配給系統ヲハツキリ決メテ行
カナケレバイカスト思ヒマス、是ハ魚ニ於
テ苦イ經驗ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、
デアリマスカラ、木材ナドモ、今隨分澤山ノ
種類ニ互ツテノ公定價格ヲ決メテ居リマス
ケレドモ、配給系統ヲ決メナイデ公定價格
ヲ維持スルト云フコトハ無理デアリマス、
デスカラ配給系統ノ確立ヲ待ツテ價格ノ公
正ト云フモノハ初メテ行ハレル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマスカラ左様御諒承ヲ願ヒ
マス

市販ニ屬スルヤウナ材ニ付キマシテハ、ヤ
ハリ是亦ソレノ大消費市場ニ於キマシ
テノ取扱業者ニ配給スルノデアリマス、サ
ウシテソレ等ノ方面ニ於キマシテハ之ヲ一
括シテ其ノ荷受ヲ十分ニヤツテ參ルヤウナ
組織ヲ作ツテ、ソレハ渡シテ參ルト云フ風
ナコトニ統制シテ參ルノデアリマシテ、ヤ
ハリ或ル意味ニ於キマシテハ、生産ノ方ハ
生産デ繼メ、左様ナ意味ニ於ケル配給業者
ノ部分ハ配給業者トシテ統制シテ、其ノ間
ノ繋リヲ執ツテ參ルト云フ一般ノ産業ノ統
制方式ニハ則ツテ居ル譯デアリマス、唯産
地ニ於キマシテノ内部ニ於ケル配給部門ト
生産部門ハ、是ハ寧ろ生産部門トシテ出來
ルダケ統制シテ行カナイト、生産上ノ原價等
ガ公定價格ノ關係デ、極メテ少イモノデア
リマスカラ、其ノ範圍ニ於テ生産ヲ上ゲテ
行ク爲ニハ斯ウ云フ風ニ自然ニ合理化サレ

○上田委員 餘リ質問ガ長クナツテモイケ
マセヌカラ此ノ程度ニシテ置キマスガ、ド
ウモ併シソレデハ御答辯ガビツタリ出テ來
スト思フノデアリマス、ソレハ、此ノ會社
ハ生産部門ト配給部門トヤリマスガ、何レ
ノ部門ニモ殘サレテ居ルモノガアルノデス、
其ノ殘サレタルモノト、此ノ會社ダケ從
來ノ方式ト違ツタ生産部門ト配給部門ヲ皆
ヤルト云フヤリ方ヲシマス爲ニ、非常ニソ
コニ却テ紛淆ヲ來ス虞ガ澤山出テ來ハセヌ
カト云フコトヲ私ハ惧レル、是ハ餘リ質問

○井野政府委員 今今參ツタバカリデアリ
マシテ御質問ノ點ニ對シテ或ハ誤解ガアル
カモ知レマセヌガ、私ハ、總テ物ノ價ヲ決
メマスニハ、配給系統ヲハツキリ決メテ行
カナケレバイカスト思ヒマス、是ハ魚ニ於
テ苦イ經驗ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、
デアリマスカラ、木材ナドモ、今隨分澤山ノ
種類ニ互ツテノ公定價格ヲ決メテ居リマス
ケレドモ、配給系統ヲ決メナイデ公定價格
ヲ維持スルト云フコトハ無理デアリマス、
デスカラ配給系統ノ確立ヲ待ツテ價格ノ公
正ト云フモノハ初メテ行ハレル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマスカラ左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○上田委員 只今ノ次官ノ御答辯デ稍、分リ
マシタ、サウ云フ風ニ願ハナケレバイケナ
イノデハナイイカト思フ、價格ノ構成ト云フ
コトヲ私ハ御聽キシテ居ルノデス
モウ一點はハ簡單ナコトデスガ、例ヘバ十八
條デス、是モ色々ト十八條ニ關聯シテ質問スル
ト長クナリマスガ、所謂地方木材會社ノ問題
デス、大體地方木材會社ガ要ルカ要ラヌカ
ト云フコトモ大イニ疑問ヲ持ツテ居リマス、
果シテ必要ナリヤ否ヤト云フコトニ付デハ、
非常ニ議論ガアリマスガ、是ハ何レ他ノ委
員ノ方カラ質問ガアルト思ヒマスカラ、私
ハ此ノ點ニ餘リ積極的ニ觸レマセヌガ、ソ
コデ地方木材株式會社以外ノ株式會社ニシ
テ云々トアル此ノ地方木材株式會社以外ノ
株式會社ト云フモノハ何ヲ指スノデアルカ
今ノ所デハ具體的ノコトヲ豫期シテ居ラツ
シヤラナイヤウナ意味ノコトモ聽イタノデ
アリマスケレドモ、併シ全然何モ豫想シナ
イモノヲ法條ニ現スト云フコトハナイト思
ヒマス、何等カ豫想ガアルカラ此ノ法案ニ
現ハシテ居ル譯デアアル、ソコデ此ノ地方木
材株式會社以外ノ株式會社ト云フコトハ何

ヲ指スノデアルカ、特ニ此ノ地方木材會社ヲ拵ヘル場合ニ於テ、大都市トカ六大都市トカ或ハ東京大阪ノヤウナ二大都市デアルトカ、サウ云フヤウナ所ニハ地方木材會社以外ノ特殊ノ會社ト云フモノモ必要ニナツテ來ルノデアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フコトハ他ノ委員カラ仰シヤルダラウト思ヒマスカラ、私ハ諄イコトハ申シマセヌガ、唯此ノ地方木材株式會社以外ノ株式會社ト云フコトハ具體的ニハドウ云フコトヲ豫定サレテ居ルノデアルカト云フコトト、同時ニ是ハ株式會社デナレバイカスノカ、組合トカ、其ノ他ノ團體トカ或ハ個人トカ云フヤウナモノハ如何デアルカ、此ノ法條ノ解釋カラ行ケバイカス、イカストスレバ、理窟ニナリマスガ、サウ云フモノヲ除外シテ宜イノカト云フコトヲ御聽キスル譯デアリマス

○井野政府委員 十八條ニ書イテアリマス「地方木材株式會社以外ノ株式會社」ト云フノハドウ云フモノヲ豫想シテ居ルカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ恐ラク山林局長カラモ御答ヘテ致シタデアラウト思ヒマスガ、現在日本木材株式會社並ニ地方木材株式會社ノ取扱ヒマスル木材ノ數量ト云フモノハ、大體全木材ノ六割程度ノモノデアリ、其他ハ此ノ會社ガ扱ハナイノデアリマス、隨テサウ云フモノモ或ル程度——此ノ會社ハ子會社デハアリマセヌガ、別ノ組織ニ於テ統制ヲスル必要ノアルヤウナモノガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニハ或ハ資金ノ融通ナリ投資ヲシテ、サウシテ多少統制ヲ加ヘテ行クコトガ宜イノデアリマスガ、其ノ他ニ今御話ノヤウナ都市ニ於テノ配給

機構ノ整備カラ、或ハ會社ト云フヤウナモノガ必要デアルト云フ風ニモ考ヘテ居リマスノデ、サウ云フヤウナモノガ出來タ時ニ、十八條ノ運用ヲシテ行ク必要ガアルト考ヘマシテ、十八條ガ出來テ居ル次第デアリマス

○上田委員 ソレデ大體分リマシタガ、團體トカ個人ト云フモノモ其ノ中ニ入ツテ居ルノデスカ、ドウデスカ、是ハ一寸法條ノ解釋ニ依ルト入ラヌヤウニ思ヒマスガ、ドウデスカ

○井出政府委員 只今ノ御尋ネノ十八條ニ付キマシテハ、十八條ニ依ツテノ日本木材會社ノ投資、融資ハ豫想シテ居ラナイノデゴザイマスガ、是ハ事實上極ク稀ナ場合デアラウト思ヒマスガ、其ノ組合、團體等カ特ニ此ノ日本木材會社ト致シマシテ、木材ノ需給調整上、其ノ他此ノ會社ノ目的ヲ達成スル上ニ於テ、ドウシテモサウ云フ團體等ニ投資、融資ヲ致サナレバ、其ノ目的ヲ達セラレナイヤウナ事業デアリマスル場合ニ於キマシテハ、是ハ十七條ノ一項ト更ニ二項ノ規定ニ依リマシテ、特ニ主務大臣ノ認可ヲ受ケテヤリ得ルト云フ餘地ハアルノデゴザイマスガ、併シ是ハ運用上ノ場合ト致シテ、左様ナ場合ヲ今ノ所デハ餘リ豫想ヲ致シテ居ラナイ次第デアリマス

○上田委員 成程十七條デハ出來マセウガ、其ノ代リ十八條ニ於ケル資金ノ融通又ハ投資云々ト云フ所ニハ嵌ツテ來ナイヤウニ思ハレマスガ、ソレハヤハリ個人ノ場合ニハ嵌ラナイノデスカ

○井出政府委員 左様デアリマス

○上田委員 ソレハ私ハ甚ダ遺憾ナ點ガアルト思ヒマスカラ、能ク御考ヘテ願ヒタイ

ト思ヒマス、地方木材會社ノ場合、又日本木材會社デモサウデスカ、此ノ中ニ業者ヲ吸收シテ行クト云フ場合ニ於テ、例ヘバ其ノ營業デアルトカ、所謂暖簾代ト申シマスカ、老舗料ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノノ評價算定ノ方法ハドウ云フ標準ヲ以テオヤリニナル御考ヘデアアルカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○井出政府委員 地方木材會社ニ於テハ特ニ既存ノ製材工場其ノ他ヲ之ニ吸收シ合同セシメテ、其ノ仕事ヲヤツテ參ル必要ガアリマスルノデ、既存ノ製材工場等ノ事業ヲ之ニ經濟的ニハ買収シテ參ル必要ガアルノデアリマス、其ノ買収ニ當リマシテ評價ヲドウスルカト云フ問題ハ、結局其ノ場合場合ニ於キマスル其ノ事業ノ一般ノ評價ニ依ル次第デアリマスガ、特ニ單ナル暖簾代トカ云フヤウナモノトシテ、此ノ會社ノ買収ニ當ツテ評價ヲ考慮スルト云フコトハ、如何ナモノカト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○河野委員長 松尾委員

○松尾(四)委員 私ハ第二條ノ條項ニ關シテ特ニ伺ツテ置キタイノデスカ、此ノ第二條ノ勅令ハ、曩ニ政府カラ資料トシテ御提出ニナツテ居リマスガ、改メテ茲ニ追加サレタモノモヤハリ政府ノ提出シタ資料トシテ受領シテ宜シウゴザイマスカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○井野政府委員 マダ追加資料ハ差上ゲテナイノデ、隨テ御質問ハ元ノ案ニ依ツテ願ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 ソレデハ其ノ資料ニ依ツテ又更ニ御尋ネシナケレバナラヌト考ヘマスガ、結局第二條ハ政府ガ、所謂行政官廳

ガ伐採ヲ山林所有者ニ命ズルコトガ出來ルト云フコトト、ソレカラ價格ヲ指定スルコトガ出來ルト云フコト、此ノ二ツガ條件トナツテ居リマス、ソコデ伐採ヲ命ズルト云フコトモ所有權ニ對スル一ツノ處分行爲デアリマスカラ、所謂憲法ニ定メラレテ居ル所ニ依リマシテ、公益ニ依リ處分ヲ必要トスルトキニハ法律ノ定ムルコロニ依ルトアリマスカラ、嚴格ナル規定ニ依ツテヤラナケレバナラヌト思ヒマスガ、先ヅ第一ニ公益ナリヤ否ヤト云フコトヲ認定スル必要ガアル、ソレカラ此ノ條文ニアリマスル伐採期ニ達シテ居ル、樹木、所謂山林ニ伐採ヲ命ズルト云フコトガ條件ニナツテ居リマス、所ガ其ノ伐採期ト云フモノハ森林法ニ依リマシテ施業案ガ編成ニナリマス、明確ニ決マツテ居ル、デアリマスカラ、其ノ施業案ノ範圍内ニ於テノミ行フト云フコトハ、先ニ政府カラ御答辯ガアリマシタガ、若シサウ云フ方針ガ確定シテ行キマスル場合ニ於キマシテハ、多クノ生産ヲ求メラレテ居ル現狀ニ於キマシテ、即チ此ノ頃ノヤウニ澤山ノ註文ガ一遍ニ入ツタ時ニハ、伐採期ニナツテ居ラスヤウナモノモ、或ハ施業案ノ範圍ヲ超エテ伐採シナケレバナラヌヤウナ時ガ起ルノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデスカ、サウ云フ場合ニ於テモヤハリ施業案ト云フモノヲ嚴格ニ守ツテ行クベキモノダト私ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハ多少融通ヲスル裕リヲ持ツテ居ルト云フ御考ヘデアリマスガ、其ノ點ヲ先ヅ伺ツテ置キタイノデアリマス

○井出政府委員 是ハ森林法ノ運用上ノ問題ト考ヘマスルガ、森林法ニ依リマシテ施業案ガ制定實施セラレテ居ル森林ニ付キマ

シテ

シテハ、御承知ノヤウニ施業案ニ基キマシ
テ年々伐採シ得ル分量ト定メラレタモノ以
上ニ伐採致シマスコトハ、施業案自體ヲ成
規ノ手續ニ依リマシテ改訂致シマスレバ別
問題、改訂致シマセヌ限りハ施業案ニ於テ
許容セラレタ最大限度ヲ限リトシテ伐採ガ
許サレ、ソレ以上ノコトハイケナイト云フ
コトニ相成ツテ居リマス

○松尾(四)委員 ソレデハ政府ノ之ニ對ス
ル勅令案ガ御提出ニナルサウデスカラ、其
ノ上デ伺ヒタイノデアリマスガ、其ノ勅令
案ヲ見ナイデモ、此ノ價格ノ問題ダケハ其
ノ方針ガ決マツテ居リマスカラ此處デ伺
ルト思フ、其ノ價格ノ決定ノ方法ニ付テハ、
政府ノ方デハ曩ノ勅令案ニ依リマスト「賣
渡價格ハ當該立木ヨリ生産セラルベキ素材
ノ市場價格ヨリ伐採、造材費、運賃等ヲ控
除シタル額ヲ基準トシテ之ヲ定ムルコト」斯
ウ云フ風ニ決ツテ居リマスガ、其ノ他ノ經
費ト云フノハ其ノ間ニ手數料、即チ取扱者
ノ手數料ヲ含ンデ居ルト云フ意味デアリマ
スカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○井出政府委員 只今松尾サシカラ御尋ネ
ノ立木ノ價格ヲ評定致シマス大體ノ基準ト
致シマシテハ、茲ニ勅令案要綱ト致シマシ
テ重要ナル計算ノ因子ヲ書イタノデアリマ
スガ、其ノ他正確ニ立木價格ヲ評定致シマ
ス際ニ於キマシテハ、大體只今ノ考ヘト致
シマシテハ國有林等ニ於キマシテハ御承知
ノヤウニ立木ノ賣拂或ハ官行斫伐ヲ致シマ
ス際ニ於キマスル市材價ノ測定ニ付テハ
相當精密ナル評價方式ヲ執ツテ居ルノデア
リマス、大體斯様ナ評價方式ヲ更ニ勅令ニ依
リマスガ、或ハ主務大臣ノ定ムルモノト云フ
風ナ形ニ依リマルカ、サウ云フ方法ニ依ツテ

評價ノ方式ヲ執リタイ積リデゴザイマス
○松尾(四)委員 ソレナラバソレハ此ノ委
員會ニ御提出ニナツテ、ソレニ對シテ審議
ヲ求メテ置カレルト云フコトガ當然デアラ
ウト思ヒマス、勅令デ俺ノ方デ勝手ニ決メ
ルノダト云フ風ニ思ハレルノデス、此ノ價格
ノ決定ト云フコトハ非常ニ重大ナコトニナ
ルノデアリマス、私ハ獨リ山林ノ價格ノ問
題バカリヲ言フノデハアリマセヌ、結局所
有權ノ侵害行為ダトカ、サウ云フコトヲ言
ヒマスノハ價格ノコトニ關係シテ來ルカラ
デアリマス、ソレヲ政府ノ御一存デ決メル
ト云フ御方式デナシニ、其ノ取決メ方ノ方
式ハヤハリ審議ヲ經テ置クベキモノダト思
フ、此ノ資料ニ書イテアルヤウニ此ノ市場
價格ヨリ伐採、造材費及ビ運賃ダケヲ引イ
テ、サウシテ立木代ヲ決メルト云フコトニ
ナルト、今後伐採費、造材費、運賃ト云フ
モノハ昂騰ノ一途ヲ辿ルノデス、是ハ決シ
テ安クナラナイ、段々ト金額ハ騰貴ヲ致シ
マシテ、今日ノ勞働賃金カラ申シマシテモ
下ルヤウナコトハナイ、サウ致シマス市
場價格カラソレダケ引イタモノガ立木ノ價
ニナルト云フコトデアレバ、是カラ物價ガ
上ツテ行クト、結局立木所有者ノ負擔ト同
ジコトニナルト思ヒマス、立木ノ價ガ段々
減ツテ行ク是レデハ他ノモノト逆デアル、
物價ガ上ツタラ立木價格ガ上ルト云フ仕方
ナラ異論ハアリマセヌケレドモ、市場價格ヲ
一定ニ決メテ置イテ、ソレカラ造材費、運
賃、伐採費等ノ經費ヲ引イタモノガ山林價
格ダト云フコトニナルト、其ノ差引スルベキ
モノガ段々昂騰シテ行クノデスカラ、金額
ガ多クナル、隨テ其ノ多クナツタ金額ヲ引
カレテ行ツタ残りガ、立木代外ト云フコト

ニナレバ、立木代ハ段々下ツテ行ク、ソレ
デ斯ウ云フ算定方式デ決メルコトハ甚ダ不
合理ダ、デアルカラ此ノ方式ハ豫メ審議ヲ
經テ置クベキモノデアアル、ソレデ私ハ第二
條關係ノ勅令法規等ニ附帶シタモノデア
ラバ、早ク御出シ下サイト初メニ申上ゲ
テアル、ボツ／＼小出シニ出シテ來ラレズ
ニ、初メカラ嚴格ニ決メテ置クベキデア
ル、今日米ノ價ヲ決メルニモ非常ニ難カシイ方
式ヲ以テ米價ノ決定委員會デ決メテ居ル、
細カイ生産費カラ複雑ナ物價指數ト社會ノ
經濟情勢等ヲ睨ミ合ハセテ決メル、然ルニ
斯ウ云フ簡單ナ方法デ、市場價格ヲ決メテ
置イテ、ソレカラ伐採費、運搬費、造材費
等悉ク昂騰ノ一途ヲ辿ツテ居ルモノヲ差引
クノデアアルカラ、段々森林ノ價格ガ下ルコ
トニナル、此ノ決メ方ノ方式ガ決マツタモ
ノガアルナラバ御出シニナツタラ宜シイ、
此ノ方針ヲ伺ツテ置キタイ

○井野政府委員 先般來第二條ニ關シマシ
テハ色々御議論モアリ、當方カラ出シマシ
タ勅令案ノ内容モ少シ簡單デアリマシテ、
十分ニ御諒解ヲ得ナイ點モアリマスノデ、
改メテ私カラ第二條ノ關係勅令ノ内容ヲモ
ウ少シ詳細ニ申上ゲテ見タイト思フノデア
リマス先ツ

一、伐期ニ達シタル立木ノ所有者森林
法ニ定ムル施業案又ハ之ニ準ジ地方長官
ノ定ムル立木伐採計畫ノ定ムル所ニ依リ其ノ
立木ノ伐採ヲ爲サザル場合ニ於テ電需其ノ
他主務大臣ノ指定スル需要ニ充ツル爲特ニ
必要アリト認ムルトキハ地方長官ハ當該立
木所有者ト地方木材株式會社ト協議セシメ
又協議調ハザルトキハ期間ヲ定メ之ヲ伐採
スベキコトヲ勸奨スルコトヲ得ルコト

前項ノ地方長官ノ定ムル立木伐採計畫ハ
森林法ニ定ムル施業案ノ存在セザル森林ニ
付地方用材統制委員會ノ議ヲ經テ之ヲ定ム
ルコト

二、立木ノ所有者一ノ勸奨ニ從ハザルト
キハ主務大臣ハ地方長官ノ申請ニ基キ立木
ノ所有者ニ對シ價格ヲ指定シ其ノ立木ヲ立
木ノ所在スル地區ノ地方木材株式會社ニ賣
渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得ルコト

三、二ノ價格ハ當該立木ヨリ生産セラル
ベキ素材ノ市場價格ヨリ伐採費、造材費、
運賃其ノ他ノ經費ヲ控除シタル額ヲ基準ト
シテ之ヲ定ムルモノトスルコト

前項ノ外其ノ算定ニ必要ナル事項ハ主務
大臣之ヲ定ムルコト

四、主務大臣立木ノ賣渡命令ヲ爲ス場合
其ノ他立木ノ賣渡命令ニ關シ重要ナル事項
ハ中央用材統制委員會ノ議ヲ經テ之ヲ定ム
ルコト

五、二ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起
スルコトヲ得ルコト

以上ガ大體第二條關係勅令ノ内容デアリ
マス、ソレデ今申上ゲマシタ三ニ價格ノ問
題ガ書イテゴザイマスガ、其ノ二項ニ前項
ノ外其ノ算定ニ必要ナル事項ハ主務大臣ガ
之ヲ定メルコト云フトニナツテ居リマシテ、
只今御指摘ノ算定方式ヲ今御手許ニ御配リ
致スコトニ致シマス

○増永委員 一寸關聯シテ御伺ヒ致シマス、
只今詳細ナ勅令案ノ改正案ノ内容ヲ次官カ
ラ承リマシテ、了承致シタガ、其ノ中ニ此ノ
間實ハ懇談會デ申述ベテ置キマシタガ、斯
ウ云フヤウナ賣渡命令ヲサレタ場合ニ、其
ノ算出ノ基礎ハソレデ分リマスガ、其ノ場
合ニ賣ツタ山林所有者ノ利益金ガ相當多イ

類ニナルグラウト思ヒマス、ソレデソレニ對スル大藏省トノ關係ハドウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレヲ承ツテ置キタイ

○河野委員長 ソレハ主税局長カラ御答ヘスルサウデスカラ、他ノ問題ヲドウゾ……

○増永委員 ソレデハモウツ伺ヒマス、其ノ時ニ不服アル時ハ訴願云々ト云フコトガアリマシタガ、訴願デアレバ勅令デ宜シイ、只今マデノ總動員法デモ何デモ、サウ云フ場合ニ於テハ、普通裁判所ニ云々ト云フ規則ノ條項ガ總テ法律ニ載ツテ居ル譯デスガ、此ノ場合ニ限リ勅令デ以テ處斷スルト云フ先例ヲ開クト云フコトハ、是ハ法制局トノ關係ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○井野政府委員 當初ノ考ヘデゴザイマスト、第二條ノ運用、即チ行政官廳ハ地方長官ニヤラセル積リデアリマシタノデ、サウナツテ來マスト、或ハ異議ノ申立ニ付テ特色ノ形ヲ執ツタ方ガ宜イト思ヒマスガ、今私ノ申上ガマシタ今回ノ案デハ主務大臣ガ致スノデアリマスカラ、隨テ訴願ト云フ形ガ一番適當デハナイカ、殊ニ勅令デ書キマス場合ニ、法制局トモ能ク打合ハセヲ致シマシテ、訴願ニ依ツテ行クコトハ差支ヘナイ、斯ウ云フ文例モ澤山アルト云フコトデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松尾(四)委員 只今御提出ニナリマシタ公式ニ付テ伺ヒタイノデスガ、生産歩合「イコール」エフ「トアル」デアリマスガ、是ハドウ云フコトヲ意味シテ居リマスカ

○井野政府委員 是ハ説明員ヲシテ説明サセマス

○大西説明員 ソレデハ御許シヲ得マシテ只今御手許ニ差上ガマシタ此ノ公式ノ説明

ヲサセテ戴キマス、此ノ公式ハ現在國有林ノ方デ立木ノ價格ヲ算定スルノニ使ツテ居ル公式デアリノデアリマス、先ヅ其ノ公式ノ因子ニ付テ申上ゲマス「エックス」ハ立木ノ單價、現在デハ石ガ單位ニナツテ居リマスカラ、石當リノ單價デアリマス、エフハ生産歩合、是ハ所謂製材ノ歩留リデアリマス、エフハ原木ノ市場價格ハエフハ資本ノ回收期間、ビーハ月利率デアリマス、アールハ、企業利益率、口錢デアリマス、ビーハ伐採トカ、製材トカ、或ハ集材、運搬其ノ他ノ所謂事業費、諸指リ全部ヲ含メタモノデアリマス、ソレデ此ノ公式ハチヨットヤヤコシイノデアリマスガ、此ノ出マシタ本ヲ申上ゲマスト、大體御承知ノ通り市場價格ト云フモノハ、山デ或ル立木ガ伐ラレマシテ、或ル歩留リニ依ツテ生産サレタ其ノ原木ノ値段ト云フモノガ逆ニヤリマスト出マスカラ、ソレニ今ノ伐採費トカ、製材費トカ、運搬費、集材費ナドガ加ハリマシテ、サウシテ所謂立木ノ原價ト云フモノニ投資利子トカ、或ハ企業利益ト云フモノガ加ハリマシテ、サウシテ市場價格ガ出來上ル、是ハ申スマデモナイノデアリマス、之ヲ式デ申シマスト、今ノ公式「エー」ヲ先ニ持ツテ來デ、「エー」イコール「括弧」エフ「分」エックス「プラス」ビー「括弧」エス「エス」ビー「プラス」アール「スウ」云フコトニナルノデアリマス、其ノ今申上ゲマシタ其ノ公式「エックス」ヲ先ニ持ツテ來デ、今度ハ反對ニ立木ノ價格ト云フモノヲ見マス、此ノ公式ガ生レテ來ルノデアリマス、是ハ極ク簡單ナ出シ方デアリマスガ、サウ云フ風ニシテ此ノ公式ガ生レタノデアリマス、序ニ申上ゲマスト、斯ウ云フ風ナ公式ヲ使フト

ドウ云フ便利ガアルカト申シマスト、是ハ大體今マデ國有林デ私共之ヲ使ツタノデアリマスガ、從來ハ、立木價格ヲ算定スルノニハ、市場價格ヲ本ニスル建前ニナツテ居リマスガ、市場價格ニ對シテ立木ヲ算定スル場合ニ、所謂企業利益ヲドウシテ見ルカト云フト、今假ニ市場價格ガ十圓デアルカラ、一割ノ利益トスルナラバ一圓ニナルノダ、斯ウ云フ風ニシテ計算スルヨリ外ニナカツタノデアリマス、サウスルト其ノ市場價格ノ中ニハ既ニモウ企業利益ガ含マレテ出來上ツテ居ルノダ、市場價格ハ其ノ企業利益ノ含マレタモノニ對シテ一割トカ五分トカ云フ企業利益ヲ見ルコトハ不合理ダ、所ガソレヲ此ノ公式ニ依リマスト合理化サレルノデアリマス、ソレカラモウツハ此ノ括弧ノ中ノ「プラス」エス「エス」ビー「プラス」アール「ト云フ」此ノ「ビー」ノ月利率ハ、大體月四厘トカ五厘ト見、「エフ」ハ從來一割位見テ居リマス、「エス」ノ資本ノ回收期間ハ、六箇月乃一年間位、場所ニ依ツテハ四箇月位ヲ見テ居リマス、大體サウ云フ調子デヤツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ資本ノ回收期間及ビ利率ナリ企業利益ヲ相當廣イ範圍ニ執リマシテ、サウシテ係數ヲ作ツテ居ルノデアリマス、デスカラ此ノ公式デ勘定シマスト非常ニ難カシイコトニナルノデアリマスガ、係數ヲ使ヒマスト案外ニ依リ係數ヲ使フト云フト、今申上ゲタ企業利益ヲ實際原價ニ對シテ見ルト云フ風ナ合理的ナ考ヘ方ヲ織込シタ、斯ウ云フ所ニ效果ガアルヤウニ思フノデアリマス、大體其ノ位デアリマス

○増永委員 只今ノ御説明デ、係數ガ出マ

シタカラ、一寸御聽キシマス、此ノ係數ハ違ツテ居リハシマセカ、分母ノ一ハ一デ宜イノデアリマスカ——御調べ置キヲ願ヒマス

○河野委員長 主税局長ガ見エマシタカラ其ノ方ヲ御進メ願ヒマス

○増永委員 山林ノ立木ノ伐採期ノ來タモノヲ木材會社ガ必要ヲ感じテ色々ノ統制委員會、或ハ地方長官ノ議ヲ經テ、色々ナ手數ヲ掛ケテ最初之ヲ勸奨シテ、一定期間内ニ承諾シナイ場合ニ於テ初メテ立木ノ賣渡ヲ主務大臣ガ命ズル譯デス、サウ云フ場合ニ立木ノ賣渡値ト云フモノガ重大ナ問題デア

ル、其ノ賣渡値ニ對シテ算式ガ出テ、或ル一定ノ算式ノ下ニ立木ノ値段ガ出ルヤウニ今御説明ニナツタ譯デス、是ハ勅令ノ内容デハ、市價ノ値段カラ伐採ノ費用デアルトカ、或ハ造材ノ費用デアルトカ、或ハ運賃デアルトカ云フヤウナモノヲ除ク、ソレカラ(等)ト云フノハ手數料ト云フヤウナ意味モ含マレルダラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ナモノダケハ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナモノデソコニ價格ガ決マル譯デアリマス、其ノ場合ニ私ガ御尋ネ申上ゲタノハ、斯ウ云フ風ニ勿論伐採期ニハ來テ居リマスカラ、其ノ山林ノ所有者ハ當然伐ラナケレバナラヌ等ナンデスケレドモ、何カノ都合デ應ゼヌ場合ニハ斯ウ云フ風ナ命令ヲ受ケル譯デス、其ノ時ニ税金ヲ相當取ラレルグラウト私ハ思フ、是ハ先達デカラ交通營團ニモサウ云フ問題ガアリマシタシ、又日本發送電株式會社ヲ改正法案ノ時ニモ、水力發電ノ出資ニ對シテ超過利得稅ニ對シテ特例ヲ設ケラレマシタガ、斯ウ云フ場合ニモ政府ハ特例ヲ設ケラレル必要

ガアリハセヌカ、私ハ斯様ニ考ヘルノデア
リマスガ、主税局長ノ御意見ヲ承リタイト
思ヒマス

○松隈政府委員 只今ノ御尋ネハ木材統制
法案第二條ニ依リマシテ、立木ヲ伐採シテ
賣渡スベキコトヲ命令ヲ受ケタ場合ニ於テ、
相當所得ガ増加スルカラ超過所得ガ出ル、
ソレヲ輕減スベキ立法ヲナス必要ガアルカ
ドウカト云フ問題デ御尋ネデアリマス、此
ノ場合ニ於テ私ハ詳シイコトヲ存ジテ居リ
マセヌカラ、或ハ答辯ガ當ツテ居ラナケレ
バ更ニ又後刻御答ヘ申上ゲマスガ、個人デ
アリマスト、大體先程御示シニナリマシタ
日本發送電會社法中改正法律案或ハ帝都高
速度交通營團法案ト同ジヤウナコトヲスル
必要ハナイト思フノデアリマスガ、此ノ場
合個人ノ適用ガ多イカ、或ハ法人ノ適用ガ
多イカト云フ點ハ詳シク存ジテ居リマセヌ
カラ、ソレニ依ツテ違ツテ來ルト思ヒマス
ガ、假令法人ノ場合デアルト致シマシテモ、
御示シニナリマシタヤウナ場合ニ於テ、課
税標準ノ特例ニ關スル規定ヲ置イテ居リマ
ス人ハ、事業若シクハ設備ヲ出資シテソレ
ノ對價トシテ株式ヲ受取ツタ場合ニ於キマ
スル、株式評價ノ問題ニ付テ、特例ヲ認メ
ル必要ガアルトシテ居ルノデアリマシテ、
此ノ場合今申上ゲマシタヤウニ、事業若シ
クハ權利ノ出資デソレニ對シテ株式ヲ受取
ルト云フノデハナクテ、此ノ場合ハ財産ヲ
處分シテ現金ヲ御受取ニナルト云フ場合ダ
ト思ヒマスカラ、旁、以テ其ノ場合マデヲ救
済スルト云フコトニハ及ビ兼ネルカト存ジ
マス

制出資ヲ命ゼラレル場合トハ多少違ヒマス
ケレドモ、只今政府カラ御提出ニナリマシ
タ立木ノ價格算定ノ基礎ニサウ云フ風ナ全
然普通ノ市場ノ市價カラアリ觸レタ造材ノ
費用トカ、伐採費用トカ、運賃等ノミガ引
カレタ價格ニナツテ居ルノデアリマス、是
ガ恐ラク各山林ノ立木ヲ普通ノ業者ニ賣買
サレテ居リマス場合ニハ、必ズソレニ對ス
ル賣ツタ人ノ税金ト云フヤウナモノガ含メ
テ賣買サレルト思ヒマス、サウ云フ項目ガ此
ノ「等」ト云フ中ニ含マレテ居ルト云フ御當
局ノ御説明デアレバ、サウ云フヤウナコト
ヲ私ハ大藏當局ニ御尋ネスル必要ハナイ、
併シ是ガ全然サウ云フモノヲ見テ居ラス、
此ノ算式ノ内容ニ入ツテ居リマセヌカラ、
サウシマスト詰リ賣ル人ハ勿論國家ノ爲デ
スカラサウ云フ際ニハ賣リマセウケレドモ、
サウ云フヤウナ税金其ノモノハ莫大ナモノ
ガ掛ルト思フ、其ノ邊ガ結局此ノ法案ニ依
ツテ本當ニ木材ノ需給ノ圓滑ヲ圖ラウト云
フ御目的ガ行ハレヌ結果ニナルト思ヒマス、
大藏當局トシテハ、他ノ株式會社トハ違フ
ノダカラ之ニ特例ヲ設ケル譯ニイカヌ、斯
ウ云フ御意見デアラナラバ、此ノ農林當局
ノ算定ノ基礎ニ是等ノモノヲ加味サレナイ
ト、折角ノ此ノ木材ノ需給ノ圓滑ハ行ハレ
ナイト思ヒマス、此ノ二條ノ如キハ、勿論
所有權ノ歸屬ノ問題モアリマスカラ、斯ウ
云フヤウナコトハ實ハ私ハ大變良イ案ダト
思ツテ居リマス、極ク率直ニ申上ゲレバ、只
今ノ所デハ山林ヲ持ツテ居ル人ハ相當ノ金
持ガ大體殘ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ
ヤウナ人ハ自分ハ資金ノ必要ヲ感ジナイノ
デ、伐採期ニナラウト——成程森林法ノ施行
案ニ依ツテ期限ハ來テ居ルガ、伐ラス時ハ罰ス

ルカト云フ罰則トガナイノデ、結局其ノ期限
ヨリ先ヘ持ツテ行ケバ段々金ガ上ルノデ中
中伐採セヌ、サウ云フ場合ニ私ハ本當ニ木材
ノ圓滑ヲ圖ル爲ニハ、第二條ハ當然ノモノト
考ヘテ居ル譯ナノデアリマス、所ガ實際ニ
於テ安ク買ハレルナラ出シマセヌ、其ノ方
ヲ御考ヘ下サラスト折角ノ法案ガ私ハ死ス
ト思フ、ソレニ對スル農林御當局ノ御説明
ヲ聽キタイ、大藏省御當局ト御相談ノ上ド
チラデモ宜イ、特例ヲ設ケレバ設ケルデ宜
シ、ソレガ出來ナケレバ其ノ税金ノ控除ヲ
認メテ戴キタイ

○井野政府委員 第二條ニ依リマス場合、
税金ノ特例ヲ認メテ戴クト云フコトハ、私
ハ大藏省ニ御願ヒシテモ難カシイト思ヒマ
ス、斯ウ云フヤウナ場合ニ特例ヲ認メタコ
トガナイヤウニ私共承知シテ居ルノデ、其ノ
點ハ難カシイト思ヒマスガ、今御話ノヤウ
ニ立木價格ノ算定ヲシマスノニ、サウ云フ
モノヲ含メテヤツテ居ルト云フ御話デアリ
マスガ、私共ハ實ハマダ立木ノ算定ノコト
ヲ能ク知ラナイノデアリマスガ、實際サウデ
アリマスレバサウ云フ點モ考慮シテ宜イノ
デハナイカト思ヒマス、御示シシマシタ算
定公式ト云フモノハ一應國有林ノ立木ヲ算
定スル式ヲ御目ニ掛ケタノデアリマスカラ、
是ハ先程勅令案デ私ガ申上ゲマシタヤウニ、
主務大臣ガ決メマス場合ニ、用材統制委員
會ニ掛ケマシテ、能ク業者ト御相談シテ、
ドウ云フ風ニシタラ一番公正ナ評價ガ出來
ルカト云フコトヲ御相談シテヤル積リデア
リマスカラ、今此處デドウスル斯ウスルト
云フコトヲ決メテ申上ゲルコトハ非常ニ難
カシイノデアリマスカレドモ、御迷惑ニナ
ラスヤウニ、而モ山林所有者ガ出シ易イヤ
ウニ其ノ評價等モ考ヘテ參リタイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマスカラ、左様御諒承願ヒ
マス

○増永委員 今山林ノ公式ヲ出サレタモノ
デスカラツイサウ云フコトヲ申上ゲマシタ、
此ノ内容ガ詰リ「ビ」ト云フノガ伐採ト造
材ト運賃諸掛ト云フモノダケニ限定サレタ
ノデアルガ、併シナガラ此ノ委員會トシテ
ハ之ヲ審議スル上ニ於テサウ云フヤウナモ
ノ業者ガ困ラスヤウニスルト云フ今ノ次
官ノ御言明、之ヲ信ジマスレドモ、ドウ
カサウ云フヤウナモノヲ含メテヤツテ戴カ
ナケレバナラヌト云フコトヲ御願ヒ申上ゲ
マス

○河野委員長 工藤君
○工藤十委員 關聯シテ御伺ヒ致シマス
ガ、國有林ノ木材ヲ拂下ゲル場合ニハ此ノ
公式デ行ツテ居ル、民有林ノ價格決定ノ場
合ニハ之ニ準ジテ行クト云フ御話デアリマ
ス、國有林ノ方ハ國家ノ所有物デアルカラ
税ハ何ヲ課カツテ居ラスト思フノデアリマ
ス、ソレト同ジ標準デ民有林ヲ應ゼナイ場
合ニハ強制シテ賣買サセノデアルカラ、其
ノ場合ニ税金ヲ控除シナイト苛酷ナ取扱ニ
ナリハシマセヌカ、ソレカラ現ニ昨年千葉
縣ニ於キマシテ材積カラ見マスト、約二萬
圓位ノ薪炭山ガアツタノデアリマス、其ノ
所有者ガ他ノ資產收入ガ非常ニ多イ爲ニ、
之ヲ處分シタ場合ニ超過所得稅ヲ取ラレタ
爲ニ、其ノ山ガ五千幾ラト云フ收入ニ相成
ツタ、斯ウ云フヤウナ實例ガアツテ、其ノ
際ニ農林省ノ局長カニ木炭ノコトニ付キマ
シテ色々話ガアツタ場合ニ、實ハ吾々ハ
其ノ救済ニ付テサウ云フ場合ノ税金關係
ヲウツカリシテ大藏省ト交渉シナカツタ、

今後ハ其ノ事ヲ考慮ニ入レマスト云フ話ガ
アツタ。デアリマス、サウ云フ關係ガアリ
マスノデ、農林當局並ニ大藏當局カラノ御
答辯ヲ願ヒタイ

○松隈政府委員 山林ノ所得ノ算定ニ當リ
マシテハ、現行所得税法ニ依リマス、山
林ノ所得ハ、前年中ノ總收入金額ヨリ必要
ノ經費ヲ控除シタ金額ニ依ル、斯ウ云フ
コトニナツテ居リマス、此ノ必要ノ經費ト
云ヒマスノハ、植栽費、ソレカラ其ノ後ノ
下草ヲ刈ルトカ、其ノ他山林ノ維持經營ニ
對シマスル諸費用等ヲ主トシテ指スノデア
リマス、所得稅ヲ必要ノ經費ト見ルカト云
フコトデアリマスガ、所得稅ハ總テ必要ノ
經費ト見テ居リマセヌ、是ハ一般ノ營業ニ
付テモ同様デアリマシテ、營業ヲシテ居リ
マス爲ニ所得稅ト營業收益稅——今度ハ營
業收益稅ヲ改メテ營業稅ニナリマシタガ——
トガ課カツテ參リマス場合ニ於テモ、營
業收益稅デアルトカ、或ハ營業用地ニ對ス
ル地租ト云フモノハ營業ヲ營ムニ必要ナ
經費ト見テ居リマスケレドモ、所得稅ト云フ
モノハ、所得ノ中カラ拂フベキモノデアツテ、
是ハ經費デナイ、斯ウ云フ見方ヲシテ居リ
マスノデ、從來所得稅ハ引イテ居リマ
セヌ、ソレカラ只今山林ヲ賣却シタ爲ニ
超過所得ガ課カツタト云フ話デゴザイマ
スガ、是ハ恐ラク個人ノ累進稅率ガ比較
的高クナツタ、斯ウ云フ意味デノ御話ト
思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ
ハ、山林所得ニ付テハ特別ノ考慮ヲ拂ヒマ
シテ、他ノ所得ト合算スルコト云フコトニナ
ルト、累進稅率ガ高クナリマスルカラ、合算
スルコトヲ避ケテ、特ニ山林ノ所得ガ別
ニ區分シテ稅率ヲ適用スルコトニナツテ居

リマス、尙ホ其ノ上山林所得ニ付テハ、之
ヲ五分シテ稅率ヲ適用シテ、後デ五倍スル
ト云フ方法ヲ講ジテ居リマスコトニ依リマ
シテ、普通ノ場合ノ所得ヨリモ累進稅率ト
云フモノガ遙カニ低メラレテ居ルコトニナ
ツテ居リマス、是ハ山林ノ特質ニ鑑ミテ特
ニ斯様ナ考慮ガ拂ハレテ居ルモノデアルト
思ヒマス、尙ホ其ノ場合ニ於テモ、少イヨ
リモ餘計賣レバヤハリ稅率ノ高マルノハ是
ハドウモ避ケ難イ所デアリマスケレドモ、
他ノ所得ヨリハ餘程低メニナツテ居ルト云
フコトダケハ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒ
マス

○馬岡委員 只今主稅局長カラ山林所得稅
ノ話ヲ承リマシテ、能ク了解シタノデアリ
マス、然ル所大藏省デ山林所得ニ對スル必要
經費ナルモノノ控除額ガ問題ニナツテ居ル、
御承知ノ如ク是ハ相當年限ガ經過シマスノ
ニ、貨幣價值ノ變動ヲ御認メニナツテ居
ナイコトガ、山林業者ノ苦痛ニナルノデア
リマス、殊ニ今度ハ此ノ劃期的ノ法律ニ依
リマシテ、山ヲ伐ルコトガ命令サレルノデ
アリマス、之ヲ造ラセナケレバナラナイノ
ニ、之ニ必要經費ノ控除ノ問題ノ上カラ、
貨幣價值ノ變動ヲ御認メニナラナイト、極
力山ヲ植エサスコトガ出來ナイ、ソレデ必
要經費ト云フモノハ一定ノ基礎ノアル御精
算ヲ願ツテ、全國的ニ畫一シタ必要經費ノ
控除額ヲ御決メテ願ヒタイ、ドウモ内規的
ニ御決メニナツテ居ルノデハ、時ニ依ルト
或ル稅務署デハ相當引カレルガ、或ル稅務
署デハ引カレナイ、是ハ全國ヲ通ジテ非常
ニ弊害ノアルコトヲ私共認メテ居ルノデ、
此ノ點ヲ特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、此ノ點ニ
對スル當局ノ御考ヘガアレバ此ノ際承リタ

イ
○松隈政府委員 山林所得ニ付テ必要經費
ヲ控除スルコトハ先程御説明申上ゲタ通り
デアリマス、其ノ場合ニ於テ必要經費ノ見
方ニ付キマシテハ、現在ノ所本省デ畫一標
準ヲ決メテ指示シテ居ルト云フ所マデ至ツ
テ居リマセヌ、各稅務監督局ニ任セテ居リ
マスノデ、各稅務監督局毎ニハ大體經費ノ
標準率ヲ内規トシテ定メテ居リマスガ、之
ニシマシテモ地域々々ニ依リマシテ經費ノ
割合ガ違ツテ居リマスノデ、監督局別ト雖
モ全體ヲ一ツニ統一スル方ガ宜イカドウカ
ト云フコトハ、問題デアリマス、況ヤ全國的
ニ統一スルト致シマスレバ、ヤハリ中央デ
統一スルモノノ各地方別ニ標準ヲ作ラナイ
ト不公平ニナルト思ヒマス、地域別及ビ材
種別ノ標準ヲ中央デ作ルカドウカト云フコ
トニ付テハ、御意見モアリマスカラ尙ホ
十分考慮致シタイと思ヒマス、其ノ際ニ於
テ貨幣價值ノ變動ヲ如何ナル比率デ織込
ムカト云フコトハ、今マデ他ニサウ云フ類例
ガゴザイマセヌノデ、サウ云フコトガ出來
ルカドウカト云フコトハ今直チニ判斷ガ困
難ナ問題デアリマスガ、御意見ハ承ツテ置
キマス

○河野委員長 松尾委員
○松尾(四)委員 長野君ノ關聯質問ガアル
ヤウデスガ、私ノ質問ヲ一應進メテ行キタ
イト思ヒマス、モウ少シデスカラ……
○河野委員長 主稅局長ニ對スル質問ハモ
ウ宜シイノデスカ
○松尾(四)委員 宜シウゴザイマス……ソ
コデ第二條關係ノ價格決定ニ際シテ、サウ
云フ價格評定公式ヲ御示シニナツテ居リマ
ス、國有林即チ官公林ノ立木單價ヲ決定ス

ルニ際シテ、政府ガ御使ヒニナツテ居ルト
思ヒマスガ、私ハ是デ出サレルコトガ、民
有林ニ對シテ市場價格ヲ逆算シテ出シテ行
ツテ居ル狀態ト非常ニ違フコトガ起ルト思
フ、官公林ヲ政府カラ拂下ヲ受ケテ、之ヲ木
材業者ガ生産シテ市場ニ出ス場合ハ、此ノ
公式ニ依ツテ出サナケレバ木材業者ハ採算
ガ採レナイ、其ノ木材業者ノ採算ヲドウス
ルカ、ソレハ市場價格カラ逆算シテ一應立
木單價ヲ出シテ行ク、斯ウ云フ形デハ必
要ダ、所ガ今度此ノ公式ヲ民有林ノ方ニ
當嵌メテ考ヘラレマスト、市場價格ガ決マ
ツテ居ツテ、サウシテ斯ウ云フ風ニ色々ナ
條件ガ其ノ市場價格ノ上ニ影響ヲ及ボス、
其ノ殘リガ立木單價ニナツテ來ルト云フコ
トカラ考ヘマスト、先程申上ゲマシタ伐採
費、造林費、運搬費、即チ之ニ書イテアル原木
ノ事業費、斯ウ云フモノハ是カラ段々昂騰
シテ行クバカリデアルハ、上ツテ行ケバ上
ツタダケハ差引カレルカラ、結局此ノ
「エックス」ノ立木單價ハ少イモノニナル、
之ヲ私ハ先程カラ申上ゲルノデスガ、次官
ノ方デハ其ノ點能ク山林業者ノ事情ヲ考ヘ
テ——木材業者ノ事情ヲ考ヘラレルカ、山
林業者ノ事情ヲ考ヘラレルカ、其ノ點ハ木
材業者ヲ保護スレバ山林業者、立木所有者
ノ方ガ非常ニ安イ單價ニナルシ、立木所有
者ヲ相當ニ保護シテ行ケバ木材業者ヲ抑ヘ
ナケレバナラス、ソレハ市場單價ヲ動かサ
ナイ場合ニ於テハサウ云フコトニナル、市
場單價ヲ或ル程度動カシテ、斯ウ云フ歩合
ヲ見テ市場單價ヲ相當ナ所マデ他ノ物價指
數ト共ニ上ゲテ行クト云フコトヲヤラレレ
バ、當然立木單價モ上ツテ來ル、併シサウ
云フコトヲヤレバ、低物價政策ノ建前カラ

云ツテ、所謂公定物價ト云フモノヲ或ル程度修正シナケレバナラヌコトニナリマスガ、サウ云フコトヲヤリ得ルカドウカ、斯ウ云フコトモ伺ヒタイノデス、結局私ノ御尋ネシマス要點ハ、斯ウ云フ伐採費、造林費、運搬費等ノ段々昂騰シテ行クモノノ差引カレル立木單價ニナルト結局其ノ費用ガ上ツテ行クダケハ立木所有者ノ負擔ニナル、斯ウ云フコトニナルノカナラヌカ、之ヲ伺ツテ置キタイ

○井野政府委員 結局立木價格ヲ出シマスニハ、市場價格ヲ釘付ケニシテ動カサヌト云フコトニナリマス、其ノ間ニ引ク率ニ依リマシテ立木價格ノ單價ニ非常ナ不公平ナ價值ヲ生ジテ來ルコトハ御説ノ通りデアリマス、デアリマスカラ此處ニ掲ゲデアリマスノハ現在ノ國有林ノ立木價格ヲ評價シマスル公式ヲ一應斯ウ云フコトデヤツテ居ル、民有林モ大體斯ウ云フ考ヘ方デヤツテ行ケバ——併シハ森林業者ト云フモノノ大事ナコトハ私共能ク分ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ不測ノ損害ヲ與ヘテ、生産ノ氣分ヲ阻碍スルコトハ避ケナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ途中ノ色々ナ費用ガ高クナツテ參リマシタ時ニハ、無論公定價格モ動カシマシテ、サウシテ森林所有者ニ不測ノ損害ヲ與ヘナイヤウニ十分注意シテ參リタイト思ヒマス

ハ立木ヲ多量ニ伐ルト云フコトヨリ外ニハナイノデアリマシテ木材業界ノ機構ヲドシナニ變革シテモ、結局無カラ有ヲ生ズルコトハ出來ナイ、結局ハ立木ヲ伐ルコトデスカラ、機構ノ變革ダケヲドシナニ行ツテモ出來ナイ、其ノ立木ヲ伐ツテ出サスコトヲ圓滑ニヤルト云フニハ此ノ點ニ餘程關係ガアルト思ヒマス、今日所謂減私奉公、公益優先ト云フコトヲ言ツテ居リマスシ、又國民皆左様ニ考ヘテ居リマス、國家有事ノ際デアアルノデ、必ズヤ軍ノ方デモ御入用デアリ、或ハ生産擴充ガ必要デアレバ、山林業者モ十分其ノ點ハ理解シテ居リマスケレドモ、此ノ所謂祖先傳來ノモノヲ命令一本デ伐ラサレルト云フ時ニハ、ヤハリ外ノモノト均衡ヲ得タ割合ニ買上ゲラレルト云フコトガ當然ダト思ヒマスカラ、此ノ點ハ十分價格決定ニ際シマシテハ山林家ニ満足ヲ與ヘネバナラス此ノ勅令ニ示サレル公式デハイケナイ、市場價格カラ伐採費、造林費、運搬費ヲ差引イタモノヲ基準トシテ決メルト書イデアリマスカラ、之ヲ書キ方ヲ變ヘテ貰フコトニスルカ、何カ考慮スルトスレバ多少具體的ナ言明ガアルガ、此ノ條文ヲ當嵌メレバ經費ノ増加ハ全部山林所有者ニ負擔ガ來ル譯デアリマシテ、甚ダ不合理ナ點ガアルト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ安心セシムルヤウナ何カ御言明ヲ得タイト思ヒマス

○松尾(四)委員 ソレデハ價格ノ問題ハ其ノ程度ニ致シテ置キマシテ、モウ一點此ノ勅令案ニ對シテ伺ツテ置キタイノデスガ、勅令案ノ第五條ニ、今御述べニナリマシタ、第二ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得ルコト、之ニ對シテハ先程増永委員カラモ御希望ガアリマシタ、私モ同様ニ考ヘルノデアリマシテ、訴願ト云フコトヨリモ、是ハ普通裁判所ニ持ツテ行クコトガ今日マデノ我が國ノ立法上ノ慣例デアリマシテ、裁判所ト云フモノハ其ノ事ヲ裁ク專門家デアリマスカラ、其ノ所ニ持ツテ行クノガ當然デアラウト思ヒマス、訴願ト云フノハ主務大臣ニ願ツテ出ル譯デアリマスガ、主務大臣ノ決定ニ對シテ不服ガアル場合ハ、裁判所ニ持ツテ行クコト云フコトニナリマスカラ、第三者ニ持ツテ行クノガ當然デアラウト思ヒマス、裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト云フ條項ニ是非トモ訂正ヲ願ヒタイト思フノデス

○井野政府委員 是ハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、今回ハ私共ノ方ノ考ヘ方モ主務大臣ニ變ヘタノデアリマシテ、斯ウ云フコトハ出來ルダケ慎重ニ致シタイ、先般申上ゲマシタヤウニ寧ロ傳家ノ寶刀ト云フヤウナ氣持デ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、主務大臣デヤツタコトヲ又裁判所ニ訴ヘルトカサウ云フコトヲ致サナクテモ、主務大臣ハサウ間違ツタコトヲシナイ積リデアリマスカラ、其ノ點ヲ御信用下スツテ此ノ程度ノ異議ノ申立デ御満足ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松尾(四)委員 其ノ點ハ私ハ今ノ御議論デハ承服致シ兼ねマスカラ、又討論ノ時ニデモ讓リマスガ、政府ノ方デ尙ホ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○河野委員長 増永委員ハモウ宜シイデスカ

○増永委員 宜シウゴザイマス

○河野委員長 ソレデハ大橋君

○大橋委員 私此ノ場合ニ概念的デ、抽象的デアリマスルケレドモ、自分ノ觀念ヲ明確ニスル爲ニ一點最初ニ伺ツテ置キタイコトガアルノデス、此ノ頃政府ハ統制經濟ノ企畫ヲナサル場合ニ於キマシテ、商業組合ト云フヤウナ形、工業組合ト云フヤウナ形ヲ利用ナシマシテ、或ハ又國策統制會社ト云フヤウナ形式モ御取リニナル、或ハ又公ノ營團ノヤウナ形式ヲ御取リニナリマス、各省ニ於テ任意ニ之ヲ採用シテ居ラレルヤウニ伺ツテ居ルノデス、此ノ三ツノ現在ノ形式ハ、ソレノ性格ヲ異ニ致シテ居リマスルコトハ私ガ申上ゲルマデモナイノデアリマス、大體ドウ云フヤウナ場合ニドウ云フヤウナ標準ヲ、政府ハ斯ウ云ツタヤウナ經濟企畫ノ運用ノ上ニ於キマシテ御採用ニナツテ居ルノデアリマス、國民ハ何レモドウ云フ風ニナツテ行クカト云フヤウナ事柄デ、政府ノ御方針ニ付テ非常ニ岐路ニ立迷ツテ居ルヤウナ考ヘガ致シテ居ルノデアリマス、コンナ點ヲ私ハ先ツ基本觀點トシテ伺ツテ置キタイト思フノデス

○井野政府委員 政府ガ統制經濟ヲ行ヒマスニ付テ、國策會社或ハ商業組合、工業組合、或ハ其ノ他ノ形態ヲ取ルノニ、ドウ云フ方針デサウ云フ形態ヲ取ルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ一概ニハ御答ヘシニ

クイ問題デヤナイカト私思フノデアリマス
〔委員長退席、松浦委員長代理着席〕

ト申上ゲマスノハ、業態々々ニ依ツテ、商業組合シテ配給機構ニ當ラシムルコトガ適當ナ場合ト、或ハ商業組合デナシニ、一ツノ別個ノ會社ヲ組織シテヤルコトガ宜イ場合ト、色々アルノデアリマス、一例ヲ取ツテ見マスレバ、生産者ト配給業者ト消費者ト云フヤウナモノヲ一團トシテ、生産力カラ消費マデ統制シマスコトガ便宜ナ場合ニハ、生産者ニモ出資ガ出來、或ハ配給業者ニモ出資ガ出來、消費ニモ出資ガ出來ルヤウナ一ツノ會社組織デヤルコトガ宜イヤウナ場合ガアリマス、又商業者ダケデ合同スレバ、ソレガ配給機構トシテ宜イ場合ニハ商業組合組織デ以テ足りルト云フ場合モゴザイマスルシ、是ハモノニ依ツテ非常ニ性質ガ違ヒマスノデ、抽象的ニドウ云フ方針カト云フ御尋ネガゴザイマスルト、是ハ一寸御答ヘ致シ兼ネル問題デヤナカラウカト思ツテ居リマス

○大橋委員 私ハ餘リ反覆質問ヲ致シマスト時間ガ掛リマスカラ、大體ヲ伺ツテ置クニ止メマスガ、上田サンノ先程ノ御質問ノ中ニモアリマシタガ、此ノ中央會社ノヤウナモノハ全國的ニ調節ニ必要ナ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、中央ハ所謂事業ヲ澤山ヤルト云フコトデハナイヤウニ考ヘテ、無論事業モ一部分オヤリミナルヤウニ此ノ統制法案ニアルノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、全國的ニ調節ヲスルト云フコトニ重點ヲ置イテ居ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、ソコデ企業、經營、斯ウ云ツタヤウナ指導統制ヲ行フト云フヤウナ場合ニナリマシテ、是モ基本的ノコトデアリマ

スガ、斯ウ云ツタヤウナ仕事ニ付キマシテハ、ヤハリ營團トカ、或ハ又會社組織ニアラザル形態ヲ御取リニナツテ、組合トカ何トカ云ツタヤウナ方面デオヤリミナル方ガ宜イノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、只今ノ御説明ニ依リマス、一貫作業ノヤウナ場合ニハ會社ノ方ガ宜イダラウ、斯ウ云フ風ニ御答辯ニナツタヤウニ伺ツテ居リマスガ、獨リ此ノ問題バカリデアリマセヌノデ、所謂統制會社ト云ツタヤウナモノハ評判ガ惡イノデ此ノ段ハ營團ニヤツタト云フヤウナ説ヲ道途唱ヘル者モアルノデアリマスガ、私ハサウ云フヤウナ意味合デ伺フノデハナイノデアリマス、抽象的デハ分ラナイト仰セラレマスガ、此ノ木材統制會社ニ付キマシテハ、サウ云ツタヤウナ企業、統制ノヤウナ仕事ヲナサルコトガ中央ノ機構ノヤウニ考ヘテ居リマスノデ、斯ウ云ツタ場合ニハ、他ノ會社形態ニアラザルヤウナ組織ヲ御用ヒニナルノガ適切デハナカラウカト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ斯ウ云フ風ニ計畫ガ立ツテ居ルノデスカラ、爭フノデモ何デモナイ、唯是カラ國策トシテオヤリミナル其ノ方法ニ付テシツカリト伺ツテ置キマセスト、各省ニ於テ色々ナ御考ヘデ、出鱈目ト申シテハ甚ダ失禮デアリマスガ、今ノヤウナハツキリシタ標準ガオアリミナルノナラバ、只今一端ダケ伺ツタノデアリマスガ、其ノ他ニモ會社ノ形式、國策會社ノ形式、統制會社ノ形式、或ハ營團ト云フ風ニ色々アリマスカラ、其ノ點ヲモウ少しハツキリト此ノ場合ニ教ヘテ戴キタイト思ヒマス

○井野政府委員 營團ト會社トハドウ云フ場合ニ形ヲ異ニスルカト云フコトニナリマスケレドモ、之ヲ組織シマスモノノ性質ト仕事ノ性質カラ自ラ分レテ來ルト思ヒマス、組織シマス者ガ生産者、配給業者ト云フ單ナル個人的ノ企業ヲ致シテ居リマス者ガ集マリマス時ニハ、大體會社組織ガ宜イノデハナカラウカト思ヒマスガ、是ガ今回農地開發法案デ考ヘテ居リマサウナ開發營團、土地開發營團ト云フヤウナモノデアリマス、勸業銀行トカ産業組合中央金庫ト云フモノガ出資者ニナリマシテ組織スルノデアリマス、サウ云フモノハ組織者トシマシテモ個人的ノモノデゴザイマセスカラ、大體營團ガ宜イノデハナカラウカト思ヒマス、併シ其ノ他ニモ無論個人的ノモノヲ豫想シテ居ルモノモゴザイマス、ソレハ併シ例ヘバ交通會社デアルトカ、其ノ他色々ノ公益事業ヲヤツテ居リマス者ガ組織スル時ニハ、ソレハ營團的ノ性質ヲ持つテ來ル、是ハ組織者カラ見タ營團ノ一ツノ行キ方デアリマス、又モウ一ツハ事業自體ガ餘程公益性ノ強イモノ、是ガ營團ト云フコトニ今日大體考ヘテ居リマス、例ヘバ農地開發ノ如キ、刻下ノ食糧問題ノ解決上下ウシテモ或ル程度ノ開墾ヲシナケレバナラナイト云フ所カラ考ヘマシテ、アレハ營團ニ致シタノデアリマス、其ノ他住宅營團ニシロ、交通營團ニシロ、餘程スル仕事自體ガ一般ノ、詰リ公益ニ非常ニ關係ノ深イモノハ、大體營團ニ致シタヤウデアリマス、併シソノ程度ニ至リマスト國策會社ト餘リ違ハナイモノモ實ハアルノデヤナカラウカト考ヘテ居リマスガ、其ノ行キ方ハ大體今申上ゲマシタヤウナ氣持デ分レテ居リマスカラ、左様

御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大橋委員 只今ノヤウナ御説明ガアリマスナラバ、私ハ此ノ國策會社ニ付テモ相當意見ヲ持つテ居リマスガ、サウ云フコトヲ申上ゲルト長クナリマスカラ、私ハ申上ゲナイ續イテ私ハ消費方面ノ問題ニ付キマシテ配給部面ニ付テ伺ツテ見タイト思ヒマス、細カ

イ問題デアリマスケレドモ、伺ヒマスレバ全國ニ於キマシテハツノ「ブロック」ニソレゾレ一ツノ地方會社ガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、全國ニ於キマスル所ノ木材消費量ハ統計ニ依ツテ見マスレバ一億一千六百萬石ト云フノデアリマス、是等ヲ金額ニ換算致シマスレバ一石十圓トスレバ凡ソ十億何萬圓ト云フコトニナルノデアリマス、局長ノ御話ニ依レバ其ノ内ノ六割ト云フヤウナモノガ、此ノ國策會社或ハ統制會社ニ依リマシテ取扱ハレルノデアリマスガ、私ノ考ヘヲ以テ致シマス、此ノ六割ノ軍需材、或ハ公用材ト云フヤウナコトハ此ノハツノ會社——或ハ又殖ヤシテ戴ケルカモ分リマセスガ、

〔松浦委員長代理退席、委員長着席〕

斯ウ云ツタ地方會社ガ果シテ運用ガ出來ルカ、果シテ統制ノ機能ガ發揮シ得ルモノデアラウカト云フコトヲ私ハ疑ヒナキ能ハザル考ヘヲ持つテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テモ伺ヒタイトデアリマスガ、サウ致シマシテ尙ホ殘ル所ノ、假ニ四割ト致シマシテ、此ノ四割ノ部分ニ對シテ、即チ此ノハツノ「ブロック」ノ地方會社ニ漏レタル部分、吸收セラレザル部分ハドウ云フ風ニスルノデアリマスガ、即チ假ニ是ガ四割扱フト致シマシテモ、此ノ部分ハ私ハ四割デハナカラウト思フ、即チ六割ト云フモノハ到底統制

會社ノ地方會社ダケハ間ニ合ツテ行カナイノデアリマスカラ、四割ガ六割ニナリマスカ、八割ニナリマスカ、此ノ機構ニ依リマシテ恐ラクハ寧ロ吸收セラレザル部分ガ相當ニ大キイノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ府縣ノ木聯トカ、或ハ工業組合トカ商業組合トカ、或ハ會社形態ヲ成スモノ、或ハ個人商店ノ組合等ノ事業經營ニ付テ、其ノ儘之ヲサウ云ツタ部分ニ存置シテ、之ニ國家ガ考ヘテ居リマス所ノ、統制ノ方法ヲヤラセルヤウナ方法ヲ御執リナサルノデアリマスカ、漏レタル部分、包容スルコトノ出來ナイ部分ニ付キマシテバドウ云フ風ニナサルノデアアルカト云フコトヲ伺ツテ見タイノデアリマス、又是等ノ營業者ヲ統合シマシテ、先程ドナタカラカ御話ガアリマシタガ、十八條ノ會社トシテ地方會社ニ準ジテ統制ノ事業ヲナサシメルヤウナ御考ヘガアルノデスカドウデスカト云フ一點ヲ伺ヒタイ、是ハ三大都市或ハ六大都市ト云ツタヤウナ大都市ニ於キマシテハ消費地デアリマスカラ、現在ハ東京ニモ大市場ガ深川方面ニモアリ、且又城南方面ニハ問屋業ヲ離レマシテ同業組合モアルノデアリマス、是等ノ大消費地ニ於キマシテハ、ソレノ特殊ノ市場、會社ノヤウナモノヲ御設立ニナリマシテ、サウシテ之ニ投資又ハ融資ヲスルト云フヤウナ御考ヘガアルニナルノデアリマスカドウカ、又サウ云フ御考ヘガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、此ノ木材統制法案ノ法規ノ中ノ十八條乃至十七條ノ間ニ於キマシテ相當ノ御考慮ヲ費ヤシテ戴キマシテ、之ニ御附加ヘ下サル所ノ御考ヘガアルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

ソレカラ若シ現在ノ是等ノ機構、即チ色ノ組合ダトカ或ハ工業組合、商業組合聯合會、其ノ他卸商、問屋ト云ツタヤウナ是等ノ現在ノ配給ノ機構ヲ其儘存置スル場合ニ於キマシテハ、地方會社トノ關係ニ於テ相互ノ摩擦相剋ヲ生ズルヤウナ憂ヒガアルノデアリマス、是ハ懇談會ノ際ニモ伺ヒマシタガ、存置シテモ宜イノダト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウ云ツタ場合ニ於テ地方會社トノ關係ハドウ云フ工合ニナルノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ
ソレカラモウ一ツハ、是等ノ營業者ヲ統合シテ經營ヲナサシメル場合ニ、地方木材會社ニ準ジテ日本木材會社カラ投資又ハ融資ヲナサシメ、サウシテ地方會社ト同等ノ地位ニ地位ニオ置キニナル考ヘデアアルカ、此ノ點モハツキリ伺ツテ置キタイ、ソレカラモウ一點、從來ノ營業形態、即チ商業組合、工業組合聯合會、同業組合ノヤウナモノヲ其ノ儘存置シ、地方木材會社トハ別ノ所謂性格ヲ持ツテ其ノ特異性ヲ助長發揮サシテ、サウシテ生産配給ノ事業ヲ別ノ部面トシテ御取扱ヒニナル考ヘデモアリマセウカ、斯ウ云フコトモ伺ツテ置キタイ、是ハ商工省關係ヤナシカト行政上ノ色々御取扱ヒノ上カラ別ノ部門ニ御置キニナツテ農林省ガ是ト折衝シテ協調シテオヤリニナルヤウナ考ヘデアアルカ、ドウ云フ風ニナルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイ、ソレカラ地方木材會社ト下ニ現在ノ營業形態機構其ノ儘ラズ吸收シテ、即チ問屋、卸商、小賣商ト云フヤウナ營業態ヲ營ム者又ハ會社形態ノモノヲ其ノ儘包含シテ、下請トシテオヤラセニナル考ヘデセウカ、地方

會社ニ殘ラズ吸收シテシマツテ其ノ下請ニシテシマフ、斯ウ云フヤウナ御考ヘデオヤリニナル考ヘデアアルカ、ソレカラモウ一點ハ、或ハソレ等ノ營業者ヲ企業合同ヲナサシメ、會社若シクハ組合ノヤウナ團體ニ整理シ、地方木材ノ下請ノヤウナ地位ニ御置キニナル御考ヘデアアルカ、此ノ點モ伺ヒタイ、今アル儘下請ニスルカ、或ハソレヲ企業合同シタリ或ハ團體ニ整理シタリシテ地方木材會社ト下ノ足トシテヤルノカドウカ、斯ウ云ツタヤウナコトヲ伺ツテ見タイ、尙ホ又引續イテ伺ヒタイ點ガアリマスガ、以上ノ諸點ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス
○井野政府委員 只今御尋ネノ點ハ七點ニ分レテ居ルヤウデゴザイマスルガ、其ノ一ツツニ付テ御答ヘ申上ゲマス
先ツ第一點ハ現在ノ木材ノ需要ガ一億二千萬石デアツテ、ソレノ六割ヲ日本木材統制株式會社ト、地方木材統制株式會社ト撥フト云フコトデアアルガ、ソレ以外ハ一體ドウスルノデアアルカ、斯ウ云フ御尋ネノヤウニ承知致シマシタガ、是ハ先般來申上ゲテ居リマスヤウニ、現在統制ヲ最モ必要ト致シマスル木材ハ、軍需材、生産力擴充資材、住宅營團等ノ資材、輸出材ト云フヤウナモノガ一番統制ヲ必要ト致スノデアリマシテ、之ヲ其ノ儘存置シテ置キマス、サウ云ツタ方面ニ實際ニ木材ガ流レズシテ、他ニ流レルト云フコトカラ、統制ノ必要ガ起ツテ參ツタノデアリマス、ソレ等ノ資材ガ大體現在流レテ居リマスル木材ノ六割ニ當ル、ソレヲ會社ガ取扱ハ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレ以外ノ材ニ付テハ此ノ會社ヲ通ジテハ統制ハ致サナイト云フ風ニ

御諒承願ヒタイノデアリマス、サウナツテ來マス、次ニ段々ト御質問ノ點ニ觸レテ來ルト思ヒマスガ、ソコデ都市ニ於ケル所ノ配給統制ハドウスルカ、斯ウ云フ第二點ノ御尋ネデアリマスルガ、是ハ六大都市ニ於キマシテ特殊ノ市場性ニ鑑ミマシテ、日本木材統制株式會社及ビ地方木材株式會社カラ供給致シマスル木材ノ配給統制機構トシマシテ、ソレノ問屋業者、製材業者等ヲ株主ト致シマスル所ノ木材荷受配給統制株式會社ト云フヤウナモノヲ作ツタラドウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、サウシテソレヲシテ配給統制ヲサセタラ宜イノデヤナカラウカ、斯ウ云フ風ニ現在デハ考ヘテ居リマス四割ノ木材ニ付テ從來ノ販賣機構ヲ認メテ置イテ、ソレカラ地方木材會社ガドウ云フ關係ニ立ツカト云フコトガ第三點ノ御質問デアリマス、是ハ後ノ御質問トモ關聯致シマスガ、大體地方ニアリマス所ノ製材所或ハ其ノ他ノ木材配給業者ト云フモノハ、出來ルダケ企業合同ガ出來レバサウシタイト考ヘテ居リマス、現在ノヤウニバラバラニ存立シテオ互ヒニ經費ガ能率的デナイ行キ方ヨリハ、寧ロ合同ヲ御勸メシテ、サウシテ合同ニ依ツテサウ云ツタヤウナ無駄ヲ省イテ行キタイ、隨テ合同出來マシタモノト地方木材會社トハ、或ハ下請トカ其ノ他色々ノ方法モアラウカト思ヒマスガ、結付ケラレバ結付ケテ貰ヒタイ、併シ今申上ゲマシタヤウニ、六割ヲ統制スルコトガ目標デアリマスカラ、差詰メ何モ彼モヤツテシマフト云フコトハ非常ニ困難カト思ヒマス、大體外ノ部分ハ統制外ニ置キマシテモ當分ハ差支ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ若シモサウ云フ地方木材株式會社以外ノ會社が出來タ場合ニ、地方木材會社ト同等ノ融資ナリ投資ヲスルカト云フ第四點ノ御質問デアリマスガ、是ハヤハリ事情々々ニ依ツテ違フト思ヒマス、又其ノ金額等ニ依ツテモ違フト思ヒマスカラドツチヲ優先ニスルト云フヤウナコトヲ決メテ申上ゲナイ方ガ宜イノデヤナイカ、其ノ時ノ事情ニ依ツテ適當ニヤツテ行クコトノ方ガ妥當デハナカラウカト考ヘテ居リマス

ソレカラ第五點ノ、商業組合ト云フ部門ヲ別ニ置イテオイテ、サウシテ其ノ方デ配給機構ノ整備ヲ圖ツテ行クノガ宜イノデヤナイカ、ソレドウ扱フカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマシテ、ソレニハ商工省トモ能ク連絡ヲ取ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御趣旨ガアリマシタガ、木材ニ關スル商業組合ハ今回ノ農林商工事務ノ調整ニ依リマシテ農林省ノ所管ニナツテシマフノデアリマス、デスカラ商工省トハモウ關係ガナイ譯デス、

隨テ私ノ方、即チ農林省ノ方ノ關係ニナツテ參ツタノデアリマスカラ、商人モ從來商工省ガ御考ヘニナツテ居ツタト同ジヤウナ氣持デ、農林省モ是ハ自分ノ子供トシテ御面倒ヲ見テ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、隨テ商業組合等ノ發達竝ニ機能ノ擴充ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ十分ニ考慮ヲ致シテ參リタイ、是ハ地方々々ノ事情ニ依ツテ能ク指導モ申上ゲテ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ第六點ノ地方木材株式會社以外ノ個々ノ企業者、ソレヲ其ノ儘下請ヲスルカ、或ハ企業合同ヲシテ下請ヲスルカト云フ六ト七トノ御尋ネデアリマスガ、是ハマア其ノ事情ニ依ツテ進ンデ貰ヒタイ、先程

申上ゲマシタヤウニ先ヅ目標ハ六割ノ木材ヲ目標ニ致シテ參ルノデアリマスカラ、其ノ他ノモノニマデ直グ手ヲ付ケルト云フコトハ是ハ中々困難デヤナイカ、隨テ順ヲ追ウテ行ケバサウ云フ所マデモ進メタイト思ツテ居リマスケレドモ、今ノ所ハ大體地方木材會社ヲ統制出來マス範圍内ニ於テ統制ヲ加ヘテ參リタイ、唯指導ニ依ツテ善導シテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大橋委員 大體ハツキリ致シテ參リマシタガ、私ハ此ノ木材統制法案ノ中ニ六大都市若シクハ三大都市ノヤウナ消費地域ニ對スル所ノ消費會社ノ問題ニ付キマシテ、モウ少シハツキリト此ノ條項ナドヲ法規ノ中ニ御加ヘテ願ヒタイト云フコトヲ此ノ際申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、是非サウ云フ風ニシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ明確ナル御答辯ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ只今六割ノ統制ヲヤルノガ詰リ木材會社、竝ニ地方會社ノ役目デアルト仰セラレルノデアリマスガ、資本ノ關係、ソレカラ生産或ハ需給消費ノ關係等ノ額カラ考ヘマシテ、此ノ六割ノ仕事ヲスルト云フコトハ、政府ノ御計畫ハ其ノ通りニ出來テ居リマスガ、到底其ノ通りニハ實際問題トシテハ行カナイノデハナカラウカト私ハ思フ、サウスレバ濫レル部分ガ出ル、餘ル部分ガ出ルト云フノデアリマシテ、六割ダケヲ統制スレバアトハ自然ニ任シテ段々ト統制ヲ強化シテ行クンダ、斯ウ云フ仰セデアリマスガ、最初カラ此ノ建前デ以テ六割マデハ此ノ統制會社ニ依ツテ始末ガ付ケ得ルト云フコトハ、私ハ是ハ意見ノ相違カモ知レマセヌガ、考ヘラレ得ナイ、サウ云フ細イ管、サウ云フ

ヤウナハツノ管、若シクハ十二ノ管、是カラ御願ヒシテ十二ニナルカ、幾ツニナルカ分リマセヌガ、是等ノ細イ管ニ依リマシテ、是ダケノ資本ニ依ツテ考ヘテ見マス、六割ト申シマスルト六億圓ト云フヤウナ年額ノ計算ニナルノデアリマスガ、斯ウ云ツタヤウナ大キナ生産消費ト云フモノヲ消化シテ行クコトガ出來ルカ、サウスレバ他ノ民間會社若シクハ組合或ハ商店、卸賣問屋斯ウ云ツタ方面ニ自然響イテ來ル、ソレヲウツチヤツテ置クナラバ、イツマデ經ツテモ私ハ斯ウ云ツタヤウナ國家的企業ガ慎重ニ仕事ガ出來、軍其ノ他ノ御満足ヲ得ルコトハ到底出來ナイ、今カラサウ云フ風ニ豫想シテ戴キマシテ、モウ少シハツキリトシタ御答辯ヲ此ノ際戴キタイ、又今日御答辯ガナイナラバ、相當ニ此ノ點ニ付キマシテハ御考慮ヲ願ヒマシテ、此ノ委員會ノ終ルマデニ消費部門ニ於ケル所ノ色々ナリ方ニ付テ或ル程度ノ規定ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ其ノコトヲ御伺ヒスルト同時ニ斯ウ云フコトモ私ハ伺ヒタイ、地方小木材會社ノ業域ニ於キマシテハ、ソレノ地域ノ配分等ニ依リマシテ特異性ガアル、即チ木材ノ蓄積量ノ多寡ノ相違ニ依リマシテ、例ヘバ北海道ノ如キハ非常ニ蓄積量ガ多イ、又近畿デアルトカ、中國デアルトカハ非常ニ蓄積量ガ少イ、生産上ノ難易モアラウト思フ、即チ伐出シトカ、運輸、交通斯ウ云ツタヤウナ關係ガアルノデアリマシテ、又取引關係等モアラウト存ジマス、配給方面デハ近距離ニ大都會ヲ抱擁シテ居ルモノモアリ、又中小ノ都市ヲ多數包含シテ居ルモノモアラウト思ヒマス、又材種ノ關係ニ依ルモノ、

用途ノ關係等ニ依ルモノガソレノデアリマシテ、其ノ小會社所謂地方會社ト云フモノモソレノ特異性ガアルノデアリマシテ、隨ヒマシテ其ノ關係上業務ノ成績ノ上ニ於キマシテハ非常ナル利益ノアルモノト然ラザルモノトガ出デ來ルト私ハ考ヘラレ、利益ノ配分等ニ付テ公平ヲ缺クモノガアル場合ニ於キマシテハ、此ノ仕事ノ運用ノ上ニ於キマシテ非常ニ私ハ關係ガ深イト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ、中央ノ會社ハドウ云フ風ニ御取扱ヒニナリマスガ、各地方會社ヲ通ジテ利益ノ統制ヲナサルヤウナ御考ヘガアルノデアリマセウカ、非常ニ割ノ惡イ所ト割ノ良イ會社トガアル、斯ウ云フヤウナコトモ私ハ考ヘテ居ル、尙且ツ此ノ資本金等ハ配分ノ地域ニ依リマシテ、五百万圓以上千万圓トナツテ居リマスガ、配分ノ地域、ブロックニ依リマシテハ生産部面ノ多イモノダトカ、或ハ配給部面ノ多イモノダトカ云フヤウナモノニ付テ色々御研究ノ結果、資本金ノ多寡ニ付キマシテハ御手心ヲ御加ヘニナル御考ヘガオアリニナルノデアリマセウカ、斯ウ云ツタヤウナ點ニ付テ御尋ネ致シマス

○井野政府委員 先程御答ヘ申シマシタコトニ對シ、更ニ二ツノ問題ニ付テ再ビ御質問ガゴザイマシタガ、其ノ一ツノ、都市ノ木材荷受配給統制株式會社ト云フヤウナモノヲ設ケルナラバ、法律ノ中ニ明記シテ貰ヒタイト云フ御希望デアリマスガ、是ハ大體色々ノ事情ヲ能ク考ヘマシテ、サウ云フモノヲ設ケタイト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、ソレニ必要ナル所ノ色々ノ規定等ハ第十九條ノ運用デ十分ニ行クト考ヘテ居リマス、隨テ特別ノ法制ヲ設ケナ

クトモ宜イノデハナカラウカト云フ風ニ私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ六割ノ木材ヲ此ノ木材會社ガ扱フ場合ニ於テ中々扱ヒ切レナイ、其ノ間ニ相當ニ零レガ出來テ、ソレヲ各個々ノ企業者ガ扱フ時ニドウ統制スルカト云フ御話デアリマスガ、無論一時ニ六割出來ルトハ私共モ思ツテ居リマセヌ、漸ヲ追ウテ地方會社モ出來、又ソレニ從ツテノ整備モ行ハレテ參ルノデアリマスカラ、一朝ニシテ六割全部ガ此ノ統制ニ依ツテ完全ニ動キ得ルト無論考ヘテ居リマセヌ、ドウシテモ其ノ間ニ此ノ會社ガ扱ヒ得ナイ數量モ或ル時期ニハ相當アラウト考ヘテ居リマス、隨デサウ云フコトニ對シテドウスルカト云フコトハ、是ハ先程來申上ゲテ居リマセヌ、現在アリマス業者ノ企業合同ナリ或ハ商業組合ト云フヤウナ組織、ソレ等ノ組織ヲ利用致シマシテ、詰リ此ノ會社自體ガ目標ト致シテ居リマス種類ノ木材、即チ軍用材或ハ生産力擴充材ト云ツタヤウナモノニ對シテノ統制ハ、會社ガ完全ニ出來マスマデノ間ニ於テモ出來ルダケ統制シテ參リタイ、詰リ現在ノ機構ヲ利用シテ統制シテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ更ニ新シイ御質問トシマシテ、地方ノ木材會社ノ間ニ利益ノ配分ト申シマスカ、公正ヲ缺ク場合ニハドウスルカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマスガ、是ハヤハリ或ル程度中央ノ日本木材統制會社ガ統制シテ行カケレバナラスト考ヘテ居リマス、利益ノ配當等ニ付テモ無論中央ノ機關ガ統制シテ參ル、又價格ノ點ニ付テモ或ル程度ノ關與ヲ致シテ、サウシテ利益ト云フモノモ出來ルダケ地方ヲ通ジテ公平ナラシムル、斯ウ云フコトニ

進ンデ參ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレニ付テハ法制上色々ノ手段ヲ講ジ得ルヤウニナツテ居リマスコデ、適正ヲ期シ得ルト考ヘテ居リマス

○大橋委員 モウ一、二點簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス、木材業者ガ全國ニ五萬幾千アリマシテ、其ノ他從業員等モアリマスカ、相當ニ多數ノ營業者ガアルノデアリマス、是ハ別ノ問題デアリマスケレドモ、中央統制委員會デアルトカ、地方統制委員會デアルトカ、或ハ價格形成委員會等、現在マデ色々機構ガアルノデアリマスカ、併シナガラ是等ノ方ヘ出マシテ代表トシテ發言ヲ致シテ居リマス者ハ、多クハ大會社、大資本ノ方々、或ハ問屋業者ト云フヤウナ人々ガ數ヘラレテ居リマシテ、約半數ニ及ブ所ノ二萬何千ト云フ普通ノ商店、斯ウ云ツタヤウナ方面カラノ代表者ハ何時モ「オミット」サレテ居ルヤウニ私共ハ考ヘテ居リマスカ、之ヲ大衆のニ扱ヒマシテ、軍需、公用其ノ他ニ付テモ手足トナツテ働ク第一線ノ心持ヲ容レルト云ツタヤウナ意味合デ、將來ハ斯ウ云ツタヤウナ機構ニ御加ヘ下サルヤウナ御意思ガナケレバナルマイト存ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ當局ニ於キマシテハ十分ニ一ツ考ヘテ戴キタイ、又御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ許可制度ニ付デアリマスカ、此ノ許可制度ニ付キマシテハ此ノ間懇談會ニ於テモ申上ゲマシタガ、先ヅ現在ノ商店、會社、店舗ニ於キマシテ技術ノ上ニ於キマシテ或ハ長年ノ熟練ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ人々ガ居リマス、私ハ先般モ申上ゲマシタガ、斯ウ云フヤウナ統制經濟ノ下ニ於キシマテハ、日本ノ家族制度ヲ基本トシタ

ル所ノ經濟機構ガ破レテ參リマシテ、今日デハ主從ノ關係ト云ツタヤウナコトガ段々ト減ビテ來ル、是ハ時勢デ已ムヲ得ナイノデアリマスカ、是ニモ私ハ一ツノ美點ガアルト思フ又能率ノ上ニ於キマシテモ斯ウ云ツタヤウナコトニモ段々改善ヲ加ヘ、且ツ新シイ方法ニ依ツテ家族の經濟機構ヲ作ルコトモ宜イデアラウト考ヘテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトカラ今マデ勉強シテ何年カ年期ヲ入レタト云フヤウナ人、昔ナラバ暖簾ヲ分ケル、今此ノ職業ヲ通ジテ奉公シヨウト思ツテモ、先ノ目當ガナイ、失業スルカモ分ラナイ、店舗モ持テナイ、光明モ持テナイ、斯ウ云フ人々ニ私ハ許可制度ニ於キマシテハ優先ノ權利ヲ持シテヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云ツタヤウナコトヲ切ニ考ヘテ居ルノデアリマスカ、斯ウ云フ點ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイ、御意見ハ如何デアリマスカ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井野政府委員 政府ガ設ケテ居リマスカ、色ノ委員會其ノ他ノ機關ニ、大衆ノ營業者或ハ其ノ他ノ方々ノ代表的ノ氣持ヲ映スヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ第一點ノ御意見、是ハ私共モ全く同感デアリマシテ、唯誰ヲ入レタラ宜イカト云フコトニナルト申難カシクナルノデ、隨テ商業組合デアルトカ、工業組合デアルトカ云フモノノ、代表者ガ入ツテ來ルト云フコトニナルノデアリマスカ、サウ云フ點ニ付テハ木材關係ニ付テ出來マスカ色々ノ機構ニ付テハ、十分ニ考慮ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二點ノ許可制度ノ問題ニ付キマシテ、日本ノ家族制度ヲ尊重シテ所謂古ク勤メテ居ル者ニ暖簾ヲ分ケテヤルト云フ

場合ニハ、優先のニ許可ヲ認メテヤツテ呉レ、斯ウ云フコトデゴザイマスカ、許可ヲシマスコトガ、所謂禁止の場合ハ中々誰デアツテモ難カシイト思ヒマスカ、相當ニ許ス餘地ノアリマスカ場合ニハサウ云ツタヤウナ者ニ優先のニ認メテ行クト云フコトハ、是ハ私モ非常ニ宜イコトト思ヒマス、十分考慮シタイト思ヒマス

○大橋委員 私ハ終リマシタ

○河野委員長 杉山君

○杉山委員 私ハ別ニ……

○河野委員長 ソレデハ増永君

○増永委員 色々他ノ委員カラ御質問ガアリマシタヤウデスカ、私が御尋ネ申上ゲタイノハ、此ノ條文ヲ拜見致シマスト、第三十條ニ主務大臣ハ監理官ヲ置ク、三十一條ハ監理官ノ色々ノ權限ナドガ書イテアルヤウデアリマスカ、私ハ此ノ木材統制ノ目下ノ事情デ、政府ガ非常ニ必要ヲ感ゼラレテ此ノ會社ヲ作ラレタト云フコトニナルト、大體從來我が國ニ於ケル木材ノ取扱總額カラ申シマシテモ大變大キイ金額デアル、勿論社債ヤ借入金ニ依リ運轉ハアルヤウデアリマスカ、之ヲ五千萬圓程度デヤラレルトニナツテ居ル、而モ之ヲ全部民間ノ資本ノミニ委ネル、ナゼ是ハ政府ガ半分ノ五千萬圓位ハ御持チニナツテ、一億圓位ノ資本デヤラレナイカ、是ハ一寸木材ノ取扱總數カラ見マシテモ、目下ノ所ニ於ケル統制目的ヲ達スル上ニ於テモ、只今マデ政府ガ御出シニナツタ國策會社カラ見マシテモ、當然ココハ五千萬圓位御出シニナラナケレバナラスト思フノデアリマスカ、是ガ出來ナカツタ、或ハサウ云フ御話ガナカツタノデセウカ、ソレヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○井野政府委員 日本木材株式會社ニ對シマシテ、政府出資ヲスルカシナイカト云フ問題ハ、相當ニ私共モ考究ヲ致シタノデアリマス、財政ガ許セバ是非出シテ貰ヒタイト考ヘタノデアリマスガ、御承知ノヤウナ現在ノ財政デ、中々公債發行ノ金額モ多イ爲ニ、斯ウ云フ方面ニ出資スルコトハ困難デアルト云フ事情ガ分ツテ參ツタノデアリマス、隨テ斯ウ云フ會社ヲ作ル行キ方ニ、政府出資ノ行キ方モアレバ、或ハ配當保證ト云フコトニ依ツテ民間資金ヲ集メル行キ方モアリマス、私共モ政府出資ガ非常ニ困難デアルト云フ情勢ガ分リマシタノデ、然ラバセメテ配當保證ト云フコトニ依ツテ民間資本ノ吸收ニ安全性ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、本案ガ出來マシタヤウナ譯デアリマス、其ノ邊ノ御事情ハ寧ろアナタノ方ガ御承知デヤナイカト思ヒマスガ、(笑聲)サウ云フ趣旨デゴザイマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス

○増永委員 私ハ別ニ存ジマセスガ、是大藏省モ農林省モ、今マデ産金會社、其ノ他ノ國策會社ニドシテ出シテ居ル、是ハ私ハ今突止メテ色々御尋ネハ致シマセスガ、ドウモ私ハ是ハ出サナケレバナラヌモノダト實ハ思ツテ居ル、只今四朱ノ補給ヲスルト云フコトヲ次官ハ言ハレタノデスガ、此ノ日本木材會社ノ事業ヲ十七條カラ見デミマス、是ハ別ニ營團デハナク、會社デ出來テ居ルノダカラ、詰リ損スルコトハ私ハナカラウト思フ、此ノ十七條ノ内容ノ各號ヲ拜見シマシテモ、別ニ營團ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデハナイカラ、買入其ノ他ノ資金ノ融通ト云フヤウナコトニナツテ居ルカラ、私ハ損シツコハナイト思フ、サ

ウスルト政府ノ四朱ノ補給ト云フコトハ、是ハ唯竝ベテアルダケデ、殆ド私ハ斯ウ云フ場合ハ起ラヌト思フ、勿論地方會社ニ向ツテ投資シタモノガ、非常ナ損失ガ起ルヤウナ場合ガアルカモ知レナイト思ヒマスガ、實際問題トシテハ私ハ地方ノ木材會社モサウ云ウコトハ殆ドアリ得ナイト思フ、サウ云ウコトヲ考ヘテ見マス、此ノ會社ニ對スル特權ト云フモノハ、全部民間ノ資本デアツテ、而モ此ノ日本木材會社ノ事業ノ内容カラ見マシテモ、金ヲ貸シテ口錢ヲ取ルト云フノダガ、其ノ口錢ハ利鞘ガ少クナルヤウナコトハアルカモ知レマセマ、併シ大體損ハシナイト思フ、ソレニ此ノ監理官ヲ置クト云フコトハ、少シ私ハ酷デヤナイカト思フ、社長、副社長ヲ任命シ、而シテ政府ハ一文モ出サズ、殆ド四朱ノ補給ヲヤラナイデモ宜イヤウナ此ノ會社ニ監理官ヲ置ク、是ハ社長、副社長ノ政府ノ任命權ト云フモノハ、是ハ四朱ノ補給ト云フコトヲ實際セナイデモ、サウ云ウコトガアルカラ了サレノデスガ、此ノ監理官ヲ置クト云フコトハ、是ハ全ク私ハ行キ過ギタコトデハナイカト思フ、政府ハ當然第二十九條ニ依ツテ監督スルコトガ出來ルノデスカラ、此ノ監理官ヲ置イテ總テノ帳簿、金庫、其ノ他ノ物件ヲ検査スル、而シテ必要ガアル時ニハ、何時デモ監理官ヲシテ陳述サセル、サウ云ウ監理官ヲ置クトハ、只今マデノ國策會社ノ法案ノ内容カラ言ツテ、政府ガ半分出資シテ居ル、サウシテ免稅ノ特典ヲ與ヘテ居ル、ソレカラ四朱ノ補給ヲスルトカ、或ハ六朱ノ補給ヲスルトカ、凡ユル特典ヲ與ヘテ居ル場合ニ此ノ監理官ヲ置ク、殆ド四朱ノ補給ト云フモノガ有名無實

ノ補給デアツテ、社長、副社長ヲ任命シ、其ノ上ニ監理官ヲ置ク、是ハ何カ間違ヒデハアリマセス

○井野政府委員 此ノ三十條ノ規定ニ依リマシテ、日本木材會社ニ監理官ヲ置クト云フコトハ、國家ガ相當ニ資本的ナ援助デモシナケレバ置ク必要ハナイデハナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、所謂國策會社ト云フ機構ヲ以チマシテ、國家ニ代ツテ色色ノ仕事ヲスルト云フ場合ニハ、ヤハリ大抵ノ場合ニ此ノ監理官ヲ置イテ居リマス、是ハ何モ會社ガ惡イコトヲスルカラト云フ前提デ置クノデハナイノデアリマシテ、國家ガ之ニ協力シテ、國家自ラノ機關トシテ之ヲ動かスト云フ場合ニハ、一ツノ完全ナル監理ヲシテ、サウシテ民間業者ニ色々不測ノ損害ヲ與ヘナイヤウニスルコトガ必要デアルト云フ所カラ置クノデアリマス、此ノ會社ハ配當保證ガアリマスガ、ソレハ有名無實ダト仰シヤイマスケレドモ、ソレハ分リマセス、會社ガドウ云フ場合ニドウ損スルカ、サウ云フ時ニハ政府ハ四分ニ相當スル利子ヲ補給スルノデアリマスカラ、ヤハリ國家トシテハ相當ノ負擔ヲシナケレバナラヌト云フ覺悟ヲ持タネバナラヌ、デアリマスカラ果シテ利子ヲ補給シナケレバナラヌカドウカト云フコトハ、普段カラヤハリ或ル程度監査シテ置ク必要ガアリマス、又此ノ會社ニ對シテハ相當ノ低利資金ノ融通モ行ハレテ來ルト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デ、此ノ會社ニ監理官ヲ置クト云フコトガ適當デアルト考ヘマシテ、私共ハ之ヲ規定致シタ次第デアリマス

○増永委員 勿論今ノ四朱ノ補給ト云フコトハ、政府ハソレダケノ責任ヲ御負ヒニナ

ルト云フコトハ次官ノ仰セノ通りデ、唯私ハ實際問題トシテサウ云フコトハナイダラウト云フコトヲ申上ゲタダケデアリマス、唯此ノ國策會社デアルト云フ風ナコトデ、斯ウ云フ色々例ガアルト言ハレマスケレドモ、是ハ勿論國策會社デハアリマセスガ、併シ今マデ出來マシタ高度國防國家建設ニ關係ノアル石炭トカ、石油トカ、サウ云フモノノ會社ハ餘程性質ガ違ヒハセスカ、尤モ考ヘヤウニ依ツテハサウ云フ高度國防國家建設ニ直接必要ナモノト考ヘラレマセウガ、直グ監理官ヲ置イテ之ヲヤツテ行クト云フコトハ、少シ私ハ行過ギノヤウナ感ジガスルノデアリマス、今別ニ此ノ際日發ノ例ヲ引出ス必要ハアリマセスガ、監理官ガ居ツテ、ソレガ殆ド搔廻スト云フ風ナ例モアル譯デアリマス、私ハ原案デハ政府ガ五千萬圓出サレ、民間カラ五千萬圓出シテ一億圓ノ會社ガ出來ルト云フ噂モ一寸耳ニシテ居リマシタガ、ソレガ何デモ政府ノ五千萬圓出資ノ豫定ノモノガ、其ノ通りニ行カナイデ、民間カラ五千萬圓出資ト云フコトニ直サレタ、其ノ時ニ一緒ニ此ノ監督官ト云フノヲ抜クト御忘レニナツタノデハナイカ(笑聲)五千萬圓政府出資ト云フコトガアレバ、此ノ監督官ト云フモノモ生キテ來ルガ、サウ云フコトガナクテ、斯ウ云フ法案ヲ作ラレルト云フコトハ、會社ニ依ツテハ或ハ必要カモ知レマセスケレドモ、此ノ木材ノ統制會社ニ干渉ガマシイ斯ウ云フ監理官ヲ置クト云フコトハ、ドウモ私ハ政府ノ氣持ガ分ラナイ、ソレヲ又此ノ委員會デ以テ私共ガ承認スルト云フコトニナルト、如何ニモ私共ノ氣持ガ許サヌヤウナ氣ガスル、ソレデ此ノ點ニ付テハ一ツ懸

談ニデモシテ能ク御話ヲ承ツテモ宜イト思ヒマスガ、委員長如何デスカ

○河野委員長 ソレハドウカ其ノ程度デ……

○増永委員 ソレデハソレハ其ノ程度ニシテ、次ニ社債募集ノコトガ何處カ條文ノ中ニアリマシタガ、此ノ社債ニ對シテ應募者ノナイ時ニハ政府ハドウナサイマスカ、ソレカラ其ノ社債ノ利率ノコトモ一寸併セテ承ツテ置キタイト思ヒマス

○井野政府委員 社債ニ關シマシテハ第二十條ニ其ノ規定ガアリマス、社債ハ此ノ會社ノ性質上利子補給モアリマスシ、又相當ノ利潤モアル譯デアリマスカラ、興業銀行ニ御願ヒシテ募集致シマスレバ出來ルモノト信ジテ居リマス、併シ出來ヌ場合ニハドウスルカト言ヘバ、サウ云フ場合ニハ或ハ預金部ニ御願ヒシテ引受ケテ載クト云フ手段モ講ジテ見タイト思ヒマス、其ノ利率等ニ付キマシテハ、其ノ時ノ金融市場ノ狀況ニ依ツテ決メルヨリ外ニ致シ方ナイト思ヒマス

○増永委員 スウ云フヤウナモノニハ最近ニ於テハ殆ド六朱ノ補給ト云フヤウナモノモ段々出來テ居リマス、是ハ詰リ相當ノ利益ガアルト云フ點モアリマセウガ、場合ニ依ツテハ今後ノ金融狀態ニ於テハ社債ノ募集ノ困難ナ狀態ガ起リハセスカ、サウ云フ場合ニハ豫メ能ク大藏當局ト御打合せヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ小サイ點フ二、三點承ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ此ノ間懇談會ノ席上デ一寸御尋ネシマシタガ、農林省デ内外地ニ於ケル軍需公用、凡ユル方面ノ木材ノ需給關係ヲ御計畫ニナルダラウト思フノデス、

ソレデ日本木材株式會社及ビ地方ノ各「プロック」内ニ出來ル地方木材株式會社、或ハ其ノ他ノ株式會社ナリ色々ナ所デ取扱ハレル全體ノ需給關係ノ御計畫ハ、大體農林省デ御作りニナルダラウト思フノデスカ、其ノ木材ノ需給ノ圓滑、其ノ配給ノ調整ノ如キハ農林省デ直接御命令ヲ出サレルカ、農林省ガ日本木材會社ニソレヲヤラシテ、日本木材會社ガ地方木材會社並ニ其ノ「プロック」内ノ會社ナリ、其ノ他ノモノニヤラセルカ、ドウ云フ御方針ヲ執ラレマスカ、ソレヲ承ツテ置キマス

○井野政府委員 内外地ヲ通ジ、殊ニ又日滿支ヲ通ジマスル木材ノ需給計畫ハ企畫院デ大體立テルコト考ヘテ居リマス、ソレニ基キマシテ内地ノ需給計畫ヲ農林省ガ受持チマシテ、サウシテ其ノ計畫ヲ立テマス、其ノ計畫ニ基キマシテ日本木材株式會社ヲ通ジテ其ノ計畫ヲ實行サセル、隨テ地方木材會社ハ日本木材株式會社カラ其ノ計畫ヲ受ケマシテ、サウシテ地方木材會社トシテ配給計畫ヲ立テル、斯ウ云フヤウナ手順ニナルダラウト思ヒマス

○増永委員 大體ノ筋道カラ言フトサウ云フ風ニ出來テ居ル譯デアリマスカ、實際問題トシテハ農林省デ内地ニ於ケル木材ノ需給計畫ガ立チマスレバ、直接地方ノ方ニ御命令ニナルノデアリマセウカ

○井野政府委員 直接行クコトモアルサウデアリマス、サウシテアトハ指導デアルト云フコトモ考ヘテ居ルサウデアリマス

○増永委員 マア直接行クコトモアルデセウガ、大體ノ筋道ガ日本木材會社ニナルト云フコトニナルト、サウ云フ風ナコトヲ事業ノ項目ニ入レテ置ク必要ハアリマセスカ

○井野政府委員 法律ニハ此ノ株式會社ノ事業トシテサウ云フモノヲ書カナクトモ、當然法律全般ノ性質カラソレニ基イテ木材ノ買入、賣渡ヲスル譯デアリマス、事業自體即チ計畫ヲ立テルト云フコトデナシニ、計畫ノ下ニ賣買スルト云フコトヲ謳ツテ置ケバソレデ足リルト思ヒマスノデ、サウ云フ點ハ規定致サナカツタノデアリマス

○増永委員 了承致シマシタ、モウ二、三點伺ツテ置キタイト思ヒマス、各委員カラモ色々御質問ガ出テ居リマシタガ、此ノ法律ノ實施ニ依ツテ現在ノ製材業者、運搬業者、或ハ販賣業者ハドウナルダラウト思ツテ、日本國中デ相當心配シテ居ルト私ハ思ヒマス、御説明ニ依ルト地方或ハ消費都市ニ於テハ特別ナ株式會社ガ出來ル、或ハ從來ノ組合トカ團體トカ云フモノデモヤルト云フ御話デアリマシタガ、株式會社以外ニ組合トカ、團體デアレルノハ十七條ノ何處デアラレルノデアリマセウカ、十七條ト仰シヤイマシタガ、私ハソレガマダハツキリ頭ニ入りマセス、十八條デハ株式會社ニナルノデスカ、株式會社以外ノ組合其ノ他ニ對シテハ十七條デ云々ト云フ御話ガ先程山林局長カラアリマシタガ、ソレハ十七條ノドノ項デアルノデアリマスカ

○井出政府委員 ソレハ十七條ノ第一項ノ七號ニ「前各號ノ外會社ノ目的達成上必要ナル事業」トアリマシテ、ソレニ該當スルヤウナ場合ガアリマスレバ左様ナ方面ニモ必要ナル投資ヲシ得ル、斯様ニ考ヘタ譯デアリマス、ソレヲ致シマス場合ニハ同條第二項ニ依ツテ主務大臣ノ認可ヲ要スル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○増永委員 是ハ今ノ前各號ノ外會社ノ目的達成上必要ナル事業「ト云フコトデアルト云フコトハ分リマスガ、第二項ハ「日本木材株式會社前項第六號又ハ第七號ニ掲グル事業ヲ營マンストスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」トアリマシテ是ハ「日本木材株式會社ガ附帶事業ヲヤル時ニ勝手ナコトヲヤルト大變ナ問題ガ起ルカラ」第六號又ハ第七號ニ掲グル事業ヲ營マンストスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」ト云フノデアツテ、組合其ノ他ノモノヲヤル時ノ認可ハ私ノ考ヘデハ此ノ第二項ニハ當嵌ラヌヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハドウデアリマセウカ

○井出政府委員 只今申シマシタノハ、組合或ハ會社等ニ對シマシテ必要ナル投資、融資ヲ日本木材株式會社ガヤリマス場合ガアレバ此ノ規定デアル譯デアリマス、而シテ御尋ネノ點ノ組合或ハ個人等ニ關シマシテハ、ソレガ木材ノ賣買業ヲ致スコトニ付キマシテハ特ニ規定ハゴザイマセスガ、第六條ニ依ツテ一般的ニ是等ノ業務ニ付テハ許可制度ヲ採用致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ商業組合等ニ關シマシテノ事柄ハ本法律ト別ニソレム、商業組合法ノ運用ニ依ツテ自ラ其ノ目的ガ達セラレル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○増永委員 今ノ第六條デ許可ヲ受ケルト云フコトニナル譯デアリマスカ——私ノ質問ハ大體是デ終リマス

○河野委員長 ソレデハ本日ハ是ヲ以テ散會致シマスガ、明日ハ午前十時カラ委員會ヲ開キマス、尙ホ明日ハ農林大臣ノ出席ヲ求めテ、農林大臣ニ對スル質問ヲシテ戴ク豫定デ居リマス、但シ此ノ質問ハ、理事諸君ト御相談ノ結果、一人十分以内ト云フ程度

デヤツテ戴ク、大體ノ質問ハ本日デ終ツタ
ヤウニ委員長ハ了承致スノデアリマスガ、
今申上ゲタヤウナ次第デアリマス

尙ホ此ノ際ニ一言御諒解ヲ得テ置キタイ
コトハ、先程海軍省ノ政府委員カラ御説明
ノアリマシタ中ニ、時局柄用語ニ適當デナ
カッタモノガアルヤウニ考ヘマス、是ハ委
員長ニ於テ適當ニ速記録ヲ修正致シマスカ
ラ、此ノ點ハ委員長ニ御任セテ願ヒタイト
思ヒマス

本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十一分散會